

I. 工事概要

1. 工事概要

Table with 2 columns: 工事名称, 屋外型トレーニングセンター建設工事. Includes fields for 建築主, 住所, 着工及び竣工年月日, etc.

2. 建物概要

(●印の付いたものを適用する。○印の付いたものは適用しない。)

Table with 2 columns: 敷地面積, 建築面積, etc. and 建築図D-0-0-0による.

3. 工事項目

設備項目 (●印の付いたものを適用する。○印の付いたものは適用しない。)

Table with 2 columns: 建物別及び屋外, 建物. Lists various equipment items like 電灯設備, 動力設備, etc.

4. 関連する別途工事

Table with 2 columns: 建築工事, 機械設備工事.

II 電気設備工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版」... (2) 各工事において、関連のある事項はそれぞれの「公共建築工事標準仕様書（建築工事編、機械設備工事編）平成31年版」... (3) その他の適用図書類は下記による。

2. 適用法令

適用法令は下記による。

- 建築基準法
消防法
火災予防条例（宮崎市）
危険物の規制に関する政令
水道法
下水道法
浄化槽法
水質汚濁防止法
ガス事業法
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律
高圧ガス保安法
電気事業法
電気設備技術基準
電気用品安全法
騒音規制法
振動規制法
悪臭防止法
大気汚染防止法
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）
建築物環境計画制度
建築物環境配慮制度（CASBEE）
建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）
建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
計量法
駐車場法
航空法
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
労働安全衛生法
宅品質確保法
その他本工事に関わる関連法規及び規格

3. 特記仕様

- (1) 項目または番号に ●印の付いたものを適用する。 ○印の付いたものは適用しない。
(2) 特記事項に記載の項目番号（章、節、項番）は、欄仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(3) 本特記仕様書の項目、特記事項欄に記載のある【追加】、【追記】、【置換】は次による。
・【追加】：欄仕に定めのない、本工事において追加した項目を示す。
・【追記】：欄仕に規定されている章・節・項に、規定を追加し適用することを示す。
・【置換】：欄仕に規定されている一部もしくはすべてを置き換えて適用することを示す。

4. 建物条件

- (1) 階高
○ 建物のそれぞれの階の階高は下表 4-1 による。
● 建物のそれぞれの階の階高は設計図による。

表 4-1 階高リスト

Table with 5 columns: 対象範囲, 階高, etc.

(2) 地震力

(ア) 局部震度法による設備機器の地震力
設計用水平地震力 F_H (設計用鉛直地震力 F_V) は設計用標準水平震度 K_S、地域係数 Z および 設備機器総重量 W (kN) を用いて次のように計算する。
F_H = K_H * W (kN) F_V = K_V * W (kN)
ここに、K_H：設計用水平震度、K_V：設計用鉛直震度
K_H = K_S * Z K_V = 1/2 * K_H
ここに、K_S：設計用水平震度
地域係数 Z は、(1.0) とする。
設計用標準水平震度 K_S は下表 4-2-1 によるものとする。
なお、設計用水平地震力 F_H と設計用鉛直地震力 F_V は同時に作用するものとする。

表 4-2-1 設計用標準水平震度 K_S

Table with 6 columns: 設置場所, 機器種別, 重要機器, 一般機器, 重要機器, 一般機器. Includes sub-columns for 耐震クラス S, A, B.

上階階・中間階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建ての場合は無し）。

耐震クラス（S・A・B）の定義は「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」による。

(イ) 建築物の時刻応答解析が行われている場合の地震力

設計用水平地震力 F_H (設計用鉛直地震力 F_V) は、「建築設備耐震設計・施工指針 2019 年版・指針本文 2.3 節」に基づき、下表 4-2-2 による各階の応答加速度値 G_f (cm/s^2) を用いて計算する。ただし、免震構造の建築物の設計用鉛直震度が特に解析されていない場合には、局部震度法による設計用鉛直震度 K_V を用いる。

表 4-2-2 各階の応答加速度値 G_f (cm/s^2)

Table with 5 columns: 階, 地震動レベル, 中地震動時, 大地震動時, 備考.

(ウ) 重要機器

重要機器は次のものを示す。

- 防災センター(同様な部屋を含む)内設置機器
○ 配電盤 ○ 発電装置 ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置
○ 交換機 ● 火災受信機 ○ 分電盤 ○ 動力制御盤
○ I T V 設備 ○ 中央監視設備 ○ 入退室管理設備 ○ ケーブルラック

(3) 設備機器および設備部材の固定支持

設備機器および設備部材の固定や支持等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針 2019年版」により行う。

(4) 構造躯体の層間変形角

- 必要構造性能概要書による。
○ 下表 4-4 による。

表 4-4 中地震動時および大地震動時の層間変形角

Table with 6 columns: 階, 地震動レベル, 中地震動時, 大地震動時, 備考.

上階階・中間階の定義は、設計用標準震度と同様とする。

(5) 免震構造変位量

免震層最大変位 _____ mm クリアランス _____ mm

(6) 積雪荷重

- 必要構造性能概要書による。
○ 以下による。
1) 垂直積雪量 (cm)
2) 積雪の単位荷重 (N/cm^2)
3) 積雪荷重 (N/m^2)
4) 多雪地域指定の有無 ○ あり ○ なし
5) 雪下ろしの必要の有無 ○ あり(最大許容積雪量 _____ (cm)) ○ なし

(7) 騒音振動規制

(ア) 敷地境界線における騒音規制値は以下による。
昼間 (65) dB(A) 朝夕 (65) dB(A) 夜間 (50) dB(A)

(8) 水防レベル

- 水位の指定なし ○ 設計水位：GL+ () mm

第1編 一般共通事項	<p>（3） 監理者と協議した事項は、協議の経緯及び結果を記録して監理者に提出し、控えに監理者の押印を受ける。</p> <p>● 1.3.13 【追加】 識別</p> <p>● 1.3.14 【追加】 トレーサビリティ</p>	<p>（3） 監理者と協議した事項は、協議の経緯及び結果を記録して監理者に提出し、控えに監理者の押印を受ける。</p> <p>（1） 機材・材料・製品等の誤用・混用を防止するための識別管理を行う。また、検査・試験の実施状況、不適合製品についても識別管理を行う。</p> <p>（2） 識別管理が必要な対象と管理の方法について、あらかじめ監理者に報告する。</p> <p>（1） 工事目的物に組み込まれた機器・材料・施工などについて、その履歴、使用又は所在を辿ることのできるトレーサビリティ管理を行い、記録を監理者に提出する。</p> <p>（2） トレーサビリティ管理は設計図書に定めのあるもののほか、次の条件に同時に該当する機器・材料・施工について行う。その対象と管理方法については、事前に監理者と協議のうえ定める。</p> <p>（ア） 識別記載がなければ、履歴や使用部位が辿れないもの。</p> <p>（イ） 不具合が発生した場合、工事目的物の品質に重大かつ広範囲の影響を及ぼす恐れのあるもので、修補、取替えが困難なものを。</p> <p>第4節 機器及び材料</p> <p>【追加】</p> <p>（3） 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の質及び性能を有するものとし、次の（ア）から（オ）を満たすものとする。</p> <p>（ア） 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>（イ） 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>（ウ） 接着剤はフタル酸ジエーノール及びフタル酸ジエー2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可逆材を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>（エ） 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>（オ） （ア）、（ウ）及び（エ）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <p>【規制対象外】</p> <p>(a) JIS 及び JAS のF☆☆☆☆規格品</p> <p>(b) 建築基準法施行令第 20 条の5第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>(c) 下記表示のある JAS 規格品</p> <p>① 非ホルムアルデヒド系接着材使用</p> <p>② 接着材等不使用</p> <p>③ 非ホルムアルデヒド系接着材及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</p> <p>④ ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p> <p>⑤ 非ホルムアルデヒド系接着材及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用</p> <p>⑥ 非ホルムアルデヒド系接着材及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p> <p>【第三種】</p> <p>(a) JIS 及び JAS のF☆☆☆☆規格品</p> <p>(b) 建築基準法施行令第 20 条の5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>(c) 旧 JIS の Eo 規格品</p> <p>(d) 旧 JAS の Fco 規格品</p> <p>本工事の全ての内装の仕上げ、居室と空気の出入りのある部分の仕上げ（表面材）は、上に規定される規定対象外のみ使用する。また、以下の室についても同様の扱いとする。</p> <p>● 1.4.2 機材の品質等</p> <p>【置換】</p> <p>（5） 材料の色、柄等については、発注者及び設計者の指示を受ける。</p> <p>（6） 設計図書に定められた規格等、官公署及び電力・ガス・水道などの供給会社の各種規格などは最新のものを適用する。</p> <p>【追加】</p> <p>（7） 設計図書において機器・材料の品質が明示されていない場合は、適切な品質の機器・材料とし、監理者と協議のうえ決定する。</p> <p>（8） 設計図書において機器・材料に関する記載に「同等」、「程度」等とある場合は、選定された機器・材料が所定の品質及び性能を有することの証明となる資料を監理者に出し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>（9） 設計図書において指定された機器・材料が入手困難な場合は前（7）号により監理者の承諾を受けたうえで、それと同等以上の品質・性能を有する代替品を使用することができる。</p> <p>（10） 標仕 1.4.2(2)及び前(8)号において、建築材料・設備機材等品質性能評価事業及び公共住宅用資機材品質性能評価事業の確認を受けた機器・材料については、当該評価の写しを「品質及び性能を有することの証明となる資料」とみなす。</p> <p>（11） 設計図書等に定められた材料の現本を提出し、材質、仕上げの程度、色合い等についてあらかじめ発注者及び設計者に確認を受け、監理者の承諾を受ける。</p> <p>（12） ウィスカ対策</p> <p>●なし ○あり</p> <p>対象室：○MDF室 ○サーバー室 ○その他（ ）</p> <p>① ウィスカ対策対象室内に設置する機器及び配管類、吊り材は電気垂鉛メッキ品を使用しないこと。</p> <p>② 電気垂鉛メッキを塗装した製品についても使用不可とする。</p> <p>③ 対策対象室に設置する機器及び、配管類、吊り材等については、仕様部材一覧表（建築工事、電気工事、機械工事等のすべて工種）を作成し監理者の確認を受けること。</p>	<p>● 1.4.4 機材の検査等</p> <p>【追加】</p> <p>（4） 現場に搬入した材料のうち、変質等により工事に使用することが適当でないものはこの工事に使用しない。</p> <p>（5） 機材は現場に搬入した時点あるいは必要に応じて製作工場における製造又は組立完了時点まで、各種ごとに受注者等の検査を行い、検査記録を監理者に提出する。</p> <p>（6） 量産品あるいは標準品で実測値などが整備されているものは、性能表又は能力計算書などの性能の証明となる書類確認をもって(1)号の検査とすることができる。</p> <p>（7） 管理者が指示する機材において、材質・呼称寸法などを梱包などに表示している機材は、梱包の状態では監理者の検査を受ける。</p> <p>（8） 設計図書に監理者の検査の定めがある場合、前(1)号の検査に合格後、検査記録を提出し、監理者の承諾を受ける。監理者の検査は、前(1)号の受注者等による検査の適正さを確認するために行い、受注者は検査に必要な資機材・労務などを提供する。</p> <p>（9） 監理者の検査は、立会いにより又は受注者等による検査の記録・写真などの審査により行う。なお、監理者の立会い検査は、原則として抜き取り検査とする。</p> <p>（10） 前(1)号の検査の結果に疑義が生じた場合は、監理者と協議する。</p> <p>● 1.4.5 機材の検査に伴う試験</p> <p>【追加】</p> <p>（4） 機材の検査に伴う試験は次の場合による。なお、試験結果に疑義が生じた場合は管理者と協議する。</p> <p>（ア） 設計図書に定められた場合</p> <p>（イ） 試験によらなければ設計図書の定めによる品質又は性能、機能に適合することが証明できない場合</p> <p>（5） 供試体の製作要領は設計図書の定めによる。ただし、定めがない場合は監理者の承諾を受けた方法による。</p> <p>（6） 試験は公的試験所又はこれに準ずる試験所で行う場合を除き、試験には監理者の立会いを受ける。ただし、あらかじめ監理者の指示を受けた場合は、この限りではない。なお、受注者は検査に必要な資機材・労務などを提供する。</p> <p>（7） 下記に示す設備は、設計図書に定められた品質及び性能を有することを証明するため、製造工場にて製品検査を行う。</p> <p>● 受変電設備機器 ○ 変圧器 ○ 発電設備</p> <p>○ 直流電源装置 ○ 無停電電源装置 ○ 電力監視装置</p> <p>○ 中央監視装置 ○ 分電盤 ○ 動力盤</p> <p>○ 端子盤 ○ 照明制御設備 ○ I T V設備</p> <p>○ 情報表示設備 ○ 特注照明器具</p> <p>（8） 材料および工場製作物は、種別ごとに自主検査を行い、監理者の検査に先立ち、その結果を管理者に報告する。</p> <p>○ 1.4.7 【追加】 支給材料・貨与品</p> <p>（1） 支給材料・貨与品</p> <p>○ なし ○ あり（ ）</p> <p>（2） 支給材料・貨与品の受注者等による受け入れ検査</p> <p>○ なし ○ あり（次による）</p> <p>支給材料・貨与品の引き渡しに際しては、受注者の責任において、その種別・数量・品質・性能を確認のうえ、受け入れる。</p> <p>（3） 支給材料・貨与品の受注者等による試験</p> <p>○ なし ○ あり（ ）</p> <p>（4） 当該工事の施工後、支給材料の使用箇所・数量・残量を監理者に報告し、残材の処置方法について監理者の指示を受ける。</p> <p>（5） 支給材料・貨与品の支給時期・品質または設計図書に示された条件への適合性に疑義がある場合は、速やかに監理者に報告し、処置方法について指示を受ける。</p> <p>（1） 検査・試験などにより不合格となった機器・材料などについては、その処置の手続きをあらかじめ定め、それにより管理する。</p> <p>（2） 不適合製品の処置において、規定の品質に合致しないが、特定の逸脱範囲内にあるもの限られた部位・数量において、使用する場合（特別採用という）は監理者の承諾を受ける。</p> <p>（3） 発生した不適合製品について、同一場所又は同様の場所における再発防止をするため、不適合の原因を除去する是正処置を講ずる。品質に重大な影響を及ぼす可能性があるもの又は監理者の指示するものは是正処置の方法については、あらかじめ管理者に報告する。</p> <p>○ 1.4.9 【追加】 海外製品の調達</p> <p>海外で製作された材料を使用する場合は、関係法令に適合し国内の規格と品質が同等以上であることを検討時点で確認し、監理者の承諾を得る。</p> <p>監理者の指示により適切な時期に立会確認を行う。受注者の都合で海外製品の調達を行う場合は、発注者、監理者の交通、宿泊や検査にかかるすべての費用は請負金額に含むものとする。</p> <p>● 1.4.10 【追加】 特別な機材の工法</p> <p>標仕に記載されていない特別な機材の工法については、材料製造所の指定する工法とし、施工計画、要領書等を提出し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>○ 1.4.11 【追加】 CASBEE</p> <p>CASBEE、LEED 等にもとづく目標値の指定がある場合、目標値を下回ることのないように機材の選定を行う。</p> <p>● 1.5.1 施工</p> <p>【追加】</p> <p>（2） 下記項目に関しては、施工に先立ち、最終承諾されたシステム、内容、容量等に基づいて計算書を作成の上、設計図書と相違していないことを確認し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>短絡電流（保護協調）</p>	<p>受電用 CT の過電流強度計算</p> <p>高調波流出電圧・電流</p> <p>変圧器容量</p> <p>相・スコット変圧器の負荷バランス</p> <p>非常電源にかかわる変圧器容量等</p> <p>力率改善用コンデンサ容量</p> <p>—自家発電設備容量及び関連設備—————</p> <p>—直流電源装置容量—————</p> <p>幹線（遮断機容量・電圧降下・許容電流）</p> <p>照度</p> <p>電話交換機容量</p> <p>放送設備増幅器容量</p> <p>テレビ共同受信設備出力レベル</p> <p>—防災センサ—要員大数算定、所要時間計算——</p> <p>避雷針、アンテナマスト、航空障害灯耐風圧計算</p> <p>—統合接地解析（大地低効事測定による建物接地抵抗計算）—————</p> <p>—太陽光発電モジュール風圧過重（架台含む）—————</p> <p>換気計算（キュービクル、蓄電池）</p> <p>耐震（各設備毎）</p> <p>騒音</p> <p>区画貫通処理部の占積率</p> <p>ケーブルラックの積載量計算</p> <p>● 1.5.2 一工種の施工の確認及び報告</p> <p>● 1.5.3 施工の検査等</p> <p>【追加】</p> <p>（2） 工程ごとに施工が完了した時は、設計図書に定めがある場合又は監理者の指示がある場合は、その施工についての報告書を作成し監理者に提出する。</p> <p>【追加】</p> <p>（4） 施工に対する監理者の検査は、受注者等による検査の合格後、検査記録が監理者に提出された後行うものとする。監理者の検査は、受注者等による施工の検査の適正さを確認するために行う。なお、受注者は検査に必要な資機材及び労務などを提供する。</p> <p>（5） 監理者の検査は、立会いにより、また受注者等による検査の記録・工事写真などの書類の審査により行う。なお、監理者の立会い検査は原則として抜き取り検査とする。</p> <p>（6） 監理者の検査の結果、修補、改造、その他の必要な処置が必要であると指摘された箇所がある場合は、監理者の指示により速やかに是正を行い、監理者の再検査を受ける。</p> <p>（7） 前(4)号の監理者の検査の結果に疑義が生じた場合は監理者と協議する。</p> <p>● 1.5.4 施工の検査に伴う試験</p> <p>【追加】</p> <p>（3） 下記内容については、事前に計画書を作成し、試験等を行うものとする。</p> <p>○ 騒音振動測定 ○ 迷走電流測定 ● 接地抵抗測定</p> <p>○ 電磁波測定 ○ 高調波測定 ● テレビ共聴設備電界強度測定</p> <p>【追加】</p> <p>（3） 工程写真などの記録により監理者の立ち合いに代える旨、監理者から指示があった場合は、速やかに必要な記録を整理し、監理者に提出する。</p> <p>第6節 工事検査及び技術検査</p> <p>● 1.6.1 施工</p> <p>【追加】</p> <p>（4） 工事検査に必要な資機材、労務等を提供する。</p> <p>（5） 工事完成に当たって、受注者の本社等の検査員（現場関係者を除く）による自主検査を行い、関係法令または設計図書に適合しない箇所がある場合には、速やかに補正を行ったうえで、監理者に報告する。なお、事前に自主検査計画書を監理者に提出する。</p> <p>（6） 前(5)号の報告ののち、監理者の検査を受ける。</p> <p>（7） 自主検査及び監理者検査の結果、全ての工事が完了していること及び設計図書と契約条件並びに関係法令などの規定に適合していることが確認されたのち、監理者の本社などの検査要員（現場関係者を除く）による完成検査を受ける。</p> <p>（8） 関係官公署その他関係機関の検査については、監理者の本社などの検査要員（現場関係者を除く）による完成検査前にこれを受ける。</p> <p>（9） 前(7)、(8)号の検査の結果、修補、改造、その他の必要な処置が必要であると指摘された箇所がある場合は、監理者の指示により速やかに是正を行い、監理者の再検査を受けると共に、関係官公署その他関係機関にて必要な手続きを行う。</p> <p>（10） 前(9)号の報告ののち、発注者の検査を受ける。</p> <p>（11） 完成時の諸検査の日程・方法については、関連工事との調整を行い、必要により関連工事の受注者等同席のうえ共同して検査を受ける。</p> <p>（12） 機能条件の違いなどにより、工事完成までに確認できない機器能力及び室内環境などについては、完成竣工後1年以内の夏季及び冬季で気象条件などが設計条件に近い日を選び測定し、設計図書に定める性能・機能・室内環境との適合性を確認する。なお、検査に先立ち検査計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>● 1.6.3 【追加】 自主検査及び総合運動試験等</p> <p>（1） 工事の完成に際し、すべての機器・装置・システムについて、原則として試運転調整を完了した状態で、受注者等による次の検査・試験を行う。また、検査結果について報告書を作成し監理者に提出する。</p> <p>（ア） 外観検査（出来形検査）：目視・聴音又は手で触るなどにより、各設備が設計図書に示す構造・材料・安全・耐久・保守・衛生などに合致することを確認する。</p> <p>（イ） 個別性能機能検査：機器及び装置の個別の性能・機能を設計図書と照合し、その適合性を確認する。</p> <p>① 機能検査：運転・作動状態での試験に先立ち、通水・通気・電通などの試験を行う。次に各機器単体の動作試験を行い、運転状況及び各動作が正常であることを確認する。</p>	<p>② 性能検査：各装置の機器単体の性能が、設計図書に定められた電圧・電流・電源区分（AC、GC、UPS 等）、流量・圧力・温度などと合致することを確認する。</p> <p>（ウ） 総合性能機能検査：複数の工種にまたがって性能・機能を発揮する機器・装置・システムについて、関連工事の受注者と協議して総合的な性能機能検査（以下総合運動試験）を行い、その適合性を確認する。なお、試験に先立ち、検査、試験方法、日程、人員、安全対策を含む総合運動試験実施要領書を監理者に提出し、承諾を受ける。総合試験に使用する機器は適正に校正し、その記録を監理者に提出する。総合試験の項目は以下によるものとする。ただし、該当項目については監理者と協議のうえ適合性を確認する。</p> <p>① 全停電・復電総合検査</p> <p>② 防災総合検査</p> <p>③ 槽類関連総合検査</p> <p>④ 中央監視盤総合検査</p> <p>⑤ 総合運転による騒音値・振動</p> <p>⑥ 完成時の室内環境測定</p> <p>⑦ セキュリティシステムと他設備との運動</p> <p>⑧ その他、監理者の指示する検査</p> <p>（エ） 総合運動試験は監理者立会いの下に実施するものとする。</p> <p>（オ） 電源別型 の非常用照明は原則全館一斉点灯試験を行い、配線用遮断器のトリップ等の異常が発生しない旨の試験結果を、照度測定結果と合わせて監理者へ報告すること。</p> <p>● 1.6.4 【追加】 引渡し前後の注意</p> <p>（1） 試運転・建物管理者への引継ぎ・開設準備への協力</p> <p>（ア） 受注者は、竣工・引渡し時期から逆算して、竣工後の建物・設備の稼働に支障のないように、発注者及び発注者が定める竣工後の建物管理者に対して、取扱説明書を作成し、その説明を行う。</p> <p>（イ） 竣工・引渡し前に発注者が実施する建物管理者訓練の日程を適宜確保し、当該訓練の実施に協力する。</p> <p>（2） 竣工後の現場対応</p> <p>受注者は、竣工・引渡し後最低6か月間は建物及び諸設備に関する技術員の常駐もしくは駆け付け体制を整備し、発注者（建物管理者）が円滑に建物管理を行うことができるように協力する。</p> <p>（3） カードキー初期情報登録</p> <p>I Cカードキーへの入居情報等の初期登録作業及び費用は</p> <p>○ 本工事に含む（登録枚数は設計図による。）</p> <p>○ 本工事に含むまない</p> <p>（4） メータ検針確認</p> <p>（ア） 各種検針メータの確認は、計量値が変化する十分な時間をあけて全数3回以上確認する。負荷がなく計量値が変化しない場合は、疑似負荷等を設置し確認する。中央監視装置や集中検針装置で管理する場合は、各種検針メータと中央監視装置等との計量値の整合を3回以上確認する。完成引渡時・取扱い説明時に、建物維持管理担当への引継ぎを行う。</p> <p>（イ） 新築時は、誤金用・管理用メータがある場合、メータツリー、メータ供給範囲平面図、メータ台帳を作成し、監理者に提出する。メータツリーについては竣工図に追加すること。また、BEMSがある場合は、メータ演算表も提出のこと。</p> <p>（ウ） メータ設置の誤りに起因する発注者及び竣工後の建物管理者への損害については、全て受注者の責とする。</p> <p>第7節 完成図書</p> <p>【追加】</p> <p>（3） 完成時の提出図書は、前（1）号による他、下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 施工計画書、施工要領書</td> <td>(2) 部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 施工図・製作図</td> <td>(2) 部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 前述他、各資料は PDF 等のデータに整理し、電子媒体により提出する。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【置換】</p> <p>（1） 完成図は、完成した工事目的物に関する情報を整理・記録し、完成状態を表現したものであり、維持保全、将来の改修・増改築等のための基本情報として使用することを目的とする。種類及び記載内容は表 1.7.1 に加え、監理者の指示によるものとし、設計図を基に完成時の状態を表現したものである。</p> <p>【追加】</p> <p>（2） (ウ) 完成図は設計図CAD データを基に CAD で作成し、電子媒体及びその出力の製本とする。原図は設計図のサイズとする。</p> <p>【置換】</p> <p>（3） 提出部数は、下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原図（A1判）</td> <td>(1) 部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A1判 2つ折り製本</td> <td>(1) 部</td> <td>白焼き CAD 出力</td> </tr> <tr> <td>A3判2つ折り製本</td> <td>(2) 部</td> <td>白焼き CAD 出力</td> </tr> <tr> <td>電子媒体</td> <td>(1) 式</td> <td>データ提出</td> </tr> <tr> <td>※ 電子媒体及び A3版2つ折り製本の7部は監理者用として提出する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 製作図を完成図として提出する場合には、その原因を省略することができる。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【置換】</p> <p>（4） 電子媒体のデータ内訳は CAD データ（AutoCAD）、CAD データの PDF 版（設計図サイズ）とする。</p> <p>【追加】</p> <p>（5） 電子媒体のデータ提出方法は下記による。</p> <p>※ 変更を行う場合は、監理者との協議により決定する。</p> <p>○ メール・ファイルストレージ等の電子提出 ○ DVD（1部）</p>	分類・規格	部数	備考	● 施工計画書、施工要領書	(2) 部		● 施工図・製作図	(2) 部		○ 前述他、各資料は PDF 等のデータに整理し、電子媒体により提出する。			分類・規格	部数	備考	原図（A1判）	(1) 部		A1判 2つ折り製本	(1) 部	白焼き CAD 出力	A3判2つ折り製本	(2) 部	白焼き CAD 出力	電子媒体	(1) 式	データ提出	※ 電子媒体及び A3版2つ折り製本の7部は監理者用として提出する。			※ 製作図を完成図として提出する場合には、その原因を省略することができる。		
	分類・規格	部数	備考																																			
● 施工計画書、施工要領書	(2) 部																																					
● 施工図・製作図	(2) 部																																					
○ 前述他、各資料は PDF 等のデータに整理し、電子媒体により提出する。																																						
分類・規格	部数	備考																																				
原図（A1判）	(1) 部																																					
A1判 2つ折り製本	(1) 部	白焼き CAD 出力																																				
A3判2つ折り製本	(2) 部	白焼き CAD 出力																																				
電子媒体	(1) 式	データ提出																																				
※ 電子媒体及び A3版2つ折り製本の7部は監理者用として提出する。																																						
※ 製作図を完成図として提出する場合には、その原因を省略することができる。																																						
	株式会社 N T T ファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 33509号	株式会社 N T T ファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	<table border="1"> <tr> <td>一級建築士登録</td> <td>第 272676 号</td> <td>鈴木 耕造</td> <td>一級建築士登録</td> <td>第 353942 号</td> <td>伊藤 裕也</td> </tr> <tr> <td>一級建築士登録</td> <td>第 217159 号</td> <td>山元 徹也</td> <td>一級建築士登録</td> <td>第 383653 号</td> <td>伊藤 翔治</td> </tr> <tr> <td>一級建築士登録</td> <td>第 266089 号</td> <td>秋吉 賢一</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	一級建築士登録	第 272676 号	鈴木 耕造	一級建築士登録	第 353942 号	伊藤 裕也	一級建築士登録	第 217159 号	山元 徹也	一級建築士登録	第 383653 号	伊藤 翔治	一級建築士登録	第 266089 号	秋吉 賢一				担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 特記仕様書（3） 縮尺 A1: 1/N, S A3: 1/N, S	図面番号 E - 01-3 年月日 2022年4月	区分 電気											
一級建築士登録	第 272676 号	鈴木 耕造	一級建築士登録	第 353942 号	伊藤 裕也																																	
一級建築士登録	第 217159 号	山元 徹也	一級建築士登録	第 383653 号	伊藤 翔治																																	
一級建築士登録	第 266089 号	秋吉 賢一																																				

<p>● 1.7.3 保安に関する資料</p> <p>● 1.7.4 【追加】 予備品</p> <p>● 2.1.2 【追加】 工事用水・電力</p> <p>○ 2.1.2 【追加】 交通整理員</p> <p>○ 2.1.4 【追加】 工事用仮設物</p> <p>● 2.1.5 【追加】 監理者事務所</p>	<p>【置換】</p> <p>(1) 保安に関する資料は、(ア)～(カ)によるほかによる。</p> <p>【追記】</p> <p>(1) (キ) 電子媒体のデータ提出方法は下記による。 ○ 保安マニュアル ○ 長期修繕計画書 ○ 機器台帳 (書式は監理者の指示による) ○ 課金用・管理用メーターに関する資料 ○ その他 ()</p> <p>(2) 提出部数は、下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 保安に関する資料</td> <td>(2)部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>予備品はメーカー標準及び設計図書に記載されたものとし、設備種類・システム毎に整理のうえ、リストにまとめ、適切な収容箱等に収め引き渡すこと。保管場所は監理者の指示による。</p> <p>第2章 共通工事</p> <p>第1節 仮設工事</p> <p>構内既存施設の工事用水・工事電力の使用の可否は下記による。</p> <p>(ア) 工事用水 ○ 利用不可 ● 利用可 (● 有償 ○ 無償)</p> <p>(イ) 工事電力 ○ 利用不可 ● 利用可 (● 有償 ○ 無償)</p> <p>交通整理員は下記による。 ○</p> <p>工事用仮設物は構内に作ることが、 ○ できる ○ できない</p> <p>監理者事務所は、 ● 設置する (以下、建築図参照) ○ 設置しない</p> <p>(ア) 規格等 ○ 10㎡ (1号程度) ○ 20㎡ (2号程度) ○ 35㎡ (3号程度) ○ 65㎡ (4号程度) ○ 100㎡ (5号程度)</p> <p>上記規格の他に ○ 会議室 (受注者と共用で可、20㎡程度) ○ 更衣室 (○ 男女兼用 ○ 男女別) ○ WC (○ 男女兼用 ○ 男女別)</p> <p>監理者事務所等の維持保安及び美観保持の費用は、受注者の負担とする。</p> <p>(イ) 監理者事務所等の維持保安及び美観保持の費用は、受注者の負担とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 什器</td> <td>○ 机 () ○ 椅子 () ○ 会議テーブル () ○ 書櫃 () ○ 本棚 () ○ 更衣ロッカー () ○ 応接セット () ○ 洗面設備 () ○ シンク () ○ 白板 () ○ 図面掛け ()</td> </tr> <tr> <td>○ 電気製品</td> <td>○ 冷蔵庫 () ○ 電子レンジ () ○ 湯沸器 () ○ 時計 ()</td> </tr> <tr> <td>○ 工用具</td> <td>○ ゴム長靴 () ○ 雨カッパ () ○ 墜落防止用具 (○脚ベルト型 ○フルハーネス型) ○ 懐中電灯 () ○ ヘルメット () ○ 検査道具一式 () ○ 温湿度計 ()</td> </tr> <tr> <td>○ 事務用品</td> <td>○ 筆記用具 ○ ○ A用紙 (適宜補充) ○ ファイル (適宜補充) ○ その他 ○ 消火器</td> </tr> </table> <p>(ウ) 監理者事務室には、次の○A環境を整備する。()内は数量を示す。 上記に要する費用は、維持運営費を含め一切受注者の負担とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>○ パソコン ()</td> <td>機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () ○ S ○ Windows10 ○ 監理者の指示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソフト ○ Word ○ Excel ○ PowerPoint ○ AutoCAD ○ その他 () ※ 各種最新版とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> <tr> <td>○ インターネット回線 ()</td> <td>回線 ○ 光ケーブル回線 種類 ○ ADSL回線 (プロバイダー契約は受注者負担)</td> </tr> <tr> <td>○ レザープリンター ()</td> <td>機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> <tr> <td>○ コピー機 ()</td> <td>機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 機能 ○ 自動原稿送り ○ 自動給紙 ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> <tr> <td>○ 電話 ()</td> <td>共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> <tr> <td>○ FAX ()</td> <td>回線 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> <tr> <td>○ 複合機 ()</td> <td>機種 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有 機能 ○ FAX ○ コピー ○ スキャナ ○ 自動給紙 ○ 自動原稿送り ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有</td> </tr> </table>	分類・規格	部数	備考	● 保安に関する資料	(2)部		○ 什器	○ 机 () ○ 椅子 () ○ 会議テーブル () ○ 書櫃 () ○ 本棚 () ○ 更衣ロッカー () ○ 応接セット () ○ 洗面設備 () ○ シンク () ○ 白板 () ○ 図面掛け ()	○ 電気製品	○ 冷蔵庫 () ○ 電子レンジ () ○ 湯沸器 () ○ 時計 ()	○ 工用具	○ ゴム長靴 () ○ 雨カッパ () ○ 墜落防止用具 (○脚ベルト型 ○フルハーネス型) ○ 懐中電灯 () ○ ヘルメット () ○ 検査道具一式 () ○ 温湿度計 ()	○ 事務用品	○ 筆記用具 ○ ○ A用紙 (適宜補充) ○ ファイル (適宜補充) ○ その他 ○ 消火器	○ パソコン ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () ○ S ○ Windows10 ○ 監理者の指示による		ソフト ○ Word ○ Excel ○ PowerPoint ○ AutoCAD ○ その他 () ※ 各種最新版とする。		共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	○ インターネット回線 ()	回線 ○ 光ケーブル回線 種類 ○ ADSL回線 (プロバイダー契約は受注者負担)	○ レザープリンター ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	○ コピー機 ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 機能 ○ 自動原稿送り ○ 自動給紙 ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	○ 電話 ()	共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	○ FAX ()	回線 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	○ 複合機 ()	機種 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有 機能 ○ FAX ○ コピー ○ スキャナ ○ 自動給紙 ○ 自動原稿送り ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有	<p>● 2.1.6 【追加】 保護設備</p> <p>○ 2.2.2 【追加】 試掘</p> <p>● 2.2.3 【追加】 発生土処分</p> <p>○ 2.10.1 一般事項</p> <p>● 2.11.1 【追加】 施工調査</p> <p>○ 2.11.2 【追加】 はつり</p> <p>○ 2.11.3 【追加】 撤去工事</p> <p>● 2.11.4 【追加】 壁貫通部等の補修</p> <p>○ 2.11.5 【追加】 停電時期、工法等</p> <p>本工事の施工にあたり、付近住民・隣接建物・工作物・通行人等に対して損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、監理者及び各関係者に承諾を得て実施すること。万が一損害を与えた時は、速やかに応急処置や復旧工事等を行い、これに要した費用は受注者の負担とする。</p> <p>第2節 土工</p> <p>○ 2.2.2 【追加】 試掘の要否と試掘深さは下記による。なお、範囲は設計図による。 ○ する 深さ_mm ○ しない</p> <p>構内の掘削による残土処分は以下によるものとし、その費用は請負費に含む。 ● 現場説明書による。 ○ 構内の監理者指示場所に敷き均しとする。 ○ 構内の監理者指示場所に堆積する。 ○ 構外へ搬出する。(約_km)</p> <p>第10節 インサート</p> <p>【追記】</p> <p>(3) 電気室等で使用するインサートは、上階との温度差を確認し、結露防止対策を行うこと。 (4) 断熱材使用箇所のインサートは、断熱インサートを使用すること。</p> <p>第11節 その他</p> <p>改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2によるほか、下記による。 (1) 事前調査項 ● 電力引込管路 ● 通信引込管路 ○ その他 () (2) 当該設備調査方法 ○ 現地実測 ● その他 (引込先協議による確認) (3) 地中管路の掘削にあたっては、電気はもとより機械設備の配管についても確認を行い実施すること。存在が推定される場合は手掘りなどにより既設配管を傷めないよう配慮すること。</p> <p>改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2によるほか、下記による。 (1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、設計図に特記のない限り、ダイヤモンドカッターによるものとする。 (2) 穴あけ箇所の非破壊検査による埋設物の事前調査 (○要 ○否) 非破壊検査実施後、埋設物と穴あけ箇所との位置関係を明記した「埋設物探査報告書」(任意様式)を取り纏め、監理者へ報告を行う。 支障のある埋設物に対する対応については監理者及び関係者と協議を行い、貫通箇所の変更等が必要な場合は、変更案を書面によって監理者に提出し、承諾を得た後工事に着手するものとする。</p> <p>改修標準仕様書第1編1.8.1から1.8.6によるほか、以下による。 撤去工事の実施にあたっては、以下による。 (1) 設計図に表示してある撤去配管・配線については、撤去着手前に使用/未使用の確認のうえ、その旨の表示を行い監理者に報告する。なお、不要配管の撤去に施工上問題がある場合、隠蔽部分で状況確認が出来ない場合は速やかに監理者に報告を行い、監理者の指示を仰ぐ。 (2) 撤去指示の有無によらず、工事中に不明な残留配管、配線類及び地中埋設物(配管、配線含む)を発見した場合は作業を中止し、速やかに監理者に報告を行い、対処方法等について監理者の指示を仰ぐ。 (3) 有害物質を含む撤去 (ア) 分析によるアスベスト含有調査は下記による。 ○ 行う ○ 行わない (イ) 分析によるアスベスト含有の調査方法は下記による。 ○ JIS A 1481-2・3 ○ その他 () (ウ) 設計時の調査により確認したアスベスト含有の恐れのある建材は以下による。なお、下記表は設計時の調査により確認した内容であり、アスベスト含有の恐れのある建材の全数を示すものではないため、施工調査により確認する。 (一般名称 対象箇所 (階・室・部位) 図面番号 ()) (エ) 処分は下記による。 ○ 埋設処分 ○ 中間処理品</p> <p>配管・配線が、コンクリートやブロック壁、主要な間仕切り等を貫通する場合は、貫通孔と配管配線の隙間をモルタル又は耐火バテ等適切な不燃材料で完全に補修する。また、防火区画、114条区画に使用する鋼製ボックス及びP F管の貫通穴は、国土交通省大臣認定工法により確実に閉塞すること。</p> <p>電気設備の改修のため、在来設備の全部もしくは一部を停止する必要がある場合は、あらかじめその時期、工法、仮設計画等を監理者と協議し、施工要領書にまとめ提出する。また、事前に建物監理者と打ち合わせを行ったうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障をきたさないよう留意する。</p>	<p>第2編 電力設備 工事</p> <p>● 1.1.1 電線類</p> <p>● 1.2.1 電線類</p> <p>● 1.2.2 PF管、CD管及び附属品</p> <p>● 1.2.5 金属線及び附属品</p> <p>● 1.2.6 プルボックス</p> <p>● 1.2.7 金属ダクト</p> <p>● 1.2.8 金属トラフ</p> <p>● 1.2.9 ケーブルラック</p> <p>第1章 機材</p> <p>第1節 電線類 (第6編にも適用する)</p> <p>【追記】</p> <p>(2) 使用する電線種別は以下による。 ○ EM電線、EMケーブル ● 一般電線、一般ケーブル ※ UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。 ※ EM電線、EMケーブル適用の場合は次による。 1) 接地線は、600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) とする。 2) 図中に一般電線・ケーブルの記載がある場合は、それぞれ EM電線、EMケーブルと読み替える。</p> <p>第2節 電線保護物類</p> <p>【追記】</p> <p>(2) 使用区分 屋内 ● ねじなし電線管 ○ 薄鋼電線管 屋外 ● 厚鋼電線管 (厨房内含む) ○ ポリエチレン被覆鋼管 ○ その他</p> <p>(3) 屋外、トレンチ、ピットの電線保護物の支持材 (吊り金物、架台) 及び固定材 (ボルト・ナット) は次による。 ○ 溶融亜鉛メッキ ● ステンレス製</p> <p>【追記】</p> <p>(3) 使用区分 ● P F管 (隠ぺい部、コンクリート埋設部) ○ CD管 (コンクリート埋設部)</p> <p>【追記】</p> <p>(2) 2種金属線ひの吊ボルト用吊り金具は、引掛け形の金具 (ネグロス電工製 吊ボルト用レースウェイ吊り金具 DPY1 相当品) を使用すること。</p> <p>【追記】</p> <p>(4) プルボックスの材質 ○ 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 ○ 合成樹脂製</p> <p>(5) 屋外プルボックスの材質 ○ 鋼板製 (溶融亜鉛めっき) ● ステンレス鋼板製 (水勾配付) ○ 合成樹脂製</p> <p>(6) 露出部金属製プルボックスの塗装 (機械室、EPSを除く) ○ 指定色 ● 不要</p> <p>(7) プルボックスのふたの止めねじ 長辺 200mm を超える場合は、脱落防止ねじを使用する。</p> <p>(8) 吊金物 プルボックスと同仕様とする。</p> <p>【追記】</p> <p>(10) 金属ダクトのふたの止めねじ 長辺 200mm を超える場合は、脱落防止ねじを使用する。</p> <p>【追記】</p> <p>(11) 金属ダクトのふたの止めねじ 長辺 200mm を超える場合は、脱落防止ねじを使用する。</p> <p>【追記】</p> <p>(9) ケーブルラックの種類 屋内 : ● 鋼板製 (右記以外) ○ アルミ製 ○ () 屋外・ピット : ○ 鋼板製 (溶融亜鉛めっき同等品) ○ アルミ製 ○ ステンレス製 ● 高耐食製</p> <p>(10) 親析 ラック幅 400mm以上の場合は 100mm とする。</p> <p>(11) ケーブルラックの金物・支持材等の材質はケーブルラックと同仕様とする。</p> <p>(12) ケーブルラックの端部には、端部保護キャップ (ネグロス電工 SRBC 相当品) を取り付けること。</p> <p>(13) 不特定多数が入り出す部分を通過する非常電源回路等の耐火電線等 (耐火電線と一般電線の混在したものを含む) をケーブルラックに露出して敷設する場合、ケーブルラック下部を耐火ボードで遮蔽する、もしくはケーブルに延焼防止剤を塗布すること。</p> <p>(14) 屋内用ケーブルラック保護カバー 屋内の露出部分は、床上 1.8m までは保護カバー (鋼製メラミン焼き付け 1.2mm厚以上) をケーブルラックの上下両面に取り付ける。ただし、電気室、EPS は除く。 ※ 高圧ケーブル用のケーブルラックは全域にわたり上下とも鋼板製の保護カバーを取り付ける。</p> <p>(15) 屋外用ケーブルラック保護カバー 屋外のケーブルラックはすべて保護カバーを設ける。その材質はケーブルラックと同仕様とする。 上部 : ● 屋根型等水勾配付き ○ ノンスリップ仕上げ ○ 歩行可能な耐重量 下部 : ○ 上部と同材質 ○ ネットロン網 ※ 保守通路として想定される部分の上部カバーは歩行可能な耐重量を有し、ノンスリップ仕上げとする。 ※ 高圧ケーブルの保護カバーは上下とも鋼板製とする。</p> <p>(16) 原則として同一建物内ではボンド工法とノンボンド工法を混在して施工しないこと。やむを得ず混在して施工が必要な場合は、監理者と協議し、承認を得ること。</p>	<p>● 1.3.1 配線器具</p> <p>● 1.4.2 構造一般</p> <p>● 1.7.3、1.9.3、1.10.3、1.11.3、1.12.3、1.14.3 キャビネット 1.17.1 接地端子箱</p> <p>● 1.7.4、1.9.4、1.10.4、1.11.4 漏電部</p> <p>● 1.7.6、1.9.6、1.10.6、1.11.6 器具部</p> <p>第3節 配線器具</p> <p>【追記】</p> <p>(2) 配線器具は (1) によるほか、次による。 (ア) コンセント仕様 ・特記がない限り、定格 125V15A 2 個用接地極付とする。 ・天井内及び天井面取り付けのコンセントは定格 125V15A ツイストロック又は抜け止め型とする。 ・屋外及び厨房などの水気のある場所に取り付ける器具は、防水型 (防雨又は防湿構造のもの) とする。 (イ) コンセントの色別 (OA タップにも適用する) ● コンセントの色は電源種別、用途により下記のとおりとする。 A C : ● 白 ○ 指定色 G C : ○ 赤 ○ グレー ○ 指定色 U P S : ○ 緑 ○ グレー ○ 指定色 (ウ) スイッチ ● 一般形 ○ ワイドハンドル形 ● 設計図による (エ) プレート ● 新金属製 (耐食アルミ合金製) ○ 新金属製 (ビス無し) ○ 対象範囲 (設備機械室等) ○ 合成樹脂製 (パナソニック コスモシリーズ相当) ○ 対象範囲 () ○ パナソニック (パナソニック グレーシアシリーズ相当) ○ 対象範囲 () ● 設計図による (オ) フロアコンセントの種類 ● アップコンセント (○ 砲金製 ○ アルミニウム製) ○ 上下可動型コンセント (○ 砲金製 ○ アルミニウム製) ○ 埋込み型インナーコンセント ● OAフロア用アップコンセント ○ OAフロア用インナーコンセント (3) ○ プレート及びスイッチ、コンセント等の組み合わせ見本を提出すること。 (4) 断熱材材料箇所におけるインサートは、断熱インサートを使用とする。</p> <p>第4節 照明器具</p> <p>【置換】</p> <p>(13) 照明用ボールは、配線用遮断器 (引し装置なし) を内蔵したものとする。</p> <p>第7、9～12節、14節、17節 盤類 (分電盤、OA盤、実験盤、閉閉器、制御盤、電気自動車充電装置、設置端子箱)</p> <p>【追記】</p> <p>(1) (ウ) 盤内機器の表示および操作面は、監視・操作のしやすい形状および配置とする。 (ナ) 盤内の所要機器類は、保安点検が容易な配置と保安上十分に考慮された規格、寸法とする。 (ニ) 扉の鍵は、原則各工事で同一形状のものは同一鍵とする。</p> <p>【追記】</p> <p>(2) (カ) 屋外に設置するものは、太陽輻射熱による温度上昇を防止するための換気を行うとともに、周辺環境による塵埃の腐食防止措置を施すこと。 (キ) 前(カ)号の通常の使用状態で、外部の温度上昇限度は各機器規定の温度上昇限度を超えないものを使用すること。 (ク) 屋外等に設置される配電盤・制御盤・分電盤において、内部が高温になる場合は、正常に動作する配線用遮断機を使用すること。 (ケ) 屋外壁掛けの場合は径5～9mmの水抜き穴を設けること。</p> <p>【追記】</p> <p>(3) 屋内型盤の材質・塗装色 屋内用のキャビネットは鋼板製とする。ただし、設計図に材質の指定がある場合にはそれによる。また、塗装色は以下による。 ● 製造者の標準色 ○ 指定色 (4) 屋外型盤の材質・塗装色 ○ 鋼板製 (溶融亜鉛めっき) ○ ステンレス鋼板製 ○ 合成樹脂製 ○ 製造者の標準色 ○ 指定色 ● 重耐塩塗装 ※周辺環境による塵埃の腐食防止措置を施すこと。 (5) 支持金物、ボルト、ナット 盤と同仕様とする。 (6) ○ Aフロア部に設置する盤は、その○ Aフロアの高さ分の架台を見込むこと。 (7) 電源分岐用のみの動力盤は保護板付とする。 (8) 接地側端子用バーは回路毎に区分し、絶縁抵抗が容易に測定できる構造とする。また、箱体接地用端子を設ける。 (9) 列盤内には接地母線を設け電氣的に完全に接続するものとする。 (10) 防災設備の電源回路には、その旨を赤字で明記する。</p> <p>【追記】</p> <p>(8) 接地端子 ● 回路数と同数の接地端子を設ける。 (9) 母線接続部 ● 盤の母線 (接続部) には不可逆性示温材 (70℃) を設ける。</p> <p>【追記】</p> <p>(2) (ウ) 漏電遮断器の選定は、内線規程によるものとする。 (エ) 漏電遮断器の選定にあたっては、納入機器の推奨感度電流値もしくは漏れ電流値を製造者に確認し、設計者及び監理者に書面に報告の上、その</p>
分類・規格	部数	備考																																		
● 保安に関する資料	(2)部																																			
○ 什器	○ 机 () ○ 椅子 () ○ 会議テーブル () ○ 書櫃 () ○ 本棚 () ○ 更衣ロッカー () ○ 応接セット () ○ 洗面設備 () ○ シンク () ○ 白板 () ○ 図面掛け ()																																			
○ 電気製品	○ 冷蔵庫 () ○ 電子レンジ () ○ 湯沸器 () ○ 時計 ()																																			
○ 工用具	○ ゴム長靴 () ○ 雨カッパ () ○ 墜落防止用具 (○脚ベルト型 ○フルハーネス型) ○ 懐中電灯 () ○ ヘルメット () ○ 検査道具一式 () ○ 温湿度計 ()																																			
○ 事務用品	○ 筆記用具 ○ ○ A用紙 (適宜補充) ○ ファイル (適宜補充) ○ その他 ○ 消火器																																			
○ パソコン ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () ○ S ○ Windows10 ○ 監理者の指示による																																			
	ソフト ○ Word ○ Excel ○ PowerPoint ○ AutoCAD ○ その他 () ※ 各種最新版とする。																																			
	共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
○ インターネット回線 ()	回線 ○ 光ケーブル回線 種類 ○ ADSL回線 (プロバイダー契約は受注者負担)																																			
○ レザープリンター ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
○ コピー機 ()	機種 ○ 監理者の指示による ○ その他 () 機能 ○ 自動原稿送り ○ 自動給紙 ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 印刷 ○ カラー ○ 白黒 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
○ 電話 ()	共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
○ FAX ()	回線 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
○ 複合機 ()	機種 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有 機能 ○ FAX ○ コピー ○ スキャナ ○ 自動給紙 ○ 自動原稿送り ○ 自動仕分け ○ 両面コピー ○ その他 () 給紙 ○ A3・A4対応 ○ A4対応 共有 ○ 監理者専用 ○ 受注者と共有																																			
	<p>株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号</p>	<p>株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号</p>	<p>一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造 一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也 一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一</p>	<p>一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也 一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治</p>	<p>担当 長浜 愛美</p>	<p>特記 管理番号 1LU122YD1</p>	<p>工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事</p>	<p>図面名 特記仕様書 (4) 縮尺 A1: 1/N, S A3: 1/N, S</p>	<p>図面番号 E-01-4 区分 電気 年月日 2022年4月</p>																											

<p>● 1.12.6 器具類</p> <p>○ 1.14.1 一般事項</p> <p>○ 1.14.6 充電コネクタ</p> <p>● 1.17.5 【追加】 接地極の種類</p>	<p>仕様を決定すること。当該機器類の納入仕様書等には推奨感度電流値または漏れ電流値を記載すること。漏れ電流値により漏電遮断器を選定する場合、感度電流値は漏れ電流値の2倍以上とすること。</p> <p>(オ) サーバールームなど重要室の空調機用漏電遮断器の感度電流値は、原則100mA以上の中感度形とし、空調機には必ず接地を施すこと。また、機器メーカー変更にも対応できるように感度電流値可変タイプとすること。</p> <p>(カ) ビル用マルチエアコンの室外機用遮断器のトリップ値は機器納入仕様書の基準電流値を確認し、同値以上を選定すること。</p> <p>【追記】</p> <p>(7) (オ) 電力計は設計図に記載のない場合は、検定付を使用する。</p> <p>【置換】</p> <p>(14) 低圧用SPDは次によるほか、JIS C 5381-11「低圧配電システムに接続するサージ防護デバイスの所要性能及び試験方法」による。</p> <p>(ウ) 低圧用 SPD クラスⅡ (JIS C 5381-11「低圧配電システムに接続するサージ防護デバイスの所要性能及び試験方法」) に規定するクラスⅡの試験によるもの及び分離用ヒューズの性能は、下記による。</p> <table border="1" data-bbox="219 451 742 598"> <caption>低圧用 SPD クラスⅡの性能</caption> <thead> <tr> <th>電源系統</th> <th>単相 100V、200V</th> <th>三相 400V</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目</td> <td>三相 200V</td> <td>三相 400V</td> </tr> <tr> <td>最大連続使用電圧</td> <td>AC220V 以上</td> <td>AC440V 以上</td> </tr> <tr> <td>公称放電電流 (※1)</td> <td colspan="2">20kA 以上</td> </tr> <tr> <td>電圧防護レベル</td> <td>1,500V 以下</td> <td>2,500V 以下 (※2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：1線当たりとし、対地間の値を示す。 ※1：印加電流波形は、8/20μs の場合を示す。 ※2：対地電圧が、300V 以下の場合とする。</p> <table border="1" data-bbox="219 672 742 787"> <caption>低圧用 SPD クラスⅡ 分離器用ヒューズの性能</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定格電流</td> <td>30A</td> </tr> <tr> <td>公称放電電流</td> <td>20kA</td> </tr> <tr> <td>定格遮断容量</td> <td>10kA</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 低圧用 SPD クラスⅠ (JIS C 5381-11「低圧配電システムに接続するサージ防護デバイスの所要性能及び試験方法」) に規定するクラスⅠの試験によるもの)の性能は、下記による。</p> <table border="1" data-bbox="219 861 742 1008"> <caption>低圧用 SPD クラスⅠの性能</caption> <thead> <tr> <th>電源系統</th> <th>単相 100V、200V</th> <th>三相 400V</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目</td> <td>三相 200V</td> <td>三相 400V</td> </tr> <tr> <td>最大連続使用電圧</td> <td>AC220V 以上</td> <td>AC440V 以上</td> </tr> <tr> <td>公称放電電流 (※1)</td> <td colspan="2">20kA 以上</td> </tr> <tr> <td>電圧防護レベル</td> <td>1,500V 以下</td> <td>2,500V 以下 (※2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：1線当たりとし、対地間の値を示す。 ※1：印加電流波形は、10/350μs の場合を示す。 ※2：対地電圧が、300V 以下の場合とする。</p> <p>(オ) 低圧用 SPD は故障表示付、警報移相接点付とする。</p> <p>第1.2節 制御盤</p> <p>【置換】</p> <p>(1) 器具類は、IE3電動機の特性または負荷の特性に適合するものとする。</p> <p>【追記】</p> <p>(4) (オ)インバータ機器を接続する遮断器は、インバータ回路用漏電遮断器とする。</p> <p>【一部置換】</p> <p>(15) (オ)高調波対策は(a)、(b)に要するほか、次のいずれかによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リアクトル (AC 及び DC) を設ける。 ● 設計図による。 <p>第1.4節 電気自動車充電装置</p> <p>【追記】</p> <p>(3) 製作図に附属コード長さ、施工図配置における対応車種検討図および対応可能な車種のリストを添付すること。</p> <p>【置換】</p> <p>(ウ) 充電コネクタの附属コードの長さは、5m以上とする。</p> <p>第1.7節 接地</p> <p>接地極の材料は下記による。なお、接地極E B (14φ)の長さは1500mm 以上とし、10φ、14φは、W=40 とする。詳細は平面図による。既存建物撤去及び本工事により、既存接地極が撤去となる場合は、次表に拠らず撤去された規模の接地極を新設する。</p> <table border="1" data-bbox="219 1669 742 1942"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EA, D, C</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 共同接地</td> <td>EA, D, C, E L B</td> <td>2Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ A 種</td> <td>E A</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>● B 種</td> <td>E B</td> <td>※1</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ D 種</td> <td>E D</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>○ C 種</td> <td>E C</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 高圧避雷器用</td> <td>E L H</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 低圧避雷器用</td> <td>E L L</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 雷保護用</td> <td>D A (L A)</td> <td>Ω以下</td> <td>○ E B (14φ) × 2連一組 ○ E P - O . 9 × 2</td> </tr> <tr> <td>○ 構造体接地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	電源系統	単相 100V、200V	三相 400V	項目	三相 200V	三相 400V	最大連続使用電圧	AC220V 以上	AC440V 以上	公称放電電流 (※1)	20kA 以上		電圧防護レベル	1,500V 以下	2,500V 以下 (※2)	項目	性能	定格電流	30A	公称放電電流	20kA	定格遮断容量	10kA	電源系統	単相 100V、200V	三相 400V	項目	三相 200V	三相 400V	最大連続使用電圧	AC220V 以上	AC440V 以上	公称放電電流 (※1)	20kA 以上		電圧防護レベル	1,500V 以下	2,500V 以下 (※2)	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	● 共同接地	EA, D, C	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 共同接地	EA, D, C, E L B	2Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	● B 種	E B	※1	E B (14φ) × 3連一組	○ D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	○ C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 高圧避雷器用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 低圧避雷器用	E L L	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 雷保護用	D A (L A)	Ω以下	○ E B (14φ) × 2連一組 ○ E P - O . 9 × 2	○ 構造体接地				<p>● 1.18.3 装柱材料</p> <p>● 1.18.6 マンホール、ハンドホール及び埋設機</p> <p>● 2.1.1 電線の接続</p> <p>● 2.1.2 電線と機器端子との接続</p> <p>● 2.1.10 電線の防火区画の貫通</p> <p>● 2.1.12 管等の外壁貫通等</p> <p>○ 2.1.13 耐震施工</p> <p>● 2.1.14 【追加】 電線類の表示</p> <table border="1" data-bbox="920 94 1454 304"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 交換機用</td> <td>E T</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>E A</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (14φ) × 3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>E D, E D</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>○ 電話引込口の保安器用</td> <td>E L t</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>E O</td> <td></td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>○ ローリーアース用</td> <td>E D</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>● ELDB 用</td> <td>E L B</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：B種接地抵抗値は計算値によるか、電力会社と協議によるものとする。</p> <p>第1.8節 外線材料</p> <p>【置換】</p> <p>装柱材料の材質は次による。なお、腕金の詳細及びその他の装柱材料は、電気事業者の仕様による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 溶融亜鉛めっき ● ステンレス鋼製 <p>【追記】</p> <p>(3) (エ) 水位が高い場合は、ハンドホール、マンホールの水抜き穴に水抜き用逆止弁を設ける。</p> <p>(オ) ハンドホールのリング側に、止水用ゴムパッキンを取付けること。</p> <p>(カ) ハンドホールの蓋に、発泡ラバー製のパッキンを取付けること。</p> <p>(キ) 止水用ゴムパッキン及び、発泡ラバーパッキンは、接着剤にて堅固に取付けること。</p> <p>(ク) ハンドホールの水抜き穴には、水抜穴逆流防止弁を取付けること。</p> <p>(5) 凍結の恐れのある寒冷地の場合は鉄ふたに断熱材を取り付けること。</p> <p>第2章 施工</p> <p>第1節 共通事項</p> <p>【追記】</p> <p>(10) (オ) ケーブル相互の接続及び端末処理は、有資格者が行うものとし、その部分に資格者氏名、施工年月日を表示する。</p> <p>(13) 電気配線の防漏については、労働省産業安全研究所の「工場電気設備防漏指針(ガス・蒸気防漏)」による。</p> <p>(14) 情報・通信ケーブルの接続及び端末処理は電気通信工事担任者の有資格者が行う。資格種別は工事内容による。</p> <p>【置換】</p> <p>(4) (オ)太さによらず電線をターミナルラグにより機器に接続する場合は、増し締め確認の表示を行う。盤等の扉背面に増し締め確認シールを貼付け、記載項目は確認日、確認者とする。</p> <p>【追記】</p> <p>(6) 幹線敷設後、導体接続部の増し締め及びマーキングを行う。増し締めは作業員以外の第三者が行うものとマーキングは作業員により異なる色にて1回ずつ、最低2回のマーキングを行うこと。増し締め確認シールを当該盤内に張り付けること。</p> <p>【追記】</p> <p>(6) ケーブルの防火区画貫通処理は国土交通省大臣認定工法(防火キット等)又は前後1m 鋼管施工とする。</p> <p>(7) 中空耐火間仕切り壁にコンセント・スイッチ・ボックス等を設置する場合、国土交通省大臣認定工法による耐火措置を施すこと。</p> <p>(8) 非常E L V乗降ロープ及び危険物範囲は当該エリアに関連のない配管・配線の横断は不可とする。</p> <p>【追記】</p> <p>(3) 屋外から直接屋内に貫通させる場合、水害の恐れのない地域で、特に設計水位の指定がない場合は、原則として全面道路から600mm以上、及び敷地内地表から300mm以上のレベルで貫通を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水位の指定なし ○ 設計水位：GL+ () mm <p>(4) 寒冷地においては積雪を考慮し、次の高さ以上での貫通を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計積雪高：GL+ () mm <p>【追記】</p> <p>(6) (イ) エキスパンション部分の処置方法は以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 金属製可とう電線管又はPF管 ○ ケーブル ○ 設計図による <p>(7) (イ) 建物への引込み配管の地震、地盤沈下等による地盤変位の対応は、配管に見合った処置(標準図参照)を行うものとし、想定沈下量は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 0. 2m以下 ○ 0. 6m以下 ○ 1m以下 <p>下記の配線には先行、回路種別、電線種別・サイズ、施工年月日等を明記した表示札をとりつけること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 配電盤外部配線 ② 分電盤・動力制御盤・端子盤等(盤類全て)の1次側配線 ③ プルボックス・マンホール内の配線 ④ ケーブルラック上のケーブル類 	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	○ 交換機用	E T	Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 通信用	E A	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組	○ 通信用	E D, E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	○ 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	● 測定用	E O		E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	○ ローリーアース用	E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	● ELDB 用	E L B	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)	<p>● 2.1.15 【追加】 配線本数、管路など</p> <p>○ 2.1.16 【追加】 屋上・機械室等の点検通路</p> <p>● 2.2.3、2.3.3、2.4.3 隠ぺい配管の敷設</p> <p>● 2.2.4、2.3.4、2.4.4 露出配管の敷設</p> <p>● 2.2.7、2.3.7、2.4.7、2.10.2、2.10.3及びジョイントボックス</p> <p>● 2.2.8、2.3.8、2.4.8、2.10.3 プルボックス</p> <p>● 2.2.9、2.3.9、2.4.9 通線</p> <p>● 2.10.1 ケーブルラックの敷設</p> <p>● 2.10.4.1 共通事項</p> <p>● 2.10.4.5 二重天井内配線</p> <p>● 2.10.4.6 二重床内配線</p> <p>● 2.12.4 管路等の敷設</p> <p>⑤ 空配管等の呼び線</p> <p>⑥ 高圧ケーブル</p> <p>※ 高圧ケーブルの保護管、ケーブルラック等には「高圧危険」の表示を行うこと。</p> <p>分電盤、制御盤、端子盤の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径などは、設計図と相違しても差し支えない。ただし、監理者の承諾を受ける。</p> <p>屋上、機械室等の配管、ラック部分の点検通路用として鋼製歩廊(溶融亜鉛めっき)を(5箇所)設置するものとし、その費用を見込む。設計図に記載のある場合にはそれによる。</p> <p>第2~4節 金属管配線、合成樹脂配管配線(PF管、GD管)、合成樹脂配線(硬質ビニル管)</p> <p>【追記】</p> <p>(9) 最上階の上部スラブ及び地下の外壁には配管を埋設してはならない。</p> <p>(10) インバータ制御機器など、電磁障害を発生させる機器への動力制御盤等からの電源配線用の保護管は、金属管を使用する。ただし、設計図にその旨の記載がある場合にはそれによる。</p> <p>(11) 壁埋込形の分電盤・端子盤には、1次側配線引替用の予備配管及びE 2 5又はP F 2 2を1本以上設ける。</p> <p>(12) 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監理者の承諾を受けて変更しても差し支えない。また、機械室等の床埋設配管は図面とPF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。</p> <p>(13) 露出部分金属管の塗装(塗装色などについては監理者の指示による。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋外 ● 屋内(機械室、EPS、倉庫を除く) ○ 不要 ・ 塗装の仕様 () <p>【追記】</p> <p>(9) ジョイントボックス及び中継用位置ボックスを二重天井内に取り付ける場合は、点検可能な位置とし、必要に応じて点検口を設ける。また、蓋等の見えやすい位置に用途表示を行うこと。</p> <p>(10) 結露のおそれのある部分及び外壁面に設置する位置ボックスは、断熱施工同等の熱抵抗値を持った断熱ボックス若しくは断熱カバー等により施工し、結露対策を確実にすること。なお、材料、施工方法は監理者の承諾を受ける。</p> <p>【置換】</p> <p>(3) 長さ1m以上の通線を行わない電線管には、導入線(太さ1.2mm以上の被覆鉄線)を挿入する。また、導入線には先行表示札を取り付けること。</p> <p>第1.0節 ケーブル配線</p> <p>【追記】</p> <p>(11) 揺れによる建材との接触及び地震時の建物の振動に共振しない支持間隔とする。</p> <p>【置換】</p> <p>(3) 施工に当たっては前(ア)~(オ)による他、以下による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 制御幹線及び弱電幹線は電力幹線と十分な離隔をとるものとする。 駐車場等に敷設される幹線は、必要な耐熱、耐火措置を施すこと。 ケーブル分岐は容易に点検できない隠ぺい場所では行わない。 <p>(c) ケーブルを束ね結束する場合は、施工要領書を提出し、監理者の承諾を得ること。</p> <p>(d) グリッド照明等で移動可能な照明用配線は100cmのケーブル余長を見込む。</p> <p>【追記】</p> <p>(e) ハーネスジョイントボックスはその位置が床上から確認できるようマーキングを施す。タイルカーペット等への表示は移動、紛失がないよう方法で取付けるものとする。</p> <p>第1.2節 地中配線</p> <p>【追記】</p> <p>(9) 電力・通信引込、特別高圧又は高圧の地中配線には、標識シート等を2倍長以上重ね合わせたうえで、地表面(舗装のある場合は、舗装下面)から埋設深さのほぼ中間に1段目、1段目と管頂のほぼ中間に2段目を設け、おおむね2mの間隔で用途又は電圧種別を、表示するものとする。</p> <p>【置換】</p> <p>(11) 基本的な埋設深度は以下とする。</p> <p>なお、凍結の恐れがある場合は凍結深度より深く埋設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引込(電力、通信) : GL -1,200mm ・ その他 路盤下(砕石下) : GL -600mm ・ その他 無舗装部分 : GL -600mm ※ 凍結深度 : GL (-)mm 	<p>● 2.12.5 ケーブルの敷設</p> <p>● 2.13.9 接地線</p> <p>● 2.14.3 機器の取付け及び接続</p> <p>● 2.15.1 配線</p> <p>● 2.15.3 機器の取付け及び接続</p> <p>○ 2.17.1 管路等の敷設</p> <p>○ 2.17.4 接地極</p> <p>【置換】</p> <p>(9) 設計図に記載のない場合の地中管路の埋設標の設置箇所は次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 建物への引き込み口及び出入口付近 地中管路の曲折箇所 道路横断面所 直線部分では、30m程度ごとに1個 なお、30mに満たない場合は、その間に1個 <p>【追記】</p> <p>(オ) 原則として接地幹線は分岐方式とし盤間渡りはしない。</p> <p>第1.4~1.6節 電灯設備、動力設備、電熱設備</p> <p>【追記】</p> <p>(5) (オ) 天井付けルーバー付き照明器具のルーバーなどは、落下防止を考慮する。</p> <p>(カ) システム天井用照明器具については、脱着防止措置を行うこと。</p> <p>(キ) 高天井、屋外に設置する器具は落下防止を施すこと。</p> <p>(ク) 器具の取り付けに当たっては、器具内のコンレールを上昇しないよう考慮し、機器の機能低下や寿命低下にならないよう十分な放熱を考慮する。</p> <p>(ケ) 1.5kg以上のダウンライトは脱着防止措置を行うこと。</p> <p>(コ) 安定器別置の場合、設置場所について監理者と協議のうえ決定すること。</p> <p>(サ) T/U付リモコンリレーを天井内に設ける場合にはケーブル接続部に強力が掛からないよう固定等を行うものとし、点検可能な位置とする。</p> <p>(6) (オ) コンセントプレートに分電盤回路番号表示を行う。</p> <p>(カ) ハーネス用ジョイントボックス、0Aタップに分電盤回路番号を表示する。</p> <p>(キ) ハーネスジョイントボックスは固定器具で床面に固定する。</p> <p>(8) FL+2000mm以下の盤・配管等支持金物の端部や突出部には、接触防止用の端部保護キャップを取り付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダクターリップ用保護キャップ ネグロス電工 DCCP-#相当品 ・ ダクターチャンネル端部保護キャップ ネグロス電工 DIBC 相当品 <p>なお、屋外の該当箇所は、紫外線等による変色・劣化が起きにくいグレー色または黒色を原則使用すること。</p> <p>(9) 屋外立ち上げ配管(G管)、補照照明器具(庭園灯)、外構照明器具(金属ポール)については、FL+300mmまで防触テープを巻き付けること。なお舗装部分以外はモルタル等により根巻きを行うこと。</p> <p>【置換】</p> <p>(10) 施工に当たっては前(1)から(9)項による他、次による。</p> <p>壁取付け機器の取付け高さは、設計図に記載のない場合は、本特記仕様書の「別表-1 機器の取付け高さ」による。また、他工事との取り合いがある場合は、展開図を作成の上、監理者の承諾を受ける。(本節以降にも適用する)</p> <p>【盤類・機器】</p> <ol style="list-style-type: none"> 盤類、機器の設置に当たっては、機器更新及び保守点検に容易に行える位置、前面空間などを考慮のうえ施工を行うこと。 二重天井内に設置する機器は、機器名称・番号を点検口等から見えやすい位置に表示すること。 屋外に設置する架台、基礎下部に空間がある場合、防鳥ネットを設置すること。 機器類の固定はダブルナットとし、屋外の場合にはキャップを取り付ける。 外壁取付け機器まわりはシーリングを行う。詳細は監理者と協議を行い、承諾を受ける。 <p>【架台等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 屋外据え付け機器、架台、マスト等の取付ボルトは、溶融亜鉛メッキと同等以上の防食ボルトを使用し、耐久性のあるシーリング材等で覆うこと。 機器類の鋼製架台は本工事とし、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 コンクリート基礎は施工区分表による。 <p>【追記】</p> <p>(エ) 壁以降の2次側配線は原則として床埋込みをしてはならない。</p> <p>(オ) 地下水槽・ハンドホールなど、水気のある場所から制御盤に直結する配管は、防湿、防虫措置を施すこと。</p> <p>【追記】</p> <p>(オ) ポンプ室などの漏水のおそれのある場所に自立制御盤を設置する場合は、基礎を設ける。</p> <p>第1.7節 雷保護設備</p> <p>【追記】</p> <p>(5) 受雷部及び避雷導線から1.5m以内に近接する電線管、雨どい、鉄管、鉄はしご等の金属体は、太さ14mm以上の銅より線により導線等に原則接続する。設備機器など、接続により機器故障が想定される場合は監理者と協議する。</p> <p>【置換】</p> <p>(2) (ウ) 構造体利用接地極は、構造体底層部の大地低効率をウェンナー4電極法により、30m×30mごとに1箇所測定する。なお、測定結果及び接地抵抗計算書を監理者に提出し承諾を受ける。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">特記</td> <td>工事名</td> <td>図面番号</td> <td>区分</td> </tr> <tr> <td>管理番号</td> <td>縮尺</td> <td>電気</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>1LU122YD1</td> <td>屋外型トレーニングセンター建設工事</td> <td>特記仕様書(5)</td> <td>E-01-5</td> <td>電気</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>縮尺</td> <td>年月日</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A1: 1/N, S</td> <td>A3: 1/N, S</td> <td>2022年4月</td> </tr> </table>	特記	工事名	図面番号	区分	管理番号	縮尺	電気	1LU122YD1	屋外型トレーニングセンター建設工事	特記仕様書(5)	E-01-5	電気			縮尺	年月日				A1: 1/N, S	A3: 1/N, S	2022年4月
電源系統	単相 100V、200V	三相 400V																																																																																																																																											
項目	三相 200V	三相 400V																																																																																																																																											
最大連続使用電圧	AC220V 以上	AC440V 以上																																																																																																																																											
公称放電電流 (※1)	20kA 以上																																																																																																																																												
電圧防護レベル	1,500V 以下	2,500V 以下 (※2)																																																																																																																																											
項目	性能																																																																																																																																												
定格電流	30A																																																																																																																																												
公称放電電流	20kA																																																																																																																																												
定格遮断容量	10kA																																																																																																																																												
電源系統	単相 100V、200V	三相 400V																																																																																																																																											
項目	三相 200V	三相 400V																																																																																																																																											
最大連続使用電圧	AC220V 以上	AC440V 以上																																																																																																																																											
公称放電電流 (※1)	20kA 以上																																																																																																																																												
電圧防護レベル	1,500V 以下	2,500V 以下 (※2)																																																																																																																																											
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																																																																																																										
● 共同接地	EA, D, C	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 共同接地	EA, D, C, E L B	2Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
● B 種	E B	※1	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
○ C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 高圧避雷器用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 低圧避雷器用	E L L	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 雷保護用	D A (L A)	Ω以下	○ E B (14φ) × 2連一組 ○ E P - O . 9 × 2																																																																																																																																										
○ 構造体接地																																																																																																																																													
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																																																																																																										
○ 交換機用	E T	Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 通信用	E A	10Ω以下	E B (14φ) × 3連一組																																																																																																																																										
○ 通信用	E D, E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
○ 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
● 測定用	E O		E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
○ ローリーアース用	E D	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
● ELDB 用	E L B	100Ω以下	E B (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																																																																																																										
特記	工事名	図面番号	区分																																																																																																																																										
	管理番号	縮尺	電気																																																																																																																																										
1LU122YD1	屋外型トレーニングセンター建設工事	特記仕様書(5)	E-01-5	電気																																																																																																																																									
		縮尺	年月日																																																																																																																																										
		A1: 1/N, S	A3: 1/N, S	2022年4月																																																																																																																																									



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

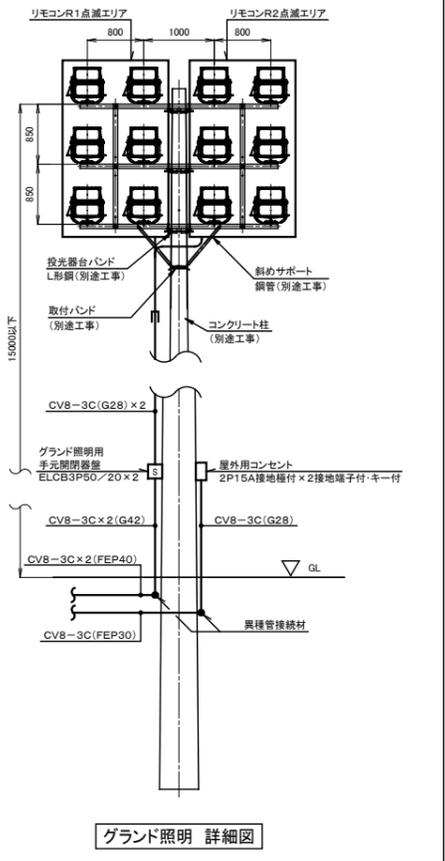
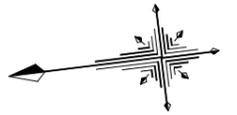
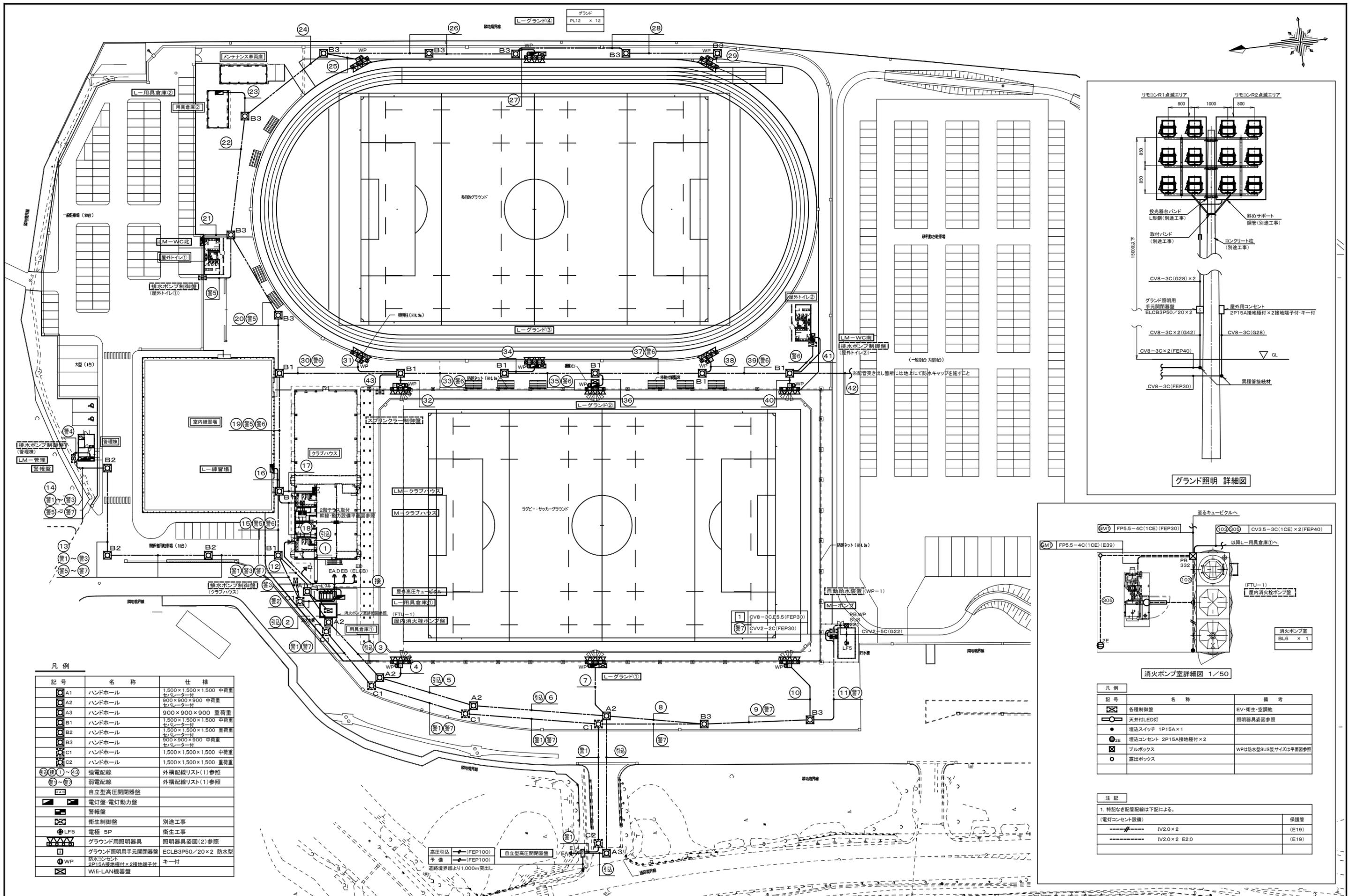
株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録	第 272676号	鈴木 耕造	一級建築士登録	第 353942号	伊藤 裕也
一級建築士登録	第 217159号	山元 徹也	一級建築士登録	第 383653号	伊藤 翔治
一級建築士登録	第 266089号	秋吉 賢一			

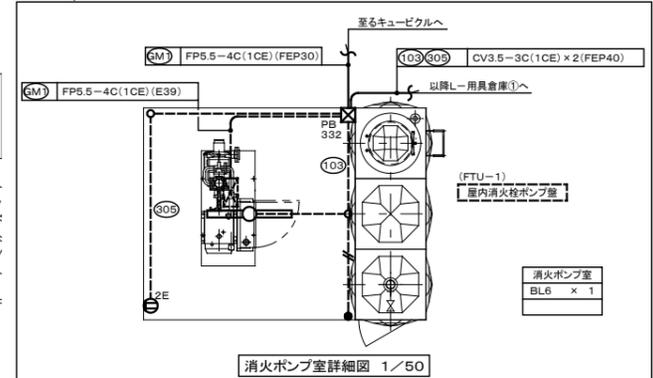
担当 長浜 愛美

特記	工事名
管理番号	屋外型トレーニングセンター建設工事
	1LU122YD1

図面番号	区分
E-01-5	電気
縮尺	年月日
A1: 1/N, S	A3: 1/N, S
	2022年4月



グラウンド照明 詳細図



消火ポンプ室詳細図 1/50

凡例

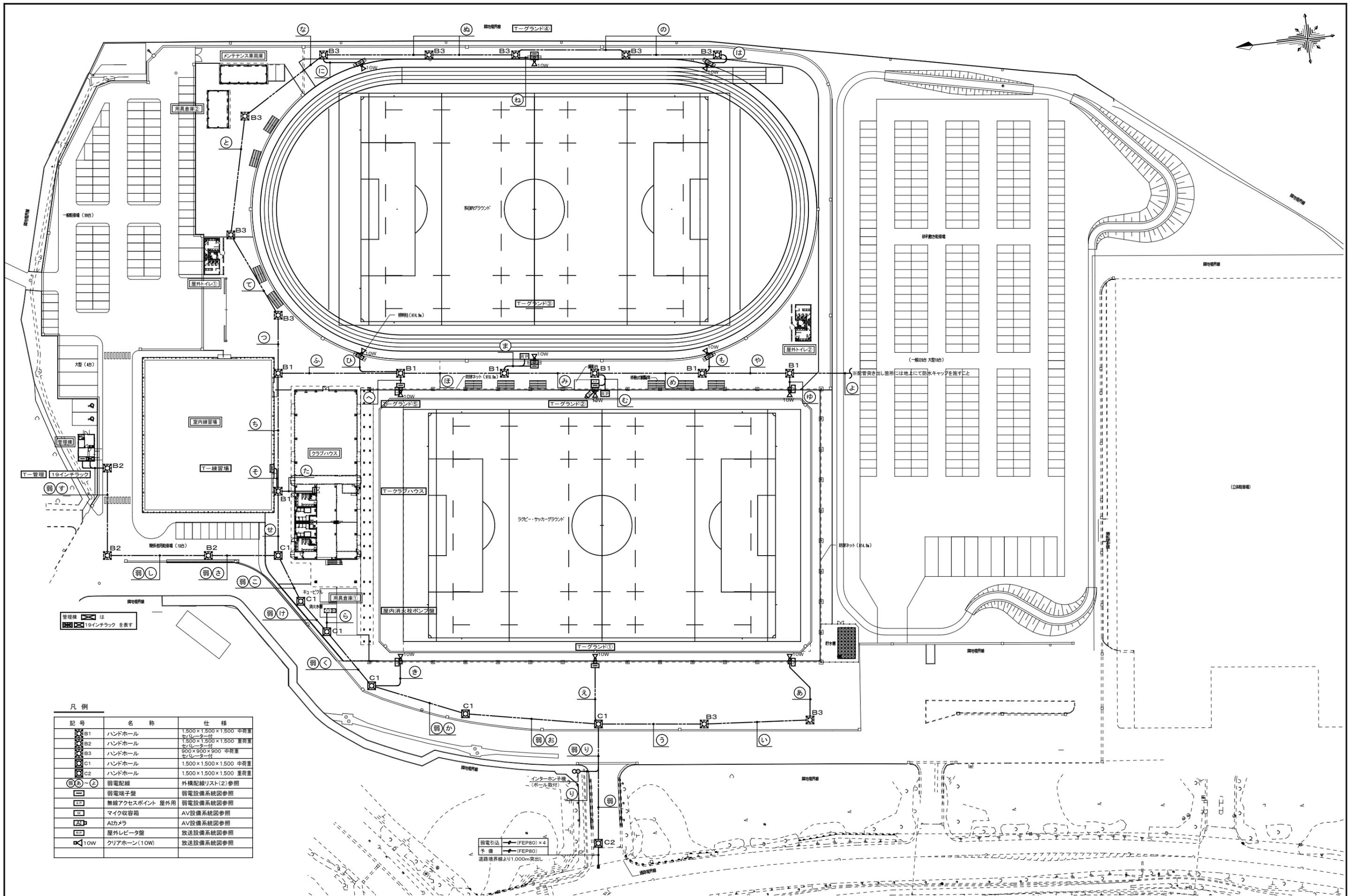
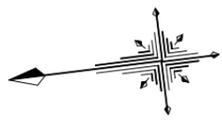
記号	名称	仕様
A1	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 中荷重 セパレーター付
A2	ハンドホール	900×900×900 中荷重 セパレーター付
A3	ハンドホール	900×900×900 重荷重
B1	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 中荷重 セパレーター付
B2	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 重荷重 セパレーター付
B3	ハンドホール	900×900×900 中荷重 セパレーター付
C1	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 中荷重
C2	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 重荷重
①~④③	強電配線	外構配線リスト(1)参照
⑤~⑦	弱電配線	外構配線リスト(1)参照
△	自立型高圧開閉器盤	
■	電灯盤・電灯動力盤	
⊠	警報盤	
⊞	衛生制御盤	別途工事
LF5	電梯 5P	衛生工事
⊞	グラウンド用照明器具	照明器具図(2)参照
⊞	グラウンド照明用手元開閉器盤	ECLB3P50/20×2 防水型
WP	防水コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付	キー付
⊞	Wifi-LAN機器盤	

凡例

記号	名称	備考
⊞	各種制御盤	EV・衛生・空調他
⊞	天井付LED灯	照明器具表参照
●	埋込スイッチ 1P15A×1	
⊞	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	
⊞	ブルボックス	WPは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記

1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電灯コンセント設備)		保護管
---	IV2.0×2	(E19)
---	IV2.0×2 E2.0	(E19)



凡例

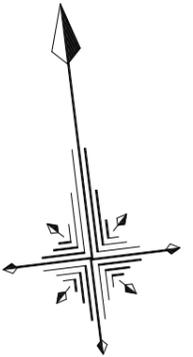
記号	名称	仕様
B1	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 中荷重 セレータ付
B2	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 重荷重 セレータ付
B3	ハンドホール	900×900×900 中荷重 セレータ付
C1	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 中荷重
C2	ハンドホール	1,500×1,500×1,500 重荷重
①	弱電配線	外構配線リスト(2)参照
②	弱電端子盤	弱電設備系統図参照
③	無線アクセスポイント 屋外用	弱電設備系統図参照
④	マイク収容箱	AV設備系統図参照
⑤	AIカメラ	AV設備系統図参照
⑥	屋外レベータ盤	放送設備系統図参照
⑦	クリアホーン(10W)	放送設備系統図参照

弱電引込 (FEP80) × 4
予備 (FEP80)
道路境界線より1,000m突出し

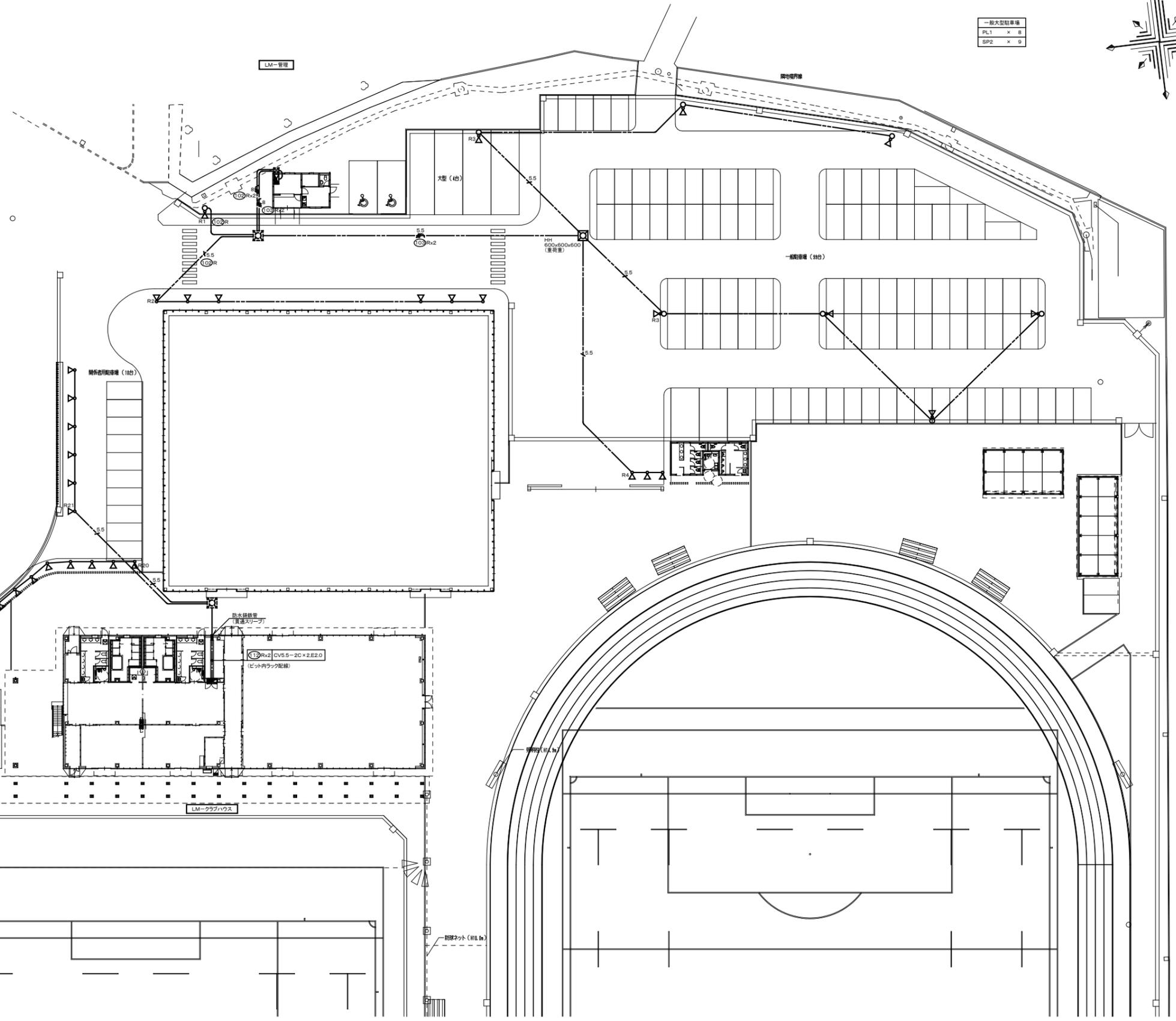
凡例		
記号	名称	備考
☑	電灯動力盤	
△	LEDスポットライト	照明器具要図参照
○	LEDモールライト	照明器具要図参照
□	ハンドホール	仕様は平面図参照

注記	
1. 特記なき配管配線は下記による。	
(外灯設備)	保護管
— CV3.5-2C E2.0	(FEP30)
— CV5.5-2C E2.0	(FEP30)
— CV5.5-2C×2 E2.0	(FEP50)
— CV8-2C×2 E2.0	(FEP65)
2. 地中埋設管はGL-600以上とし、GL-300に埋設シート(ダブル)を布設すること。	

一般大型照明機	
PL1	× 8
SP2	× 9



外灯	
SP2	× 26



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
外灯機器及び配管配線 配置図
縮尺
A1: 1/300 A3: 1/600

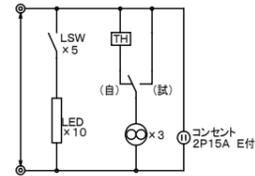
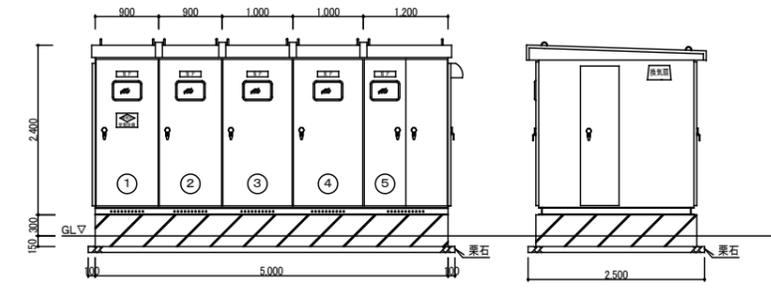
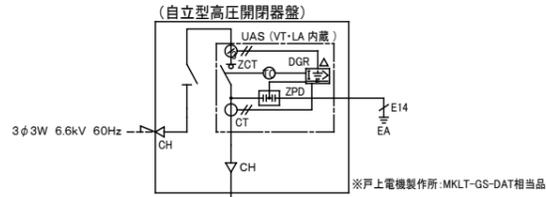
図面番号 E-06 区分 電気
年月日 2022年4月

凡 例

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
UAS	高圧気中開閉器	地中開閉器盤	Wh	電力量計	電力会社取付
CH	ケーブルヘッド		V	電圧計	角形
VCT	電力供給用計器用変成器	電力会社取付	A	電流計	角形
DS	断路器		W	電力計	角形
LA	避雷器		COSφ	力率計	角形
VT	計器用変成器				
VCB	真空遮断器		⊕	電圧計切替スイッチ	
LBS	高圧交流負荷開閉器	相間バリア付 ストライク機構付	⊗	電流計切替スイッチ	
VC	真空接触器				
PC	高圧カットアウト				
TR	変圧器	トランスナー式(油入型)			
SC	進相コンデンサ	油入型			
SR	直列リアクトル	油入型			
PF	高圧限流ヒューズ				
F	ヒューズ				
PT	計器用変圧器	モールド型			
CT	計器用変流器	モールド型			
ZCT	零相変流器	モールド型			
I)	過電流継電器	瞬時要素付	EABD△	接 地	
U(不足電圧継電器				
I↓	地絡方向継電器	DGR			
I↓	地絡継電器				

盤リスト

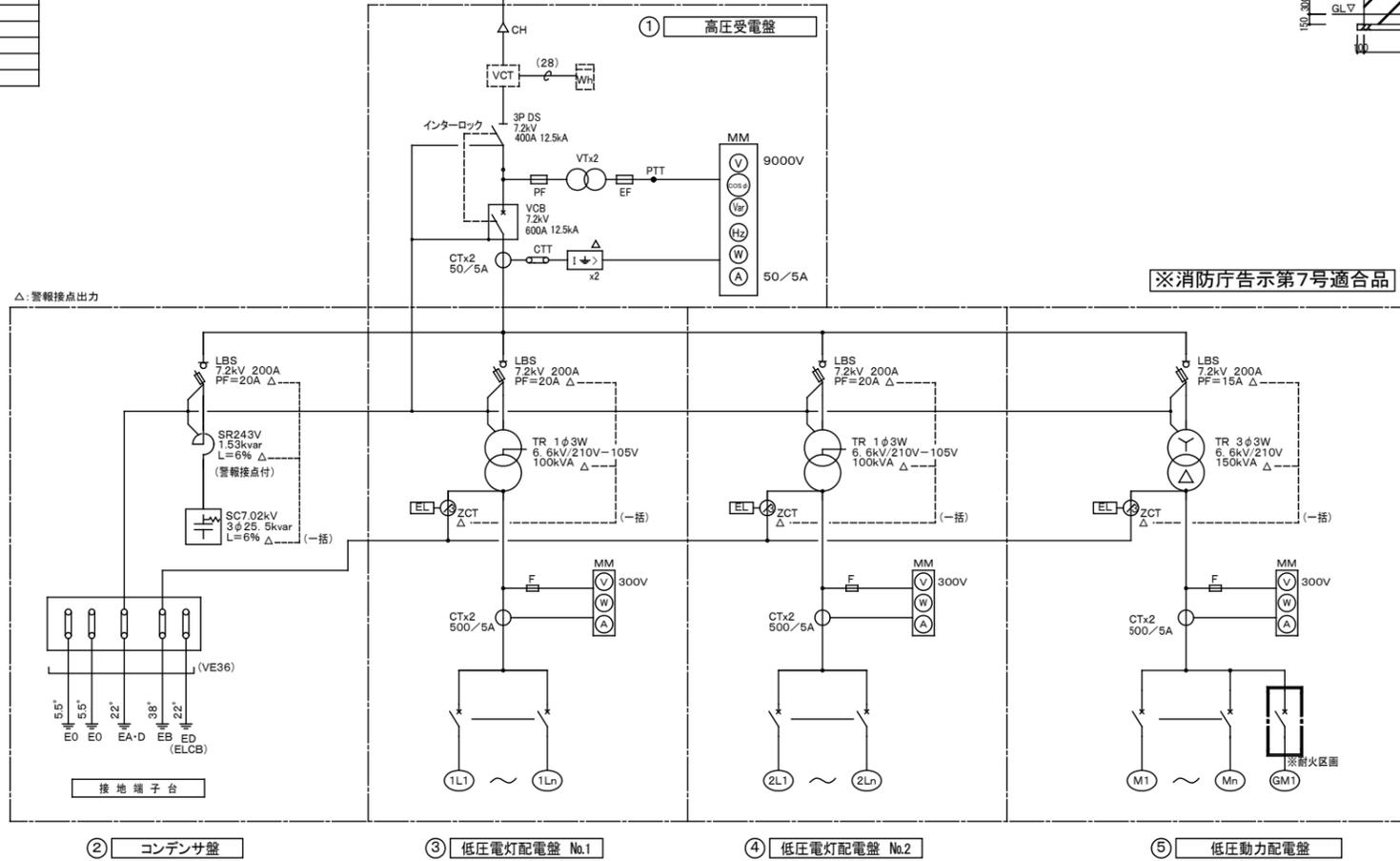
No	名称
①	高圧受電盤
②	コンデンサ盤
③	低圧電灯配電盤No.1
④	低圧電灯配電盤No.2
⑤	低圧動力配電盤



所内照明・換気扇・コンセント

受変電設備警報リスト

項目	配電盤		警報盤
	表示	ブザー	
過電流継電器	○	○	一括警報
LBSヒューズ異常	○	○	
低圧地絡(1φTR)	○	○	
低圧地絡(3φTR)	○	○	
変圧器異常(1φTR)	○	○	
変圧器異常(3φTR)	○	○	
SR異常	○	○	
SC異常	○	○	
低圧電灯過電流	○	○	
低圧動力過電流	○	○	



※消防庁告示第7号適合品

注記
 1.計器類はマルチ(デジタル式)とする。
 2.表示灯は全てLEDとする。
 3.充電部には保護用アクリルパネル(取手付)を設置する。
 4.端子台は点検・保守が容易かつ安全に行える位置に設置すること。
 5.盤内照明器具(LED)は、前後扉面に取付けること。(扉バースイッチ付)
 6.保守用コンセントを取付けること。
 7.盤内換気は、温度スイッチを設け機械換気とする。
 (排気口は、天井面とする。防虫網付、防水型)
 8.底板を取付けること。(小動物侵入防止策を施す。)
 9.銅バー・機器及び開閉器類には、サーモテープ(75度 非可逆式)を貼り付けること。
 10.変圧器は、耐震ゴム付とする。
 11.チャンネルベースは、溶融亜鉛メッキ製とする。
 12.屋外型鋼板製(耐塩害塗装・メーカー標準色)
 13.キュービクル基礎は建築工事とする。
 14.キュービクル保護フェンスは建築工事とする。

警報盤面表示項目
 1.警報項目は、受変電設備警報リストとし、LED表示灯を組むこと。
 2.ブザー鳴動は一括とし、タイマーにより一定時間経過後ブザー停止を行い、
 警報表示点灯は保持するものとする。
 3.扉内側には各盤ごとに警報表示(LED)もつけること。
 4.警報電源は、ニッケルカドミウム蓄電池(10分容量)、DC24V整流装置付とする。

(注記)
 (1)非常電源専用受電設備
 (2)低圧動力盤において
 $A = \text{変圧器定格二次側電流} \times 2.14$
 $= 150 \times 10^3 \div 210 \times 2.14$
 $= 882A$
 $B = \text{ブレーカトリップ値 合計}$
 $= 870A$
 $A > B$
 ∴共用変圧器の一般負荷用メインブレーカを要なし。

配電盤遮断器リスト

配電盤名称	幹線NO	負荷名称	遮断器容量	負荷容量 (kVA)	幹線サイズ	備考
低圧電灯配電盤 No.1	1L1	LM-クラブハウス	MCCB3P225/175	32.06	CVT100	
	1L2	LM-クラブハウス	MCCB3P225/175	30.181	CVT100	
	1L3	L-用具倉庫①	MCCB3P 50/30	1.912	CV5.5-3C	
	1L4	L-グラント①	MCCB3P100/100	16.428	CVT100	
	1L5	L-グラント②	MCCB3P100/100	17.628	CVT150	
	1L6	所内電源	MCCB2P 50/20	0.1		
	1L7	LGR電源	MCCB2P 50/20	0.3		
	1L8	予備	MCCB3P100/100			
			合計		98.609	

配電盤名称	幹線NO	負荷名称	遮断器容量	負荷容量 (kVA)	幹線サイズ	備考
低圧電灯配電盤 No.2	2L1	LM-管理	MCCB3P 100/75	9.329	CVT60	
	2L2	LM-WC北(屋外トイレ①)	MCCB3P100/75	10.228	CVT60	
	2L3	LM-WC南(屋外トイレ②)	MCCB3P100/75	10.241	CVT100	
	2L4	L-用具倉庫②	MCCB3P 50/30	0.789	CV5.5-3C	
	2L5	L-グラント③	MCCB3P100/100	17.028	CVT100	
	2L6	L-グラント④	MCCB3P100/100	16.428	CVT150	
	2L7	L-練習場	MCCB3P100/75	11.815	CVT38	
	2L8	予備	MCCB3P100/100			
	2L9	予備	MCCB3P100/100			
		合計		75.858		

配電盤名称	幹線NO	負荷名称	遮断器容量	負荷容量 (kW)	幹線サイズ	備考
低圧動力配電盤	M1	LM-クラブハウス	MCCB3P 50/30	3.9	CV5.5-3C	
	M2	M-クラブハウス	MCCB3P400/300	58.225	CVT100	
	M3	LM-管理	MCCB3P 50/30	1.5	CV5.5-3C	
	M4	LM-WC北(屋外トイレ①)	MCCB3P 50/30	1.5	CV5.5-3C	
	M5	LM-WC南(屋外トイレ②)	MCCB3P 50/30	1.5	CV5.5-3C	
	M6	M-ポンプ	MCCB3P225/125	7.5	CVT38	
	M7	予備	MCCB3P225/125			
	M8	予備	MCCB3P100/100			
		合計		79.625		
GM1	屋内消火栓ポンプ盤	MCCB3P100/100	5.5	FP5.5-4C		(防火区画)



株式会社NTFファシリティーズ
 一級建築士事務所
 東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTFファシリティーズ
 一級建築士事務所 九州支店
 福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
 一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
 一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
 一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

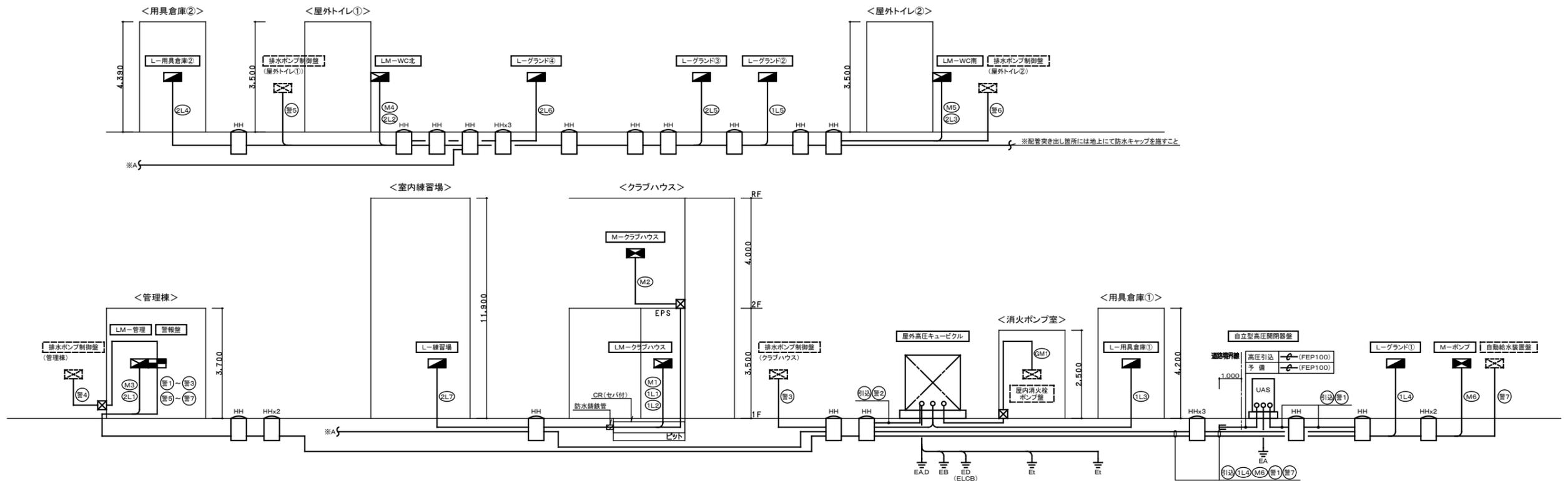
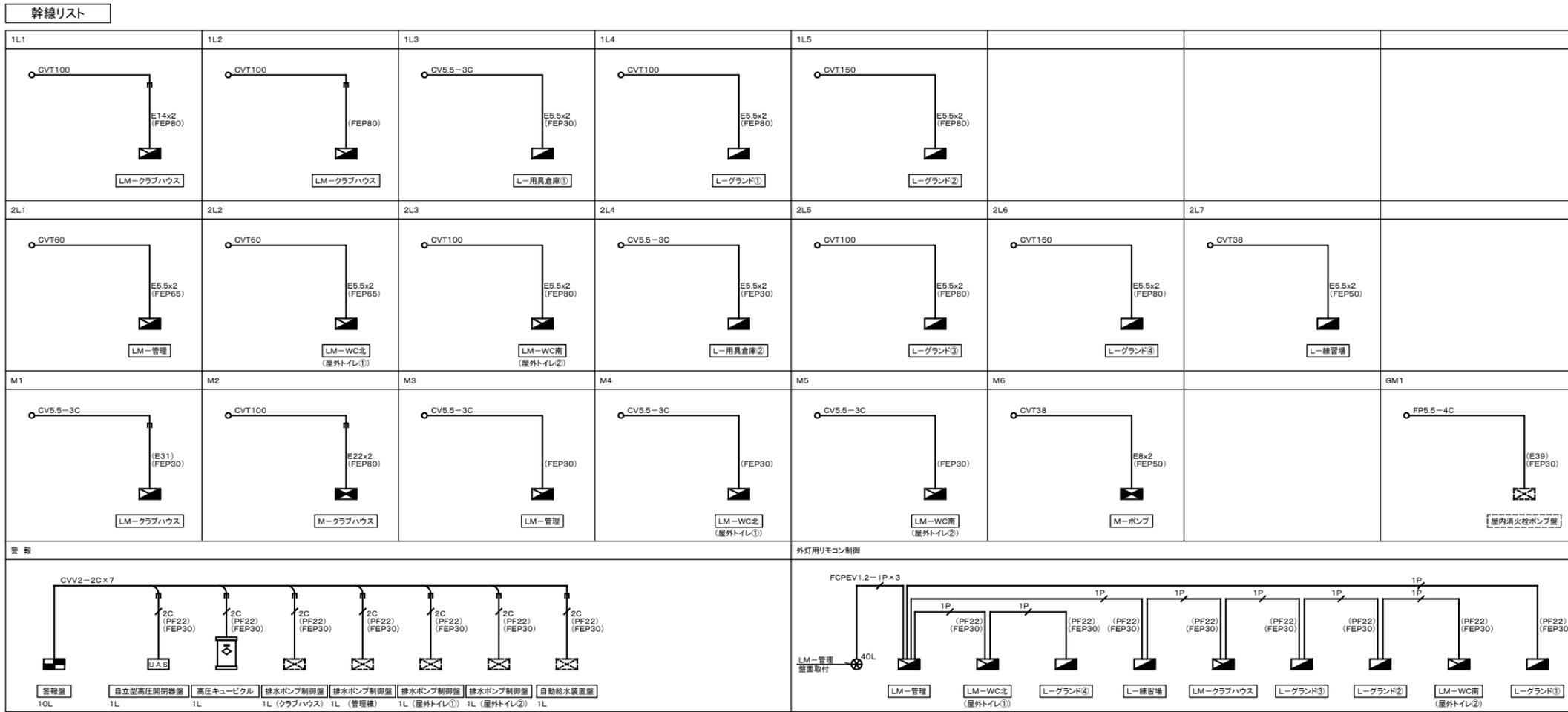
担当 長浜 愛美

特記
 管理番号 1LU122YD1

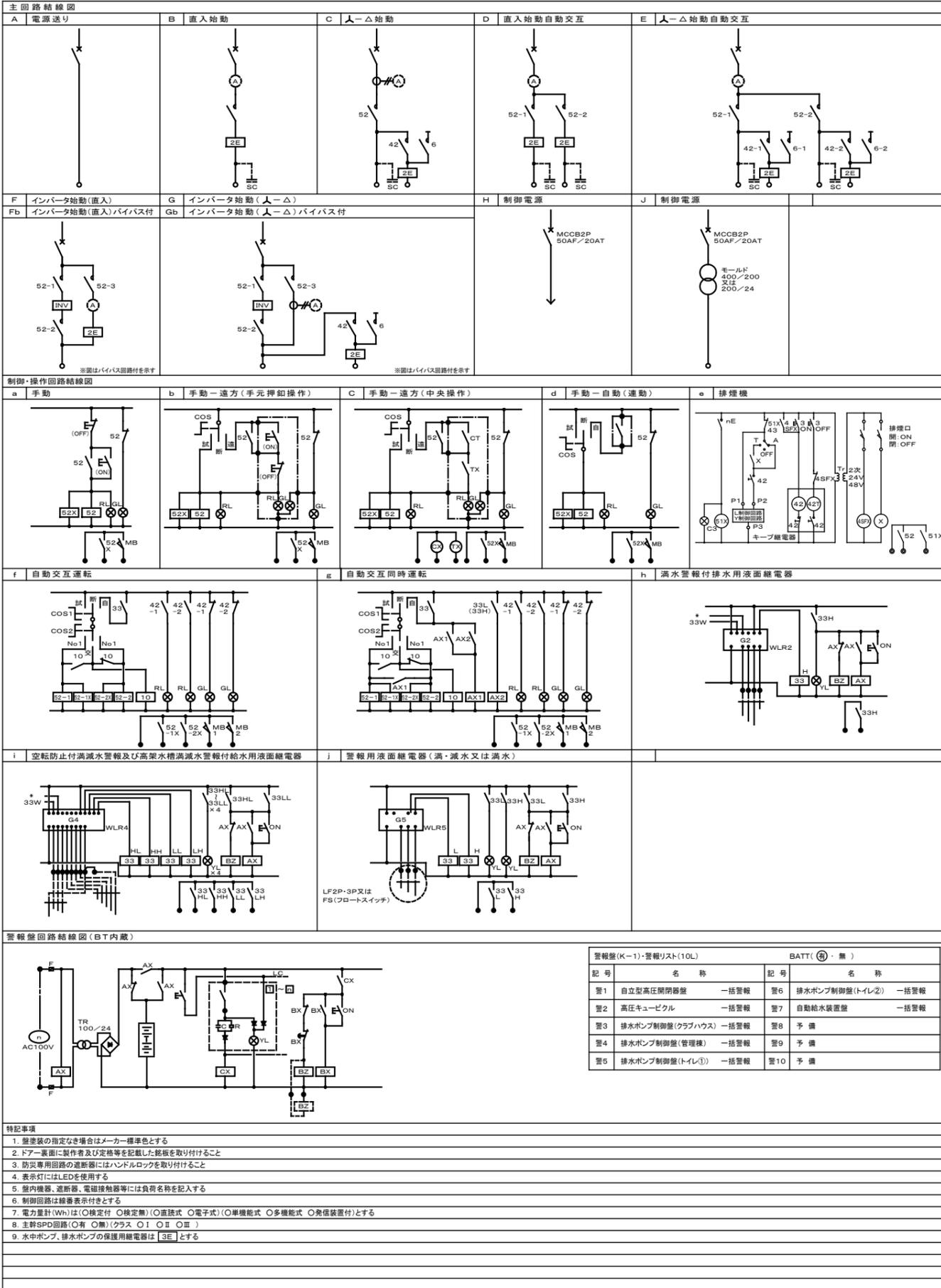
工事名
 屋外型トレーニングセンター建設工事

図面番号 E-07
 縮尺 A1: 1/N.S A3: 1/N.S

年月日 2022年4月



基本結線図



動力盤リスト

盤名称	電源種別 幹線番号 主遮断器	負荷記号 No. 設備%	負荷名称	負荷容量(kW)				遮断器	結線記号 主回路 制御回路	電力計	電圧計	警報盤			火災停止	運動 及び インターロック	動力2次側 配管記号サイズ	備考
				空調	PAC	衛生	その他					操作	状態	故障				
LM-クラブハウス 屋内自立型	AC3φ3W 210V																	
M1	MCCB 3P 50/30	1	IM-1 製氷機		1.2			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	PF (22)	
		2	IM-1 製氷機		1.2			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	PF (22)	
		3	DP-1 排水ポンプ制御盤(0.75kW×2)		1.5			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	PF (22) FEP (30)	
合計																	3.9 kW	
②ED ②ED(ELCB)																		
LM-クラブハウス 屋外自立型 耐塩害型 防水型	AC3φ3W 210V																	
M2	MCCB 3P 400/300	1	PAC-1 空冷式パッケージエアコン(ジムエリア)		8.08			ELCB3P 50/50	A							CVT14	E3.5 GCP (42)	
		2	PAC-1 空冷式パッケージエアコン(ジムエリア)		8.08			ELCB3P 50/50	A							CVT14	E3.5 GCP (42)	
		3	PAC-1 空冷式パッケージエアコン(ジムエリア)		8.08			ELCB3P 50/50	A							CVT14	E3.5 GCP (42)	
		4	PAC-1 空冷式パッケージエアコン(ジムエリア)		8.08			ELCB3P 50/50	A							CVT14	E3.5 GCP (42)	
		5	PAC-2 空冷式パッケージエアコン(ミーティングルーム)		6.28			ELCB3P 50/40	A							CV8-3C	E3.5 GCP (28)	
		6	PAC-2 空冷式パッケージエアコン(ミーティングルーム)		6.28			ELCB3P 50/40	A							CV8-3C	E3.5 GCP (28)	
		7	PAC-2 空冷式パッケージエアコン(ロッカールーム)		6.28			ELCB3P 50/40	A							CV8-3C	E3.5 GCP (28)	
		8	PAC-2 空冷式パッケージエアコン(ロッカールーム)		6.28			ELCB3P 50/40	A							CV8-3C	E3.5 GCP (28)	
		9	PAC-3 空冷式パッケージエアコン(事務室)		0.785			ELCB3P 50/15	A							CV3.5-4C	GCP (22)	
合計																	58.225 kW	
②ED ②ED(ELCB)																		
LM-管理 屋内壁掛型	AC3φ3W 210V																	
M3		1	DP-1 排水ポンプ制御盤(0.75kW×2)		1.5			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	FEP (30)	
②ED ②ED(ELCB)																		
LM-WC(北) (屋外トイレ①) 屋外自立型 耐塩害型 防水型	AC3φ3W 210V																	
M4		1	DP-1 排水ポンプ制御盤(0.75kW×2)		1.5			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	FEP (30)	
②ED ②ED(ELCB)																		
LM-WC(南) (屋外トイレ②) 屋外自立型 耐塩害型 防水型	AC3φ3W 210V																	
M5		1	DP-1 排水ポンプ制御盤(0.75kW×2)		1.5			ELCB3P 50/30	A							CV3.5-4C	FEP (30)	
②ED ②ED(ELCB)																		
M-ポンプ 屋外自立型 耐塩害型 防水型	AC3φ3W 210V																	
M6		1	WP-1 自動給水装置		7.5			ELCB3P225/125	A							CV8-3C	E5.5 FEP (30)	
②ED ②ED(ELCB)																		

※ 漏電遮断機(ELCB)
ELCBの選定は、内線規程によるものとする。
ELCBの選定にあたり、納入機器の推奨感度電流値もしくは漏れ電流値を製造者に確認し、設計者及び監理者に書面にて報告の上、その仕様を決定すること。
該当機器の納入仕様書等には推奨感度電流値または漏れ電流値を記載すること。漏れ電流値によりELCBを選定する場合、感度電流値は漏れ電流値の2倍以上とすること。

電灯コンセント負荷リスト

盤名称 仕様	盤結線・電源種別 幹線記号・主幹開閉器	付属 結線記号	回路NO	電圧(V)		分岐開閉器		負荷容量(VA)				備考				
				200	100	MCCB	ELCB	P-AF	AT	電灯	コンセント		空調	その他		
L-グランド③ 屋外銅板製 防水自立型 耐塩害装	基本結線図 E AC1φ3W 210-105V 2L5 MCCB3P 100/100 T/U (4回路用) x2	K	1	○	○	2-50/20					500		Wifi-LAN機器盤			
			2	○	○	2-50/20					300		RP盤			
			3	○	○	2-50/20			300					屋外		
			4	○	○	2-50/20			300					屋外		
			5	○	○	2-50/20			300					スプリンクラー 制御盤		
			6	○	○	2-50/20								予備		
			R×2	11	○	○	2-50/30	5.076							グラウンド照明	
			R×2	12	○	○	2-50/30	5.076							グラウンド照明	
			R×2	13	○	○	2-50/30	5.076							グラウンド照明	
			RT	14	○	○	2-50/20	100							リモコンランス	
				15	○	○	2-50/20								予備	
				16	○	○	2-50/20								予備	
			合計	17,028 VA		計			15,328	900	800					
			◎ED ◎ED(ELCB)													
			L-グランド④ 屋外銅板製 防水自立型 耐塩害装	基本結線図 E AC1φ3W 210-105V 2L6 MCCB3P 100/100 T/U (4回路用) x2	K	1	○	○	2-50/20				500		Wifi-LAN機器盤	
						2	○	○	2-50/20			300				屋外
						3	○	○	2-50/20			300				
4	○	○				2-50/20								予備		
R×2	11	○				○	2-50/30	5.076						グラウンド照明		
R×2	12	○				○	2-50/30	5.076						グラウンド照明		
R×2	13	○				○	2-50/30	5.076						グラウンド照明		
RT	14	○				○	2-50/20	100						リモコンランス		
	15	○				○	2-50/20							予備		
	16	○				○	2-50/20							予備		
合計	16,428 VA					計			15,328	600	500					
◎ED ◎ED(ELCB)																



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

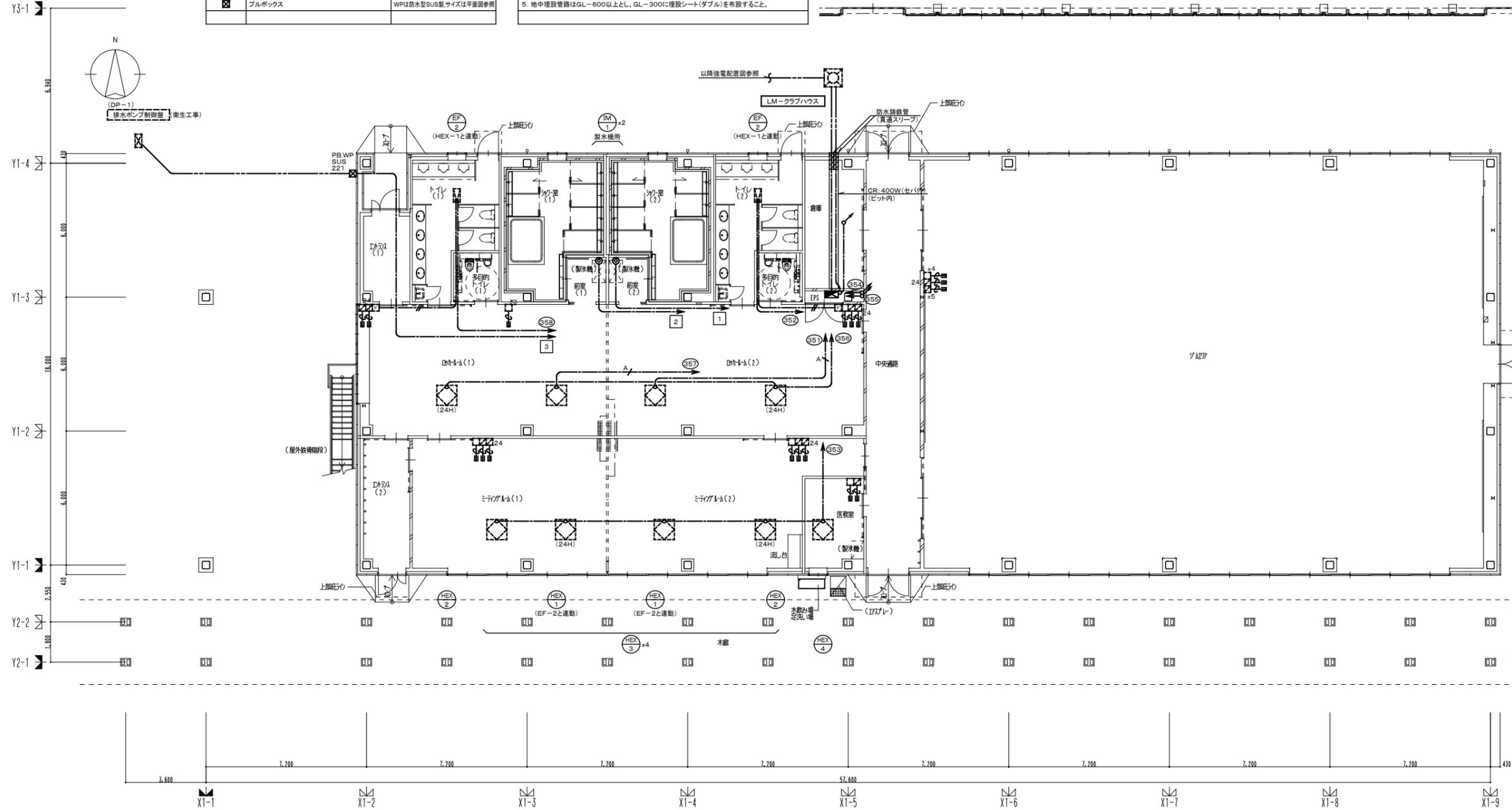
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面番号
E-12
縮尺
A1: 1/N.S A3: 1/N.S

区分
電気
年月日
2022年4月

凡例		
記号	名称	備考
☐	動力盤	
⬛	電灯動力盤	
⊠	各種制御盤	EV・衛生・空調他
⊞	空調室内機	換気設備工事
⊞	全熱交換機	換気設備工事
⊞	排気ファン	換気設備工事
⊞	空調リモコンスイッチ	空調設備工事
⊞	全熱交換器リモコンスイッチ	換気設備工事
⊞	全熱交換器リモコンスイッチ(24時間換気)	換気設備工事
⊞	排気ファンスイッチ	換気設備工事
⊞	埋込コンセント 3P20A 接地極付×1(引掛型)	
⊞	ブルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(動力コンセント設備)		保護管
---	VVF2.0-2C	(PF22)
---	VVF2.0-3C (1Cはアース)	(PF22)
---	VVF2.0-3C (1Cはアース)(電源用)	(PF22)
---	CVV2-2C (運動信号用)	(PF22)
---	空配管 天井内突き出し	(PF22)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。		
3. 幹線サイズは、幹線リスト参照とする。		
4. 動力二次側配線サイズは、動力壁リト参照とする。		
5. 地中埋設管路はGL-600以上とし、GL-300に埋設シート(ダブル)を布設すること。		



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

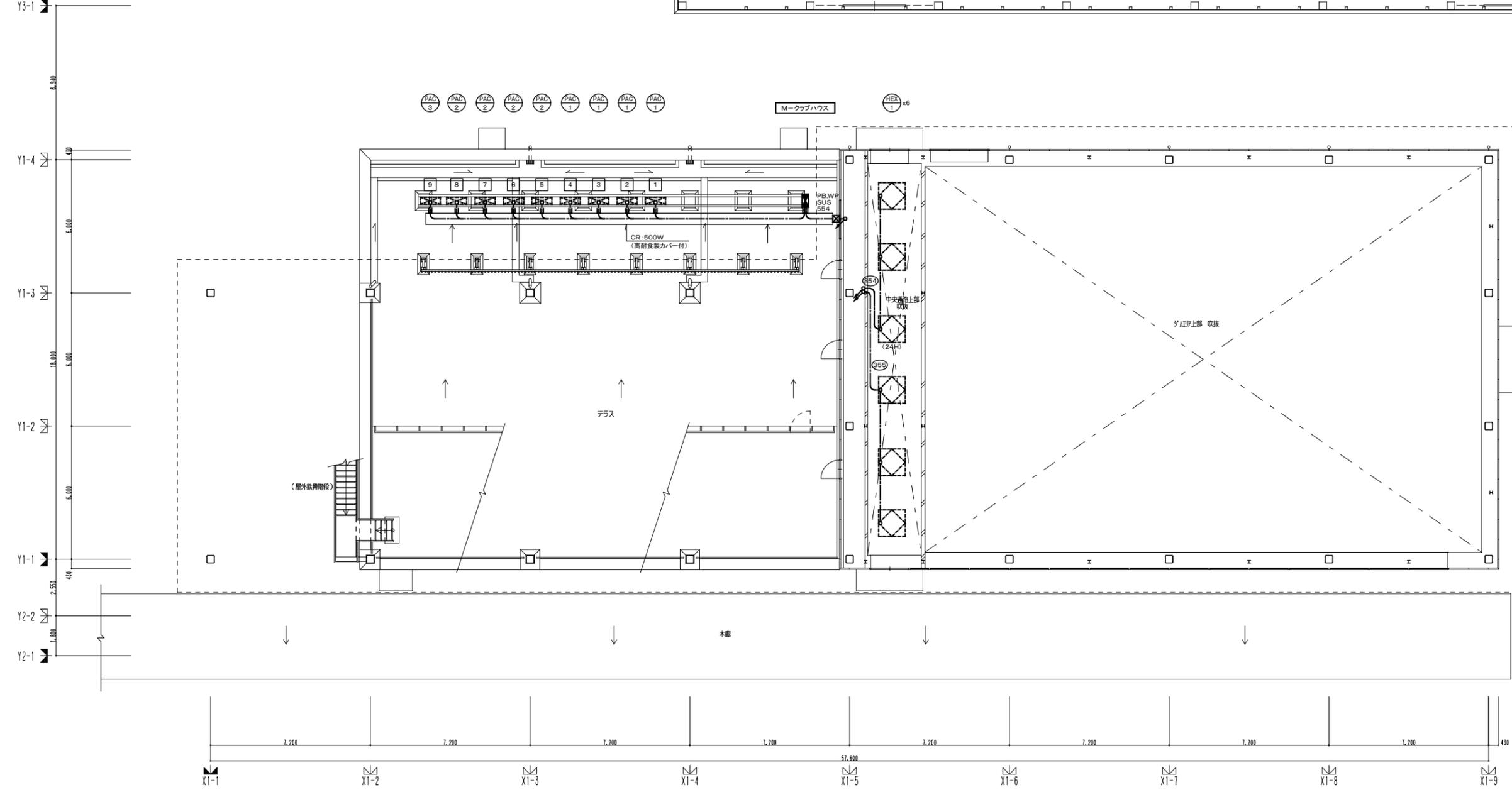
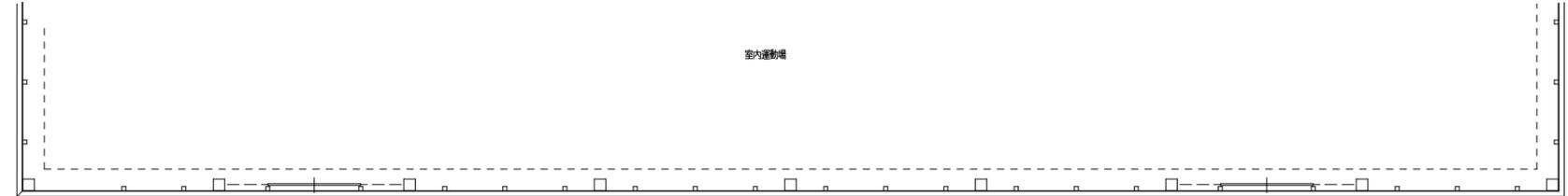
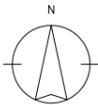
担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

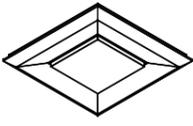
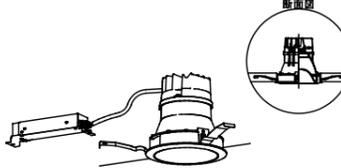
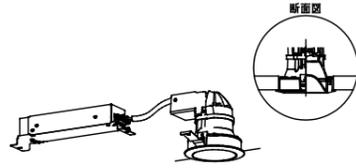
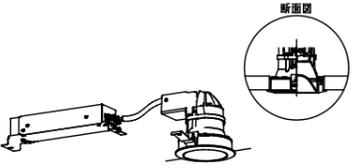
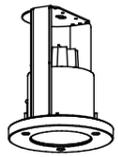
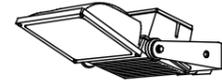
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
幹線:動力設備 クラブハウス 1階平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-13
区分
電気
年月日
2022年4月



	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 幹線・動力設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-14	区分 電気
			一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	

BL1	LEDベースライト 直付・埋込兼用型 □570	BL2	iD直付型40形 W150	BL4	iD埋込型40形 W150	BL5	iD埋込型40形 W150	BL6	iD直付型40形 防湿型・防雨型	DL1	LEDダウンライト 200形
 <p>スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、12000lmタイプ 消費電力74.5W、電圧100～242V 本体:銅板(高反射白色粉体塗装)、枠:銅板(高反射白色粉体塗装) 点灯ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 白色(4000K)、Ra83 パナソニック XLX110AEWLA9 相当品</p>		 <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体:銅板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック XLX430AENPLE9 相当品</p>		 <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック XLX450PENTLE9 相当品</p>		 <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック XLX440PENPLE9 相当品</p>		 <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体:ステンレス(高反射白色粉体塗装) 防湿型・防雨型ライトバー:ポリカーボネート(乳白)+アクリルコーティング 光源寿命40000時間(光束維持率85%) IP23防湿型、電球色(3000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック NNWK41151+NNW4211ENZLE加工(3000K) 相当品</p>		 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光束進光角15度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:2050lm、消費電力:15W、電圧:100～242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):銅板(ホワイトつや消し仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100 パナソニック XND2039WNLE9 相当品</p>	
DL2	マルミナLEDダウンライト200形	DL3	マルミナLEDダウンライト150形	DL4	マルミナLEDダウンライト100形	DL5	軒下用LEDダウンライト 100形	DL6	LEDダウンライト 200形	BR1	LEDブラケット 15形直管蛍光灯1灯器具相当
 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 5000K、Ra85、拡散タイプ(ややらかな光) 器具光束:1420lm、消費電力:15.5W、電圧:100～242V 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) パネル:アクリル(乳白つや消し) 埋込穴:φ125 パナソニック XND2051PNLE9 相当品</p>		 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 5000K、Ra85、面発光タイプ(ややらかな光) 器具光束:1100lm、消費電力:12.4W、電圧:100～242V 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) パネル:アクリル(乳白つや消し) 埋込穴:φ100 パナソニック XND1531PNLE9 相当品</p>		 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 5000K、Ra85、面発光タイプ(ややらかな光) 器具光束:610lm、消費電力:7.6W、電圧:100～242V 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) パネル:アクリル(乳白つや消し) 埋込穴:φ100 パナソニック XND1031PNLE9 相当品</p>		 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、軒下用(防雨型) 5000K、Ra85、拡散タイプ、一般光色タイプ、光源進光角15度 器具光束:790lm、消費電力:7.6W、電圧:100～242V 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) パネル:アクリル(透明)、埋込穴:φ100 パナソニック XNW1031WNLE9 相当品</p>		 <p>LEDソケット別売、一般タイプ 器具光束:1820lm、消費電力:17.2W、電圧:100～242V アウトサイドシリーズ 業務用浴室灯 本体:アルミ(クールホワイトつや消し仕上) 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) パネル:チフロン膜付ガラス(透明つや消し) 埋込穴φ150 パナソニック NDNN74820+NNU240115KLE9 相当品</p>		 <p>昼白色(5000K)、Ra83 器具光束840lm、消費電力9.5W、電圧100V 天井直付型・壁直付型 スイッチ付、拡散タイプ、両面化鏡タイプ カバー:プラスチック(乳白) W=450 H=65 出しろ64 パナソニック LGB85044LE1 相当品</p>	
BR2	LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当	BC	LED小型シーリングライト	SP1	LEDスポットライト (柱面取付 天井面照射)	SP2	LEDスポットライト	IN1	スリムLEDs100防水非調光		
 <p>電球色(3000K)、Ra83 器具光束515lm、消費電力6.1W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、ツマミネジ方式 カバー:アクリル(乳白) 本体:プラスチック(ホワイト) パナソニック LGW80360LE1 相当品</p>		 <p>LED内蔵クワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、天井直付型 光源進光角30°、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束2080lm、消費電力16.8W、電圧100V 本体:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) 反射板:プラスチック(ホワイト) パナソニック NCN25300WLE1 相当品</p>		 <p>タイマー段階光機能付、ワイド配光 光束10700lm、消費電力98.3W、電圧100～242V 昼白色、3000K、Ra85、光源寿命6万時間(光束維持率80%) 本体:アルミダイカスト(ミディアムグレースタリク) パネル:ポリカーボネート(透明つや消し) アーム:ステンレス鋼板(ミディアムグレースタリク) 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ:15KV、耐風速60m パナソニック NNY24939LF9 相当品</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、取付自在タイプ 電球色、3000K、Ra84、広角タイプ 光束1165lm、消費電力17.1W、電圧100V 防雨型、光源寿命40000時間(光束維持率70%) 本体:アルミダイカスト(ミディアムグレースタリク) 前面パネル:高透過ガラス パナソニック YYY31134LE1 相当品</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、調光不可 直付型、40000時間(光束維持率70%) 2700K、Ra83、上方向ビーム角35° 器具光束2300lm、消費電力19.4W、100V 本体:アルミ 樹脂カバー:ポリカーボネート 幅:27.4、長:1476 パナソニック NTN83134 相当品 電源ケーブル:NTN87010 ストラップ:NTN87013</p>			

<p>PL12 12灯用照明ポール</p> <p>メタルハライドランプ1kW相当LED投光器(中広角型)</p> <p>上下サポート 角形鋼管(別途工事) 取付バー 鋼管(別途工事)</p> <p>LED投光器12灯 投光器取付台・鋼板 (別途工事)</p> <p>LED投光器12灯 投光器取付台・鋼板 (別途工事)</p> <p>結線ボックス SUS</p> <p>器具光束6800lm、消費電力432W 昼白色、5000K、Ra70、中広角型(52°) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 初期光束補正機能付 重耐塩害仕様 簡単段調光・落下防止ワイヤー付 器具本体(15kg) 電源ユニット内蔵型 電圧200~242V</p> <p>パネル ポリカーボネート 透明 前後塗装</p> <p>本体 アルミ・アルマイト塗装</p> <p>電源ボックス アルミ・グレイ ポリエステル粉体塗装</p> <p>LEDユニット LED312粒×2枚</p> <p>アーム 鋼板(4.5) 溶融亜鉛メッキ HDZ55</p> <p>フィルター</p> <p>ハンドル</p> <p>投光器台バンド L形鋼(別途工事)</p> <p>斜めサポート 鋼管(別途工事)</p> <p>取付バンド (別途工事)</p> <p>※架台の仕上は溶融亜鉛メッキ仕上</p> <p>コンクリート柱 (別途工事)</p> <p>1000以下</p> <p>▽ GL</p> <p>パナソニック NYS12537LF2 相当品</p>	<p>BL7 LED高天井用照明器具</p> <p>光束25000lm、消費電力136W、電圧200~242V 昼白色、5000K、Ra70、PiPit調光、広角タイプ、直付型 光源寿命60000時間(光束維持率85%)、電源内蔵型 本体:アルミ、パネル:ポリカーボネート(透明) アーム:亜鉛鋼板 耐塩害仕様 約5~100%連続調光・落下防止ワイヤー付 器具本体(3.0kg)</p> <p>パナソニック NYM20153ZRZ 相当品</p>	<p>◎ PiPit+ セパレートセルコンAタイプ</p> <p>定格電圧:AC100V~242V 調光回路数:6回路 操作シーケンス:45シーケンス+OFF 適合スイッチボックス:JIS 5コ用金属製(カバー付)</p> <p>パナソニック NQ23185K 相当品</p>	<p>☑ ライトマネージャーF-x 記憶式6回路継器</p> <p>パナソニック NQ28861K 相当品</p>
<p>a LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック NNF91605C 相当品</p> <p>b LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック NNF91605C 相当品</p> <p>d LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック NNF93005C 相当品</p> <p>e LED C級 避難口誘導灯片面型</p> <p>パナソニック FA10312LE1+FK10000 相当品</p> <p>fg LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型(ガード付)</p> <p>パナソニック FA20312LE1+FK20000+G.FK02561Z 相当品</p> <p>hg LED B級・BL形 通路誘導灯片面型(ガード付)</p> <p>パナソニック FA20312LE1+FK20017+FK20016+G.FK02561Z 相当品</p>	<p>PL1 LEDモールライト(1灯用)</p> <p>パナソニック XY4469LF9 相当品 ポール: YD4509HN加工</p>	<p>電灯盤基本結線図</p>	<p>註記</p> <ol style="list-style-type: none"> メーカー型番は相当品とし、参考とする。 ハンディライコン(NK23091)を1台納品のこと。 非常照明点検リモコン(FSK90910K相当品)を1台納品すること。 照明器具の消費電力は、JIS C8105-3の測定方法による。



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕彦
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当 長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

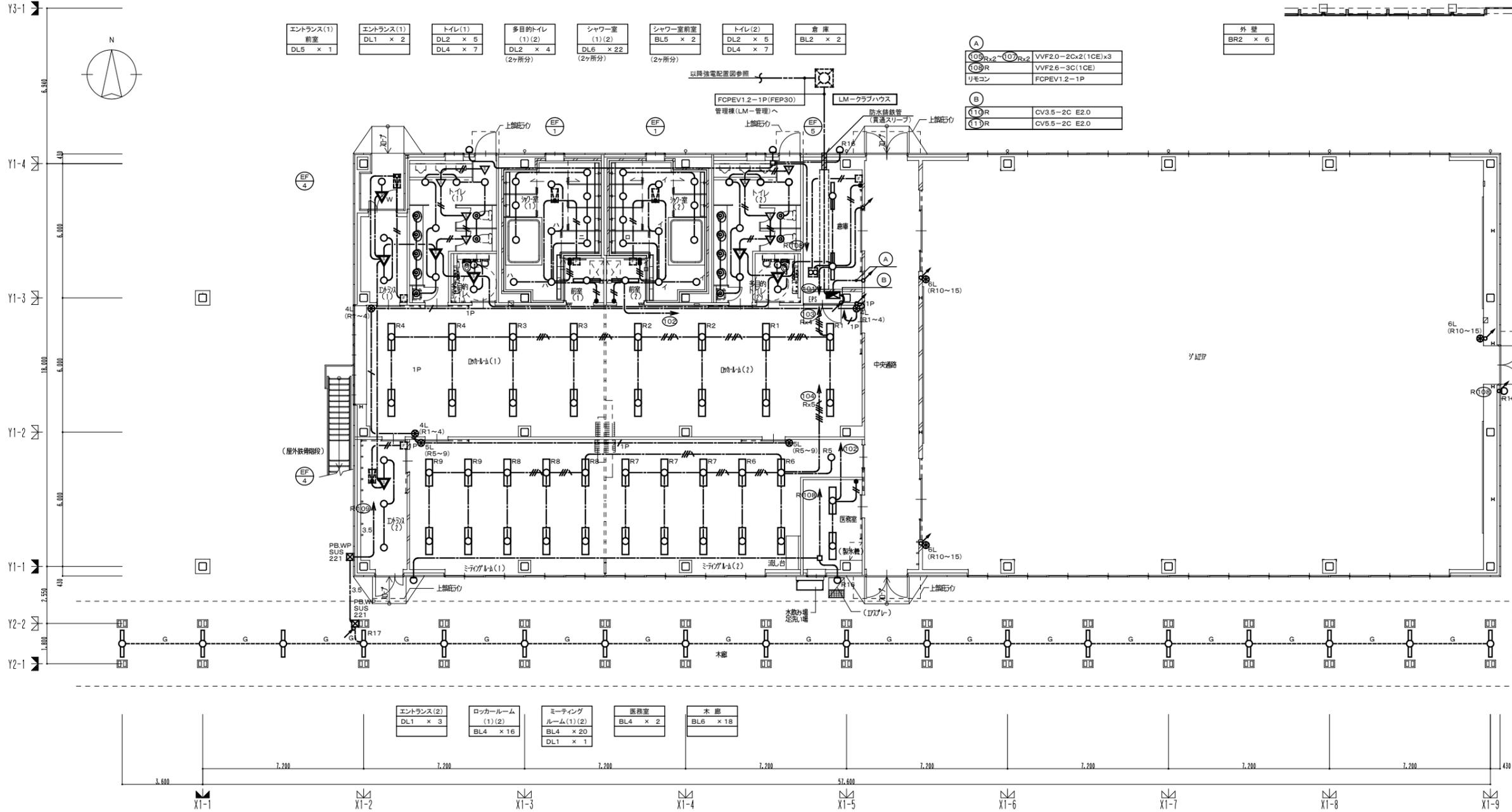
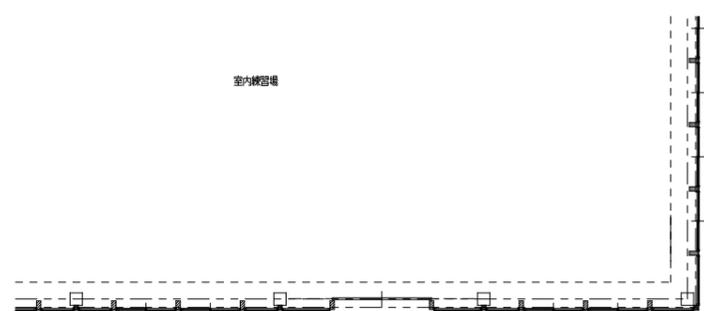
工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事

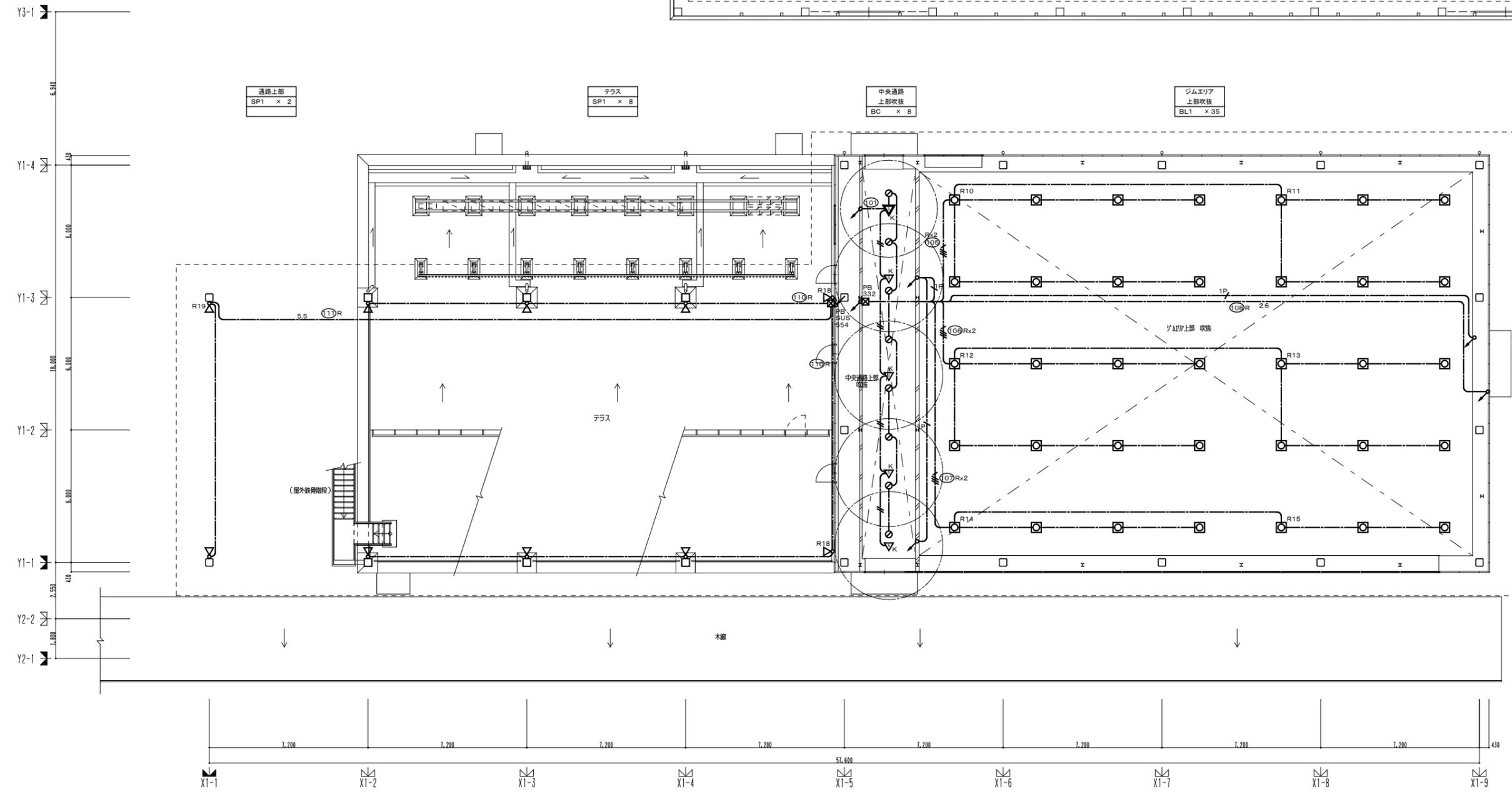
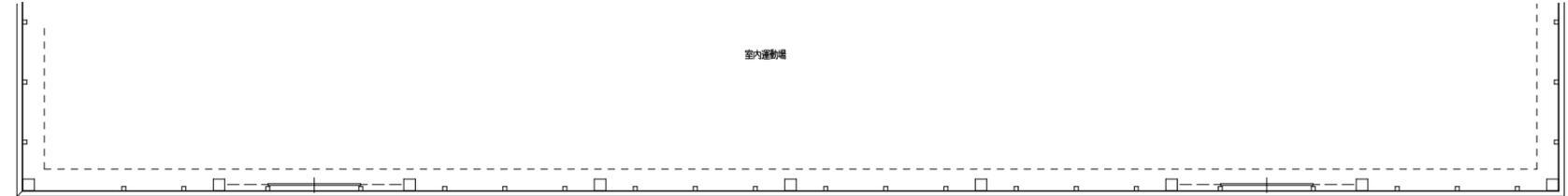
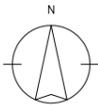
図面名 照明器具姿図(2)
縮尺 A1: 1/N.S A3: 1/N.S

図面番号 E-16
年月日 2022年4月

凡例	記号	名称	備考	記号	名称	備考
☐	電灯動力盤			▽	熱線センサー付自動スイッチ 親器(カバー付)	パナソニック WTK24818-WTK2091 相当品
☐	天井付LED灯		照明器具要図参照	▽	熱線センサー付自動スイッチ 子器(カバー付)	パナソニック WTK2910K-WTK2091 相当品
☐	天井付LED灯(高天井用)		照明器具要図参照	▽	熱線センサー付自動スイッチ 親器 野下用	パナソニック WTK4431 相当品
☐	天井付LED灯		照明器具要図参照	▽	排気ファン	換気設備工事
○	壁付LED灯		照明器具要図参照	☐	天井換気扇	換気設備工事
●	埋込スイッチ 1P15A×1			☐	換気扇用スイッチ	換気設備工事
●	フル2線式リモコンスイッチ		nは回路数を示す	☐	ブルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照
▽	熱線センサー付自動スイッチ 親器(ワード付)		パナソニック WTK24818 相当品	☐	ジョイントボックス	
▽	熱線センサー付自動スイッチ 子器		パナソニック WTK2910K 相当品			

注記	記号	名称	備考
1. 特記なき配管配線は下記による。	---	CV5.5-2C E2.0	(PF28)
(電灯設備)	---	FCPEV1.2-1P	(PF16)
---	VVF2.0-2C	(PF22)	
---	VVF2.0-3C	(1Cはアース)	(PF22)
---	VVF2.0-3C	(PF22)	
---	VVF2.0-2C×2	(1Cはアース)	(PF28)
---	VVF2.0-2C+3C	(1Cはアース)	(PF28)
---	VVF2.0-3C×2	(1Cはアース)	(PF28)
---	VVF2.0-2C×2+3C	(1Cはアース)	(PF28)
---	VVF2.6-3C	(1Cはアース)	(PF28)
---	CV3.5-2C E2.0	(PF22)	



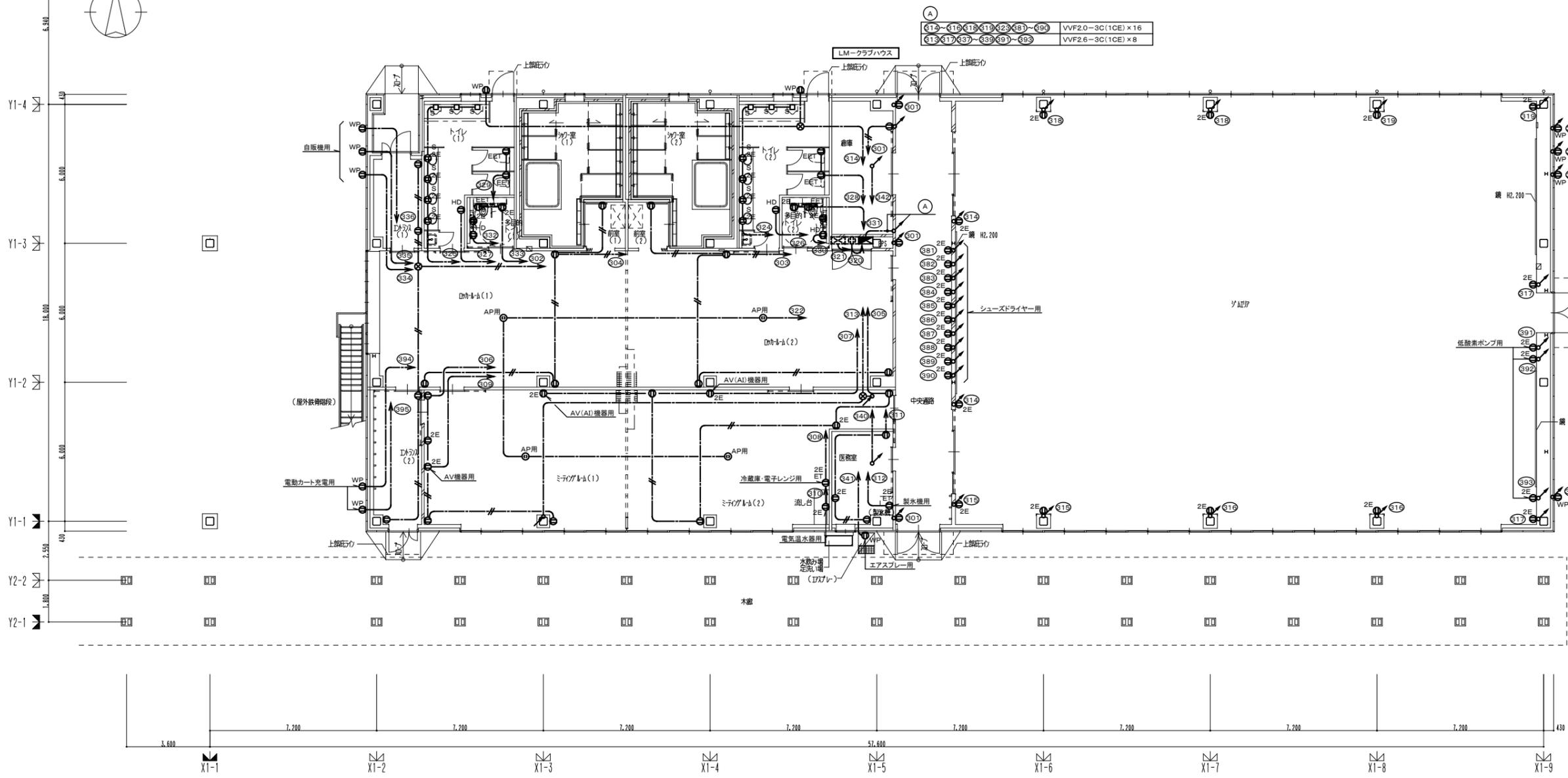
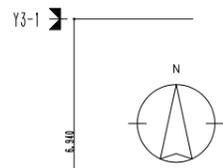
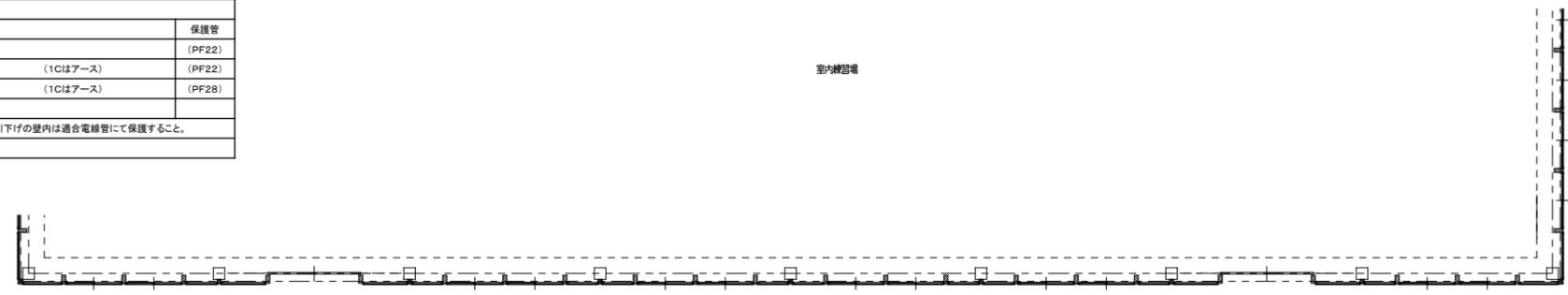


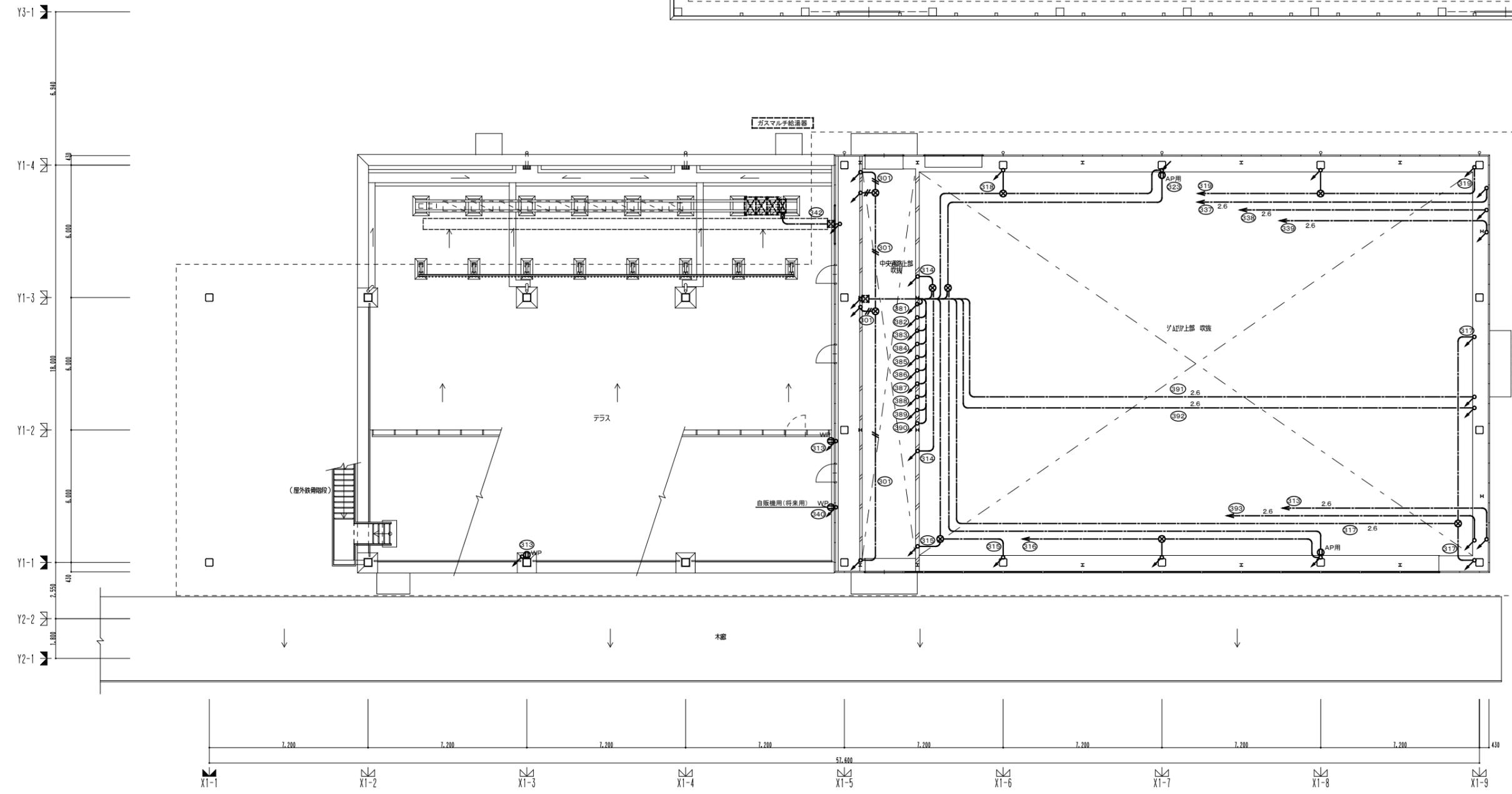
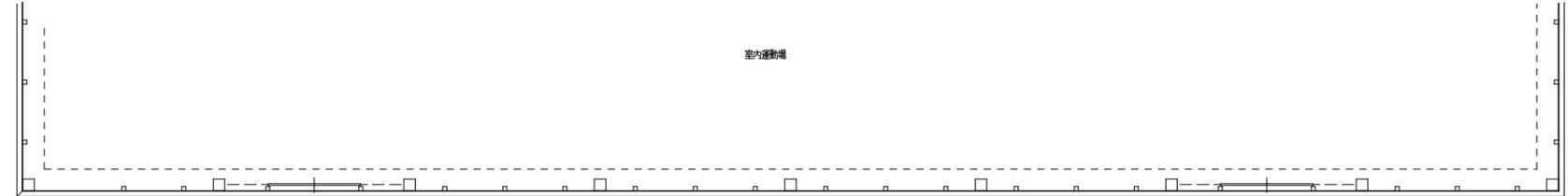
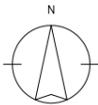
	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 電灯設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-18	区分 電気
			一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月		

縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

凡例		
記号	名称	備考
●	電灯動力盤	
Ⓜ	埋込コンセント 2P15A×2	
Ⓜ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	
Ⓜ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	自動水栓用
Ⓜ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	ハンドドライヤー用
Ⓜ _{2EET}	埋込コンセント 2P15A接地極付×1接地端子付	
Ⓜ _{2EET}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付	
Ⓜ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	無線アクセスポイント用
Ⓜ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2(抜止)	天井取付・無線アクセスポイント用
Ⓜ _{2E}	防水コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付	キー付
Ⓜ _{2E}	露出コンセント 2P15A×2接地端子付	端子室内露出コンセント
☒	wifi-LAN機器	
□	ジョイントボックス(小便器センサー用)	
□	ジョイントボックス	
☒	ブルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(コンセント設備)		保護管
---	VVF2.0-2C	(PF22)
---	VVF2.0-3C (1Cはアース)	(PF22)
---	VVF2.6-3C (1Cはアース)	(PF28)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。		



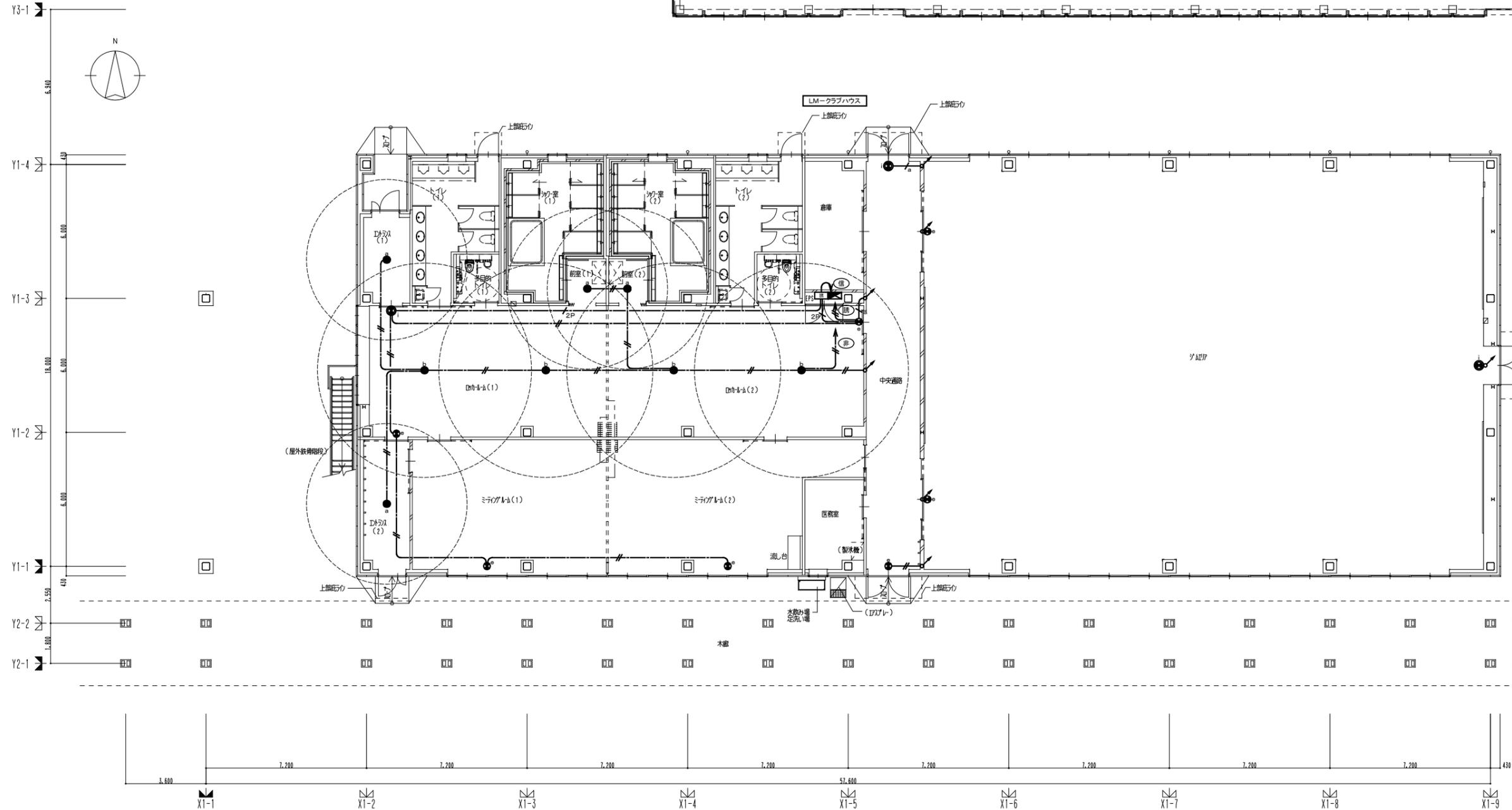
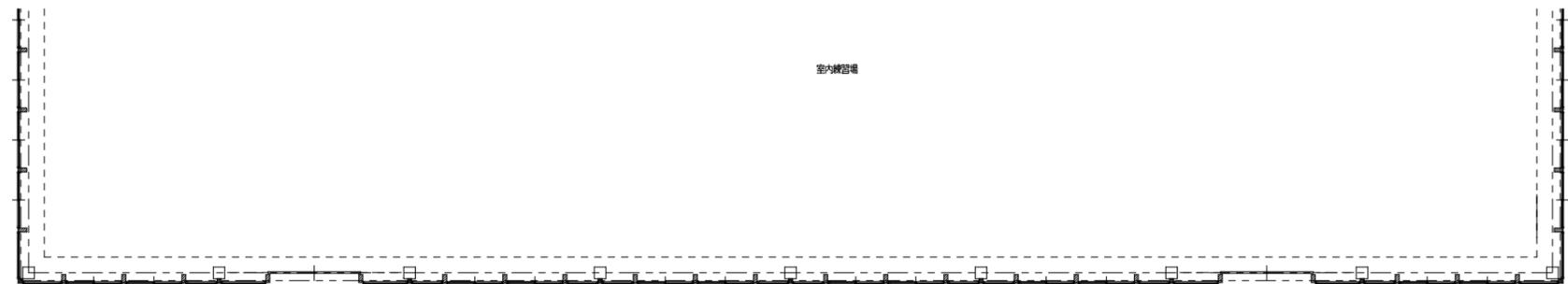


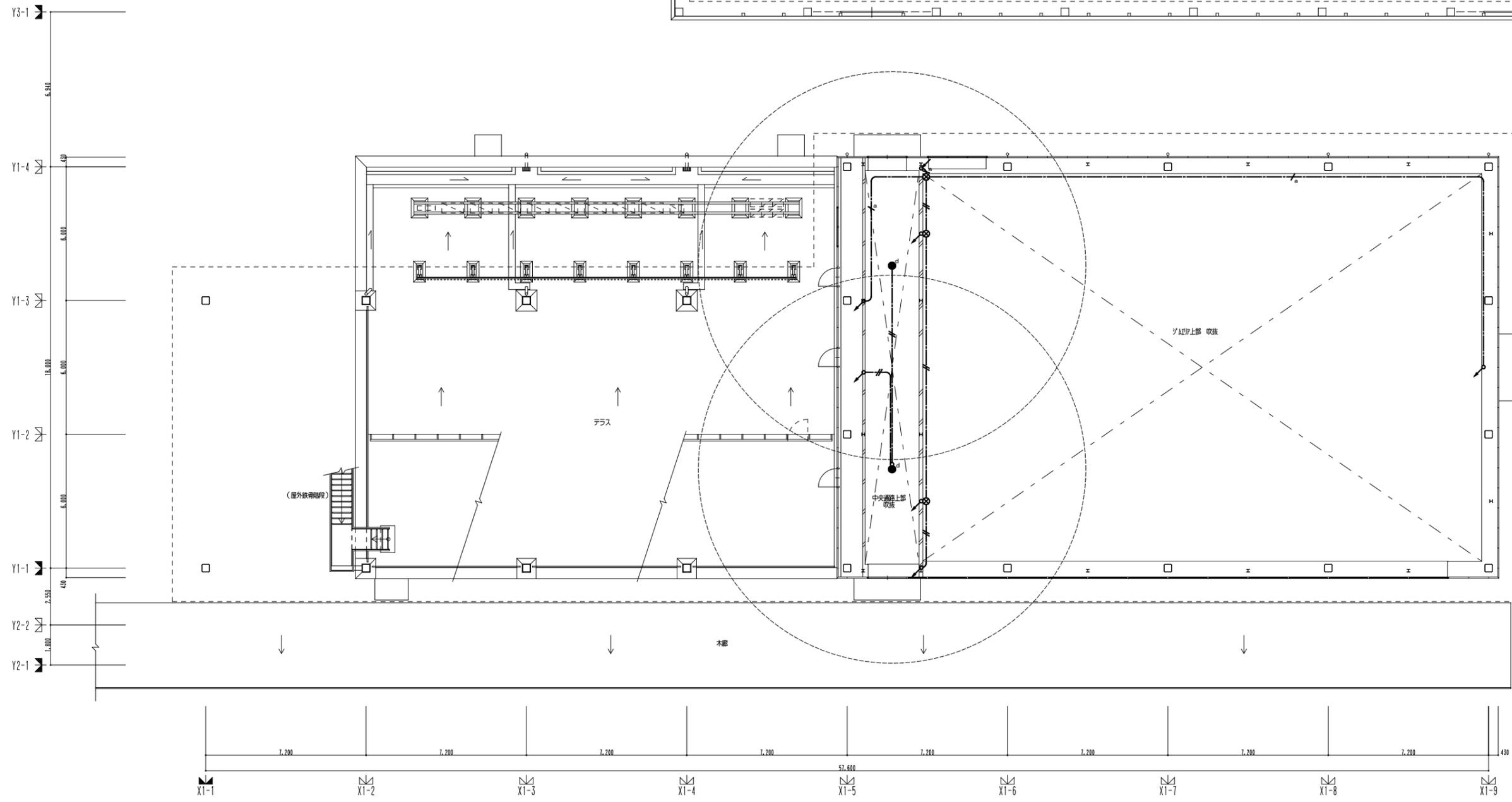
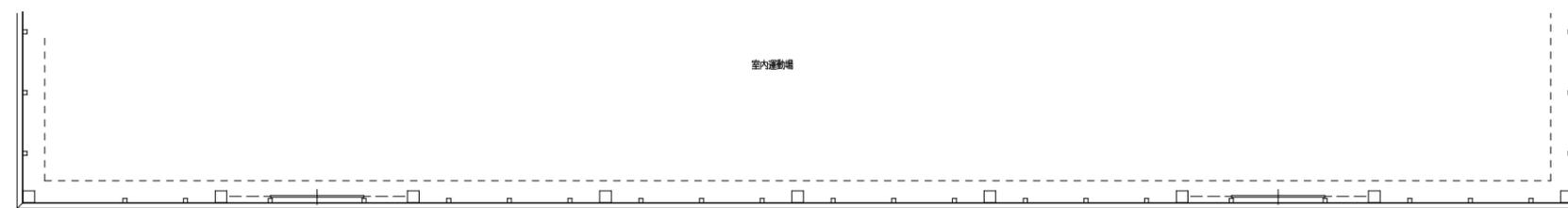
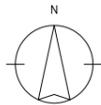
	株式会社NTTファシリティーズ	株式会社NTTファシリティーズ	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 コンセント設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-20	区分 電気
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月		

縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

凡例	記号	名称	備考
	☑	電灯動力盤	
	●	非常照明	照明器具要図参照
	○	避難口誘導灯	照明器具要図参照
	●	避難口誘導灯(誘導音・点滅付)	照明器具要図参照
	☑	誘導灯信号装置(誘導音+点滅用)	照明器具要図参照
	⊕	ジョイントボックス	
	○	露出ボックス	

注記	
1. 特記なき配管配線は下記による。 (非常照明・誘導灯設備)	
—●—	VVF2.0-2C (保護管) (PF22)
—●—	VVF2.0-3C (1Cはアース) (PF22)
—●—	FCPEV1.2-2P (PF22)
—●—	VVF2.0-2C (電源用) (PF22)
—●—	FCPEV1.2-2P (誘導音+点滅信号用) (PF22)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。	





株式会社 NITTA ファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社 NITTA ファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

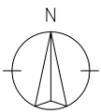
担当
長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
非常照明・誘導灯設備 クラブハウス 2階平面図
縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号 E-22 区分 電気
年月日 2022年4月



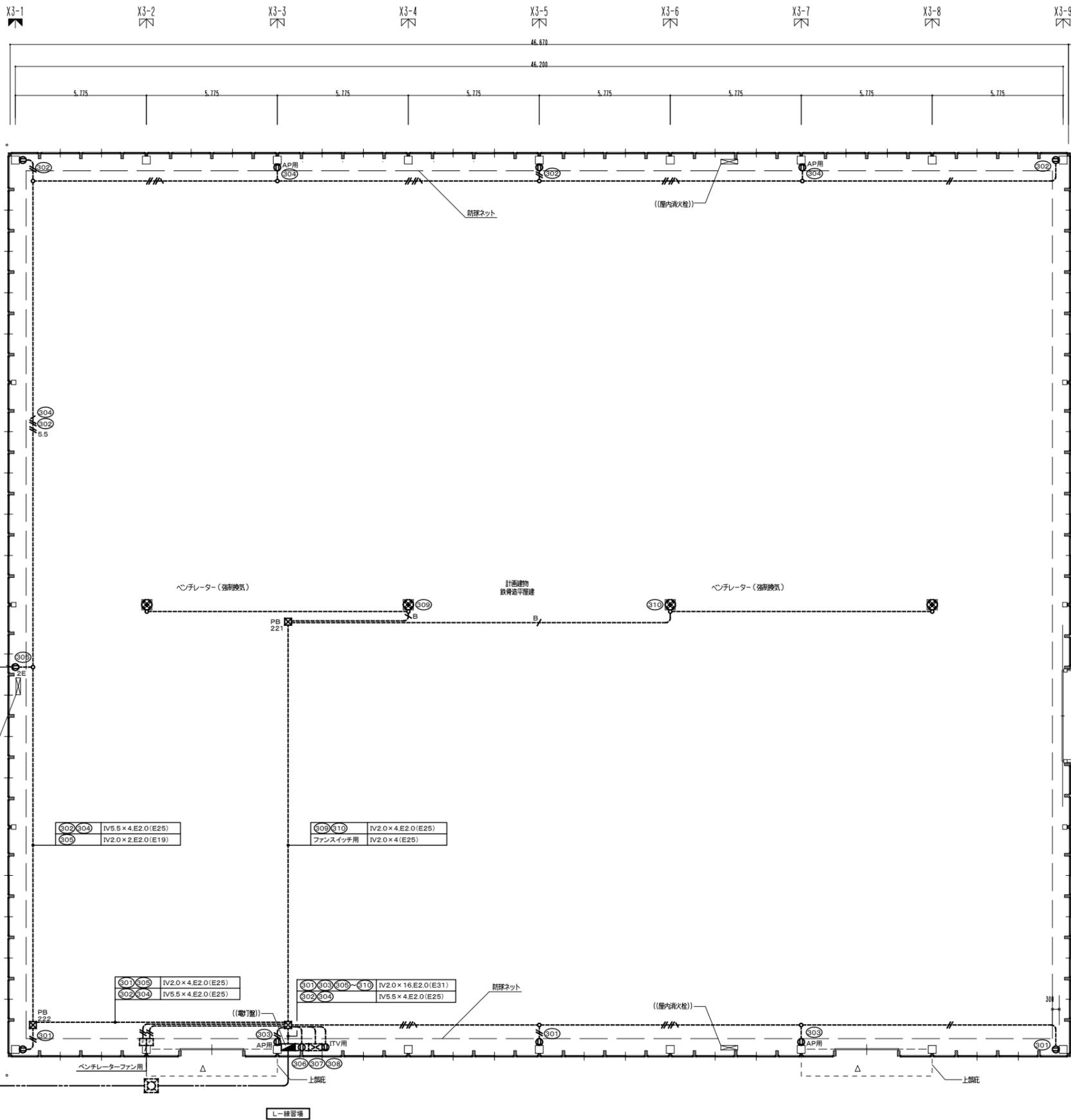
Y3-5

Y3-4

Y3-3

Y3-2

Y3-1



記号	名称	備考
■	電灯盤	
○	埋込コンセント 2P15A×2	
○ _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	
○ _{AP用}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	無線アクセスポイント用
○ _{ITV用}	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	ITV専用
□	露出コンセント 2P15A接地極付×2	様子室内露出コンセント
○	ペンチレーターファン	建築工事
□	ペンチレーターファン用スイッチ	換気設備工事
■	wifi-LAN機器	
□	プルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記	
1. 特記なき配管配線は下記による。	
(コンセント設備)	保護管
---	IV2.0×2 (E19)
---	IV2.0×2 E2.0 (E19)
---	IV2.0×3 (E19)
---	IV2.0×4 E2.0 (E25)
---	IV5.5×4 E2.0 (E25)
---	IV2.0×2 E2.0 (電源用) (E25)
---	IV2.0×2 (ファンスイッチ用) (E25)
2. 幹線サイズは、幹線リスト参照とする。	
3. 地中埋設管はGL-600以上とし、GL-300に埋設シート(ダブル)を布設すること。	



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

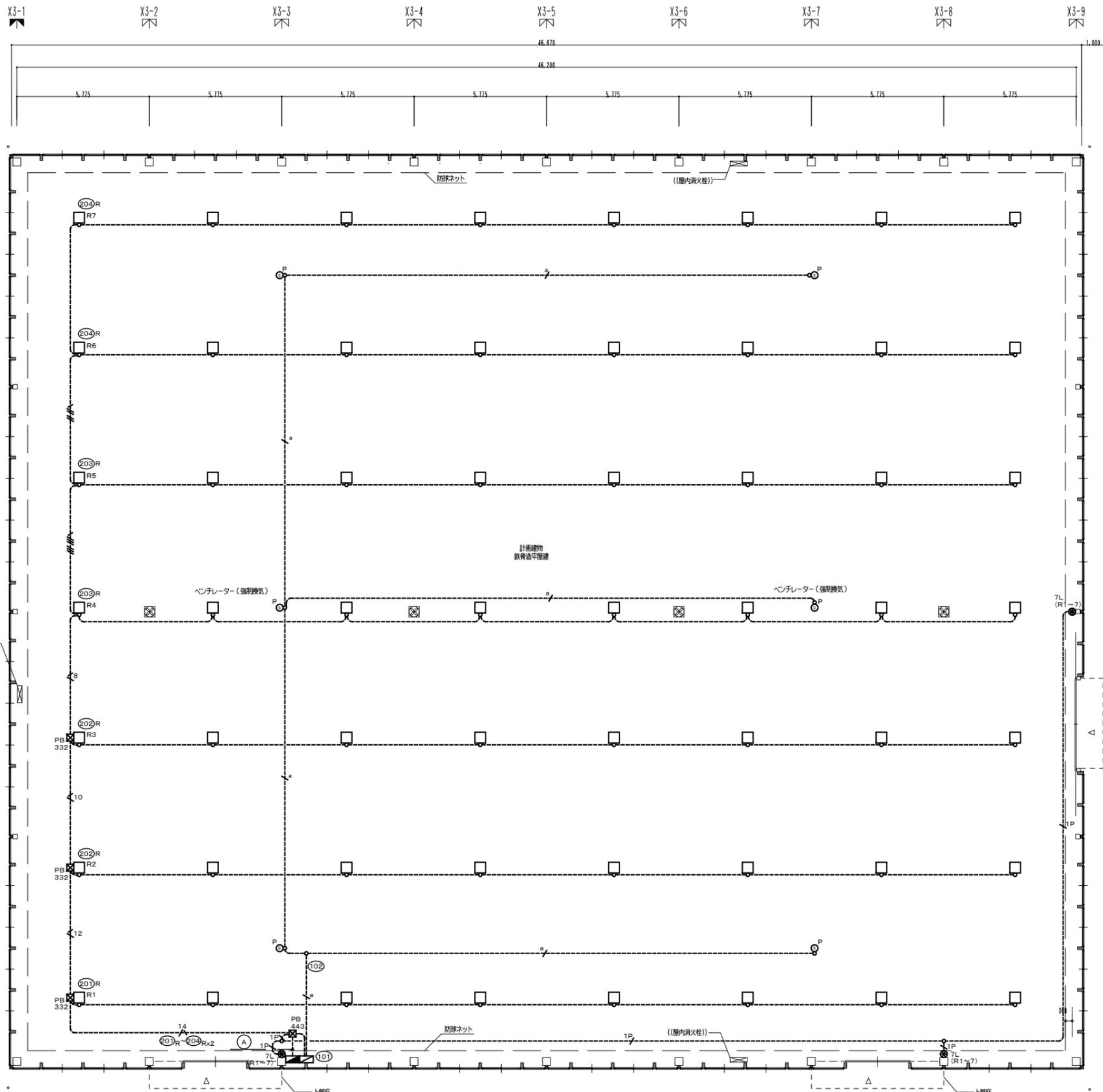
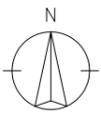
担当
長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面番号
幹線・コンセント設備 室内練習場 平面図
縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号 E-23 区分 電気
年月日 2022年4月

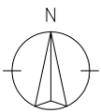


凡例		
記号	名称	備考
☐	電灯盤	
☐	ライトメジャーFx	照明器具姿図参照
☐	高天井用LED灯	照明器具姿図参照
○	PIPt+セパレートセルコンAタイプ	照明器具姿図参照
⊙	フル2極式リモコンスイッチ	nは回路数を示す
⊗	プルボックス	WPは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電灯設備)		保護管
----	IV2.0×2	(E19)
----	IV2.0×2 E2.0	(E19)
----	IV2.0×3 E2.0	(E25)
----	IV2.0×4 E2.0	(E25)
----	IV2.0×5 E2.0	(E25)
----	IV2.0×6 E2.0	(E25)
----	IV2.0×8 E2.0	(E31)
----	IV2.0×10 E2.0	(E31)
----	IV2.0×12 E2.0	(E31)
----	IV2.0×14 E2.0	(E31)
----	IV2.0×2 E2.0	(E19)
----	FCPEV1.2-1P	(E19)

室内練習場
BL7 x 56

(10) (102)	IV2.0×4 E2.0(E25)	L-練習場
(20)R-(204)R,2	IV2.0×14 E2.0(E31)	
リモコン	FCPEV1.2-1P(E19)	



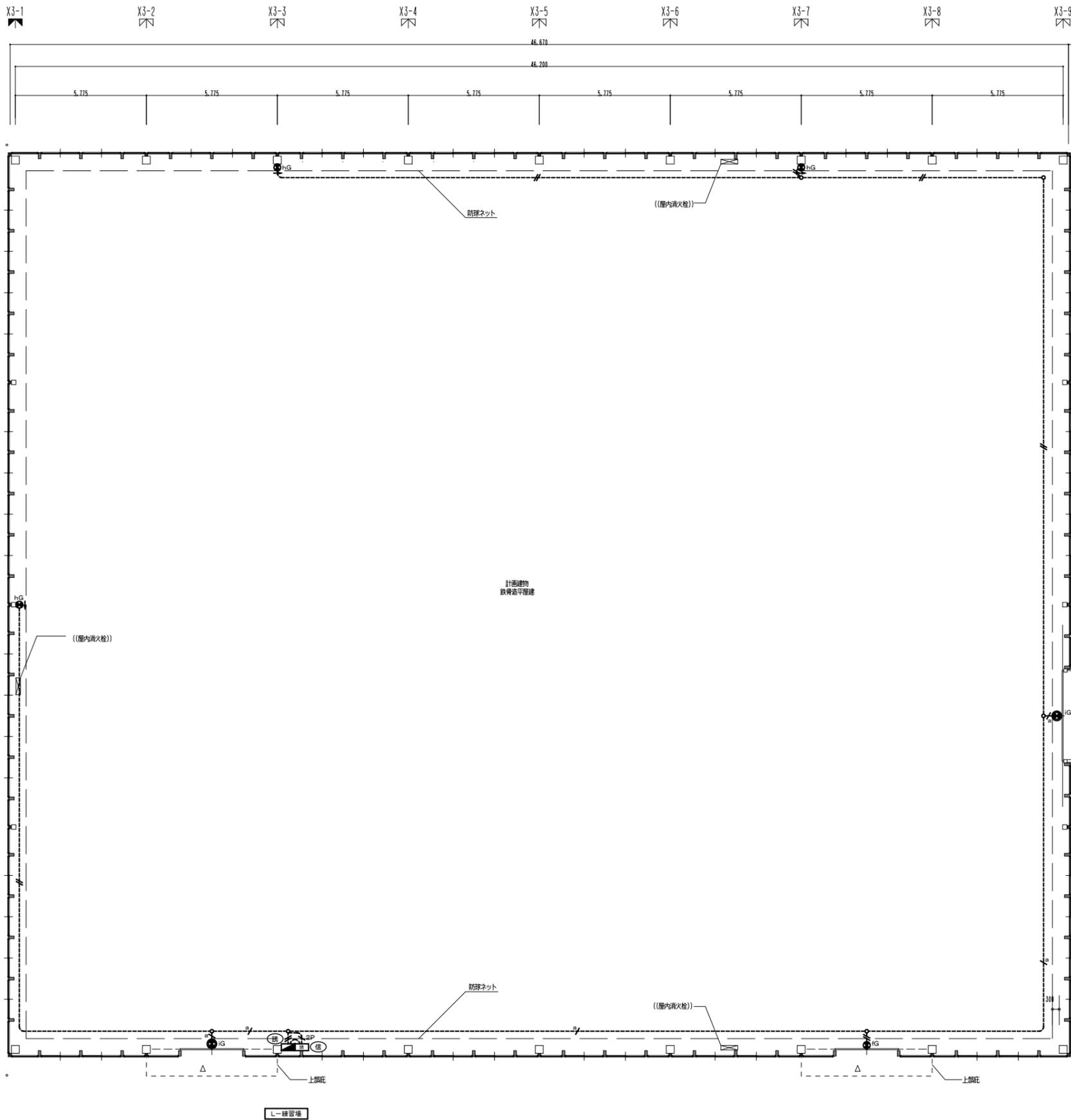
Y3-5

Y3-4

Y3-3

Y3-2

Y3-1



凡例		
記号	名称	備考
■	電灯盤	
●	避難口誘導灯	G:ガード付 照明器具姿図参照
○	通路誘導灯(片面)	G:ガード付 照明器具姿図参照
●	避難口誘導灯(誘導音・点滅付)	G:ガード付 照明器具姿図参照
□	誘導灯信号装置(誘導音+点滅用)	照明器具姿図参照
○	露出ボックス	

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(誘導灯設備)		保護管
---	IV2.0×2	(E19)
---	IV2.0×2 E2.0	(E19)
---	FCPEV1.2-2P	(E25)
---	IV2.0×2 (電源用)	(E19)
---	FCPEV1.2-2P (誘導音+点滅信号用)	(E25)



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

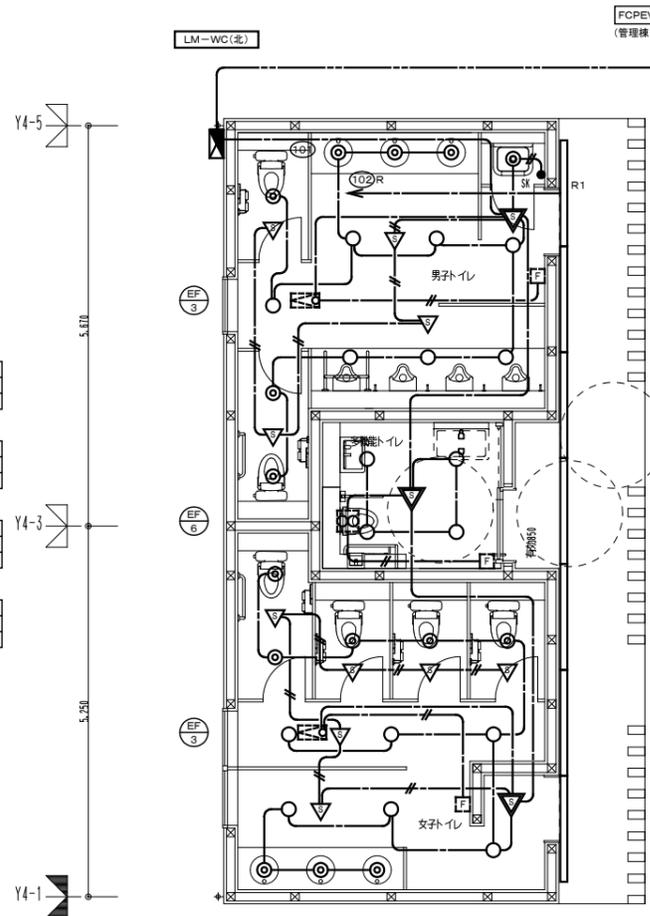
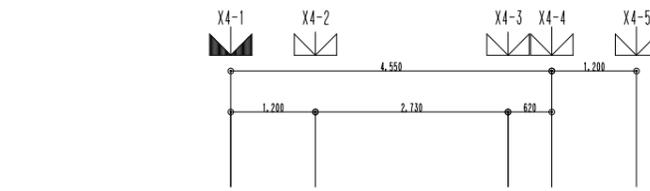
担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

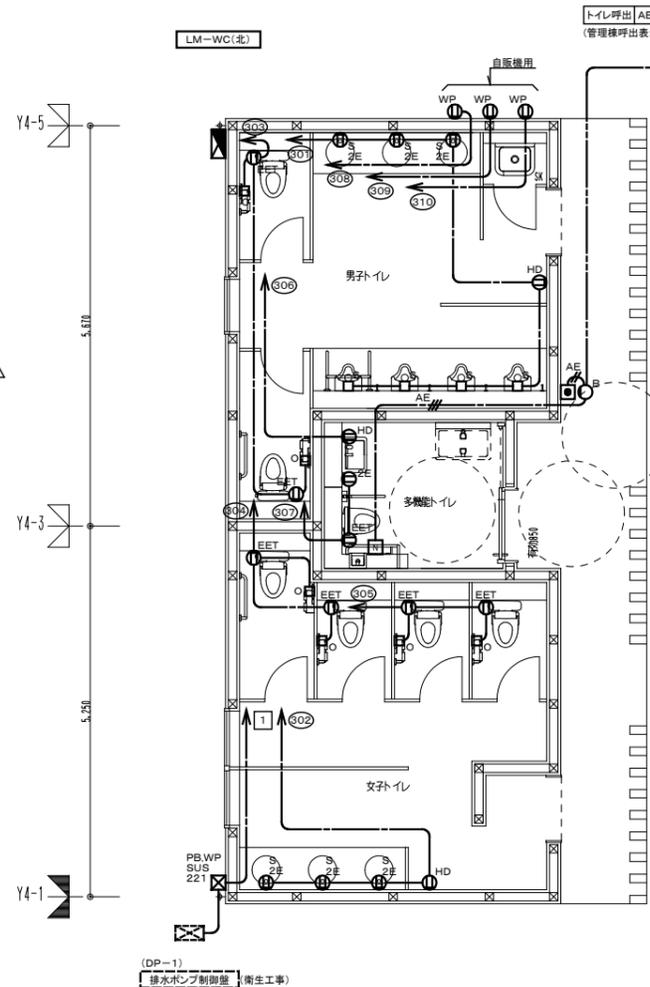
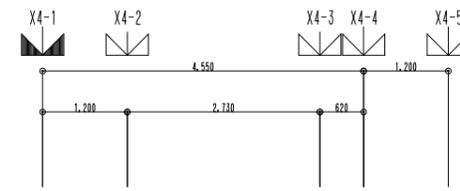
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
誘導灯設備 室内練習場 平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E - 25
年月日
2022年4月
区分
電気



電灯設備 トイレ① 平面図



コンセント・弱電設備 トイレ① 平面図

凡例	記号	名称	備考
	☐	電灯動力盤	
	☐	天井付LED灯	照明器具姿図参照
	○	天井付LED灯	照明器具姿図参照
	●	埋込スイッチ 1P15A x 1	
	▽	熱線センサー付自動スイッチ 親器(フワード付)	パナソニック WTK24818 相当品
	▽	熱線センサー付自動スイッチ 子器	パナソニック WTK2910K 相当品
	☐	排気ファン	換気設備工事
	☐	天井換気扇	換気設備工事
	☐	換気扇用スイッチ	換気設備工事
	① _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	
	② _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	自動水栓用
	① _{HD}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	ハンドドライヤー用
	① _{ET}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 1 接地端子付	
	① _{WP}	防水コンセント 2P15A接地極付 x 2 接地端子付	
	□ _B	ジョイントボックス(小便器センサー用)	
	□ _O	ジョイントボックス(脱音装置用)	
	☐	プルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照
	☐	トイレ呼出押ボタン(引き込み付)	弱電機器系統図参照
	○ _B	プザー付表示灯	弱電機器系統図参照
	○	復旧ボタン	弱電機器系統図参照

注記	
1. 特記なき配管記号は下記による。	
(電灯コンセント設備)	保護管
—	VVF2.0-2C (PF22)
—	VVF2.0-3C (1Cはアース) (PF22)
—	IV2.0 x 2 E2.0 (PF16)
(トイレ呼出設備)	
—	AE1.2-2C (PF16)
—	AE1.2-3C (PF16)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。	
3. 動力二次側配線サイズは、動力壁リスト参照とする。	
4. 地中埋設管径はGL-600以上とし、GL-300に埋設シート(ダブル)を布設すること。	



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

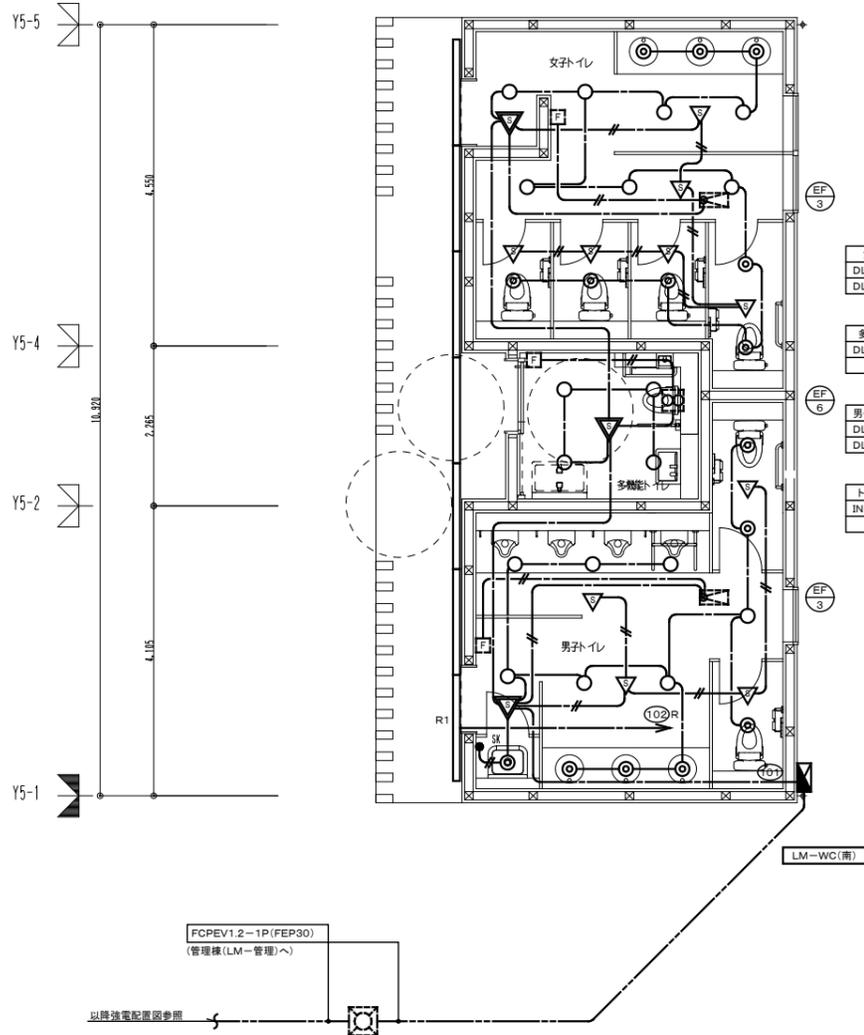
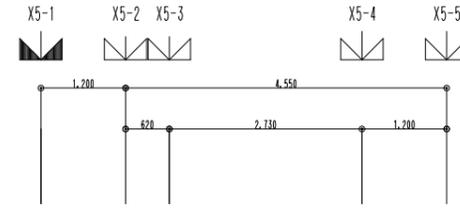
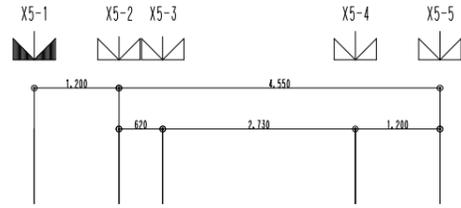
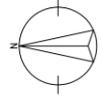
担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

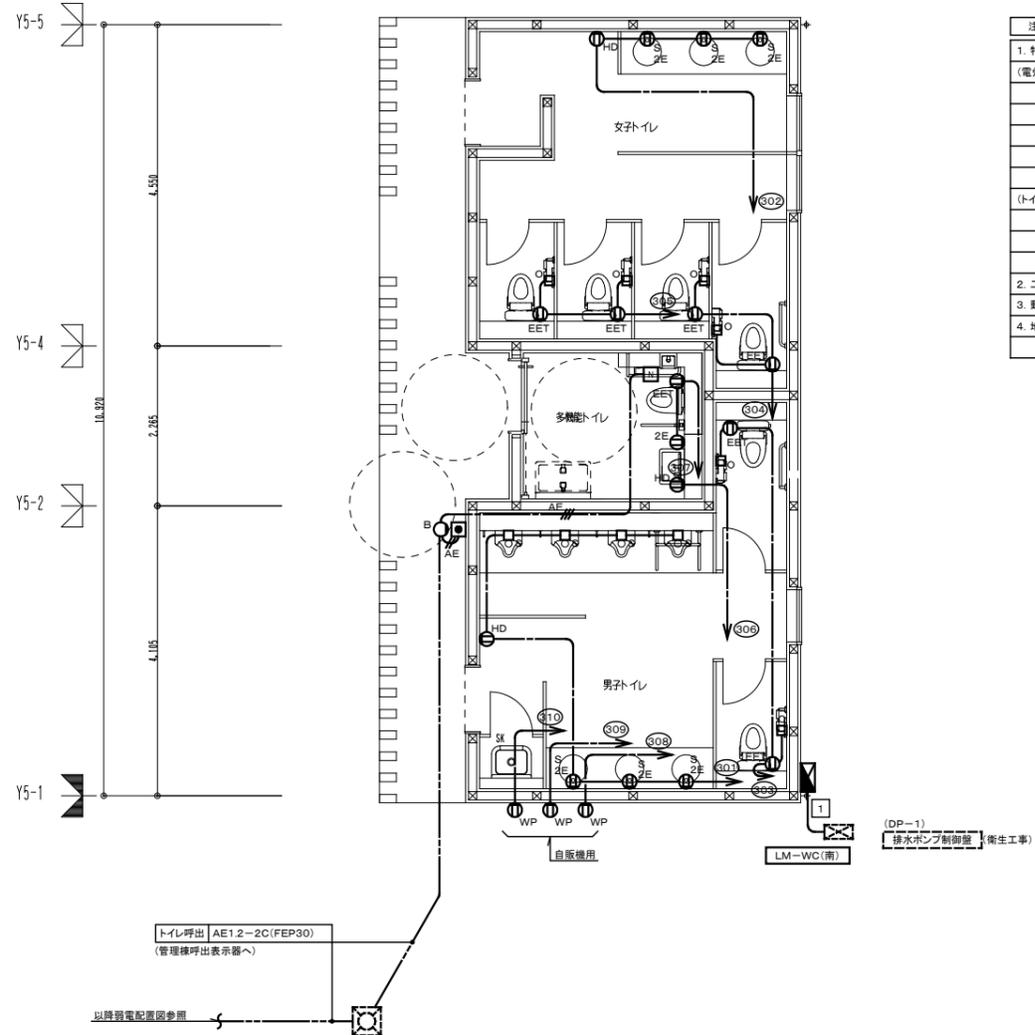
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
動力・電灯コンセント・弱電設備 屋外トイレ①(北側トイレ) 平面図
縮尺
A1: 1/50 A3: 1/100

図面番号
E-26
年月日
2022年4月
区分
電気



電灯設備 トイレ② 平面図



コンセント・弱電設備 トイレ② 平面図

凡例	記号	名称	備考
	☐	電灯動力盤	
	☐	天井付LED灯	照明器具姿図参照
	○	天井付LED灯	照明器具姿図参照
	●	埋込スイッチ 1P15A x 1	
	▽	熱線センサー付自動スイッチ 親器(フワード付)	パナソニック WTK24918 相当品
	▽	熱線センサー付自動スイッチ 子器	パナソニック WTK2910K 相当品
	☐	排気ファン	換気設備工事
	☐	天井換気扇	換気設備工事
	☐	換気扇用スイッチ	換気設備工事
	① _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	
	② _{2E}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	自動水栓用
	① _{HD}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 2	ハンドドライヤー用
	① _{DET}	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 1 接地端子付	
	① _{WP}	防水コンセント 2P15A接地極付 x 2 接地端子付	
	☐ _B	ジョイントボックス(小便器センサー用)	
	☐ _O	ジョイントボックス(振音装置用)	
	☐	トイレ呼出ボタン(引き込み付)	弱電機器系統図参照
	○ _B	プザー付表示灯	弱電機器系統図参照
	☐	復旧ボタン	弱電機器系統図参照

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電灯コンセント設備)		保護管
—	VVF2.0-2C	(PF22)
—	VVF2.0-3C (1Cはアース)	(PF22)
—	IV2.0 x 2 E2.0	(PF16)
(トイレ呼出設備)		
—	AE1.2-2C	(PF16)
—	AE1.2-3C	(PF16)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。		
3. 動力二次側配線サイズは、動力盤リスト参照とする。		
4. 地中埋設管はGL-600以上とし、GL-300に埋設シート(ダブル)を布設すること。		



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

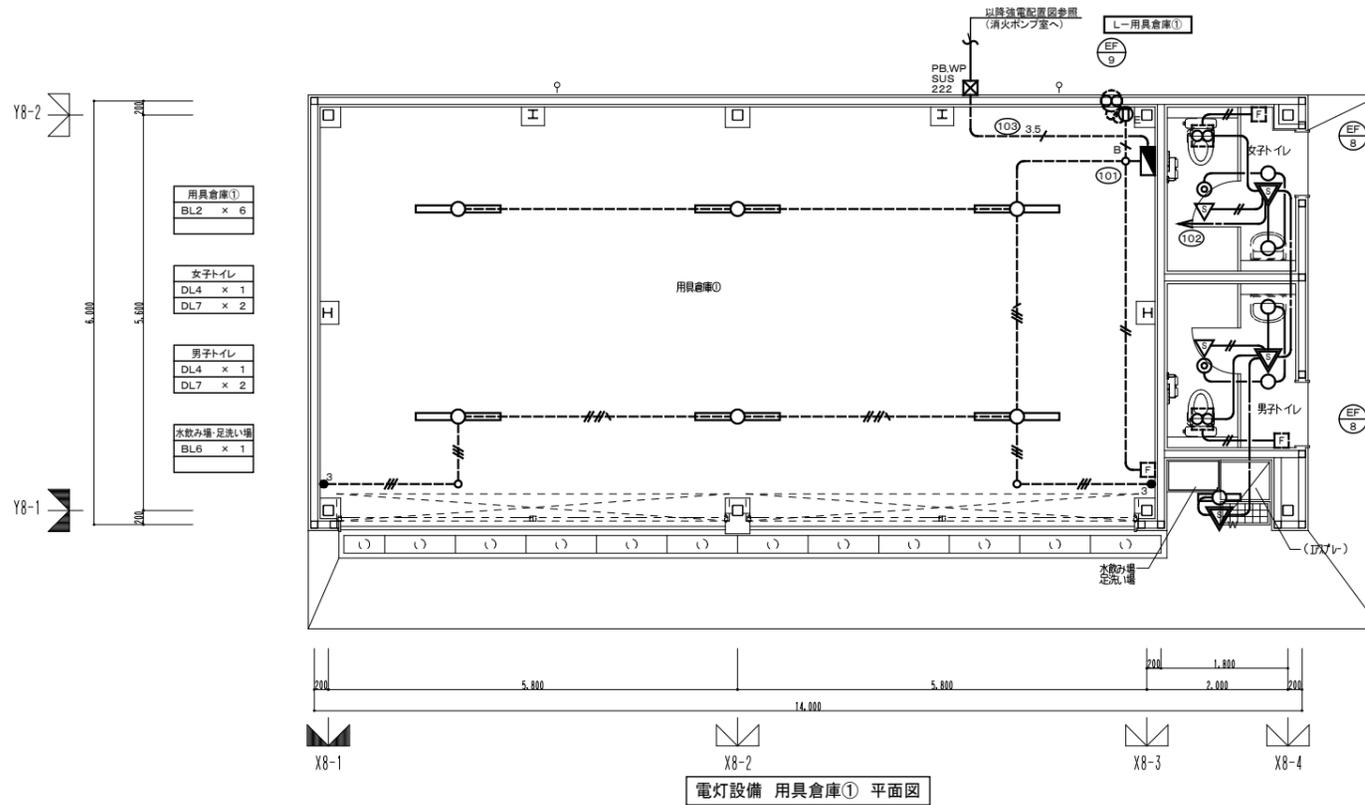
特記
管理番号 1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
動力・電灯コンセント・弱電設備 屋外トイレ②(南側トイレ) 平面図
縮尺
A1: 1/50 A3: 1/100

図面番号
E-27
年月日
2022年4月

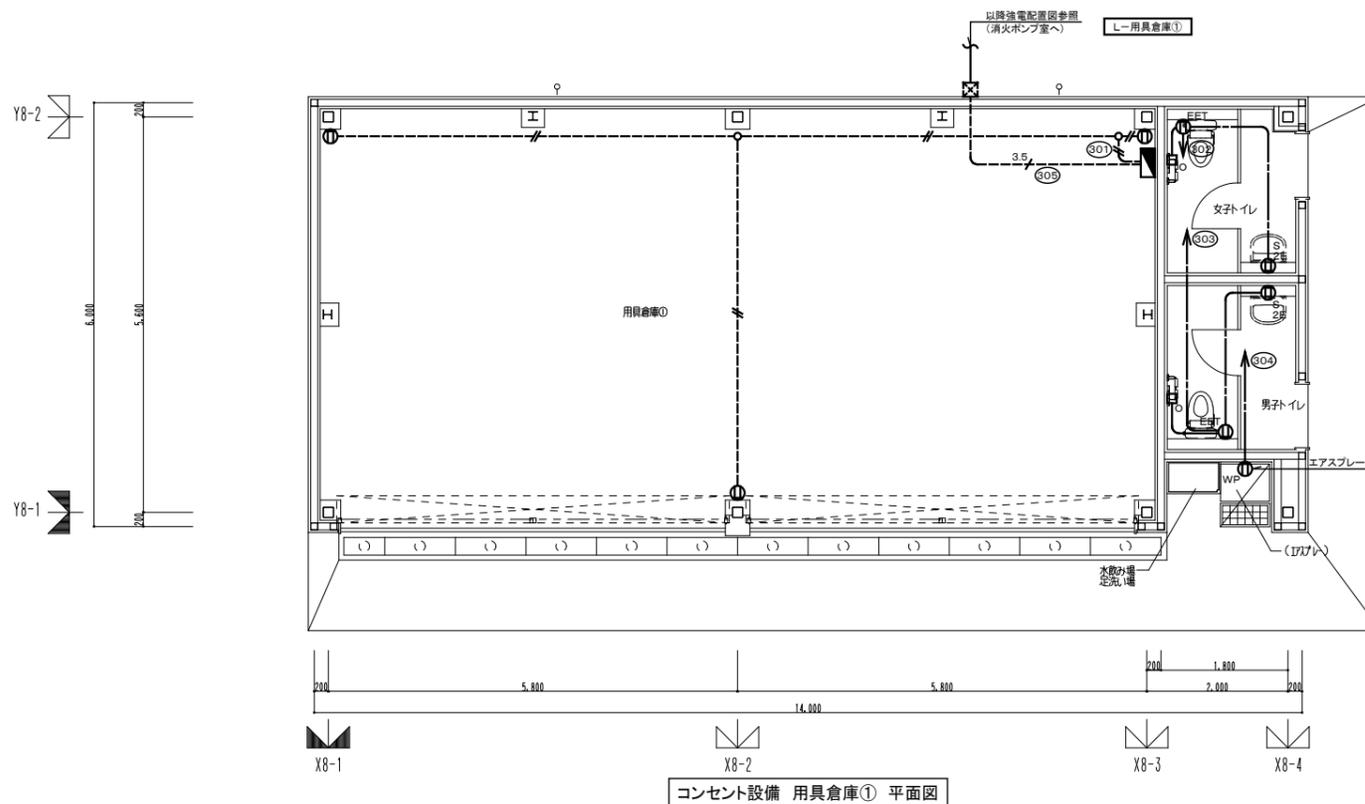
区分
電気



電灯設備 用具倉庫① 平面図

記号	名称	備考
☐	電灯盤	
○	天井付LED灯	照明器具図参照
○	天井付LED灯	照明器具図参照
○	埋込スイッチ 3W15A×1	
△	熱線センサー付自動スイッチ 観音	パナソニック WTK24818 相当品
▽	熱線センサー付自動スイッチ 子器	パナソニック WTK2910K 相当品
▽	熱線センサー付自動スイッチ 観音 軒下用	パナソニック WTK4431 相当品
⊕	天井換気扇	換気設備工事
⊕	有圧換気扇	換気設備工事
⊕	換気扇用スイッチ	換気設備工事
⊕	埋込コンセント 2P15A接地極付×1	
⊕	埋込コンセント 2P15A×2	
⊕	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	自動水栓用
⊕	埋込コンセント 2P15A接地極付×1接地端子付	
⊕	防水コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付	
⊕	ジョイントボックス(観音装置用)	
⊕	プルボックス	WPは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電灯コンセント設備)		保護管
---	VVF2.0-2C	(PF22)
---	VVF2.0-3C (1Cはアース)	(PF22)
---	IV2.0×2	(E19)
---	IV2.0×2 E2.0	(E19)
---	IV2.0×3	(E19)
---	IV2.0×3 E2.0	(E25)
---	IV2.0×4 E2.0	(E25)
---	CV3.5-3C (1Cはアース)	(E25)
---	IV2.0×2 E2.0 (電源用)	(E25)
---	IV2.0×2 (ファンスイッチ用)	
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。		



コンセント設備 用具倉庫① 平面図



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

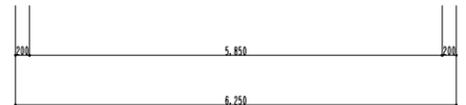
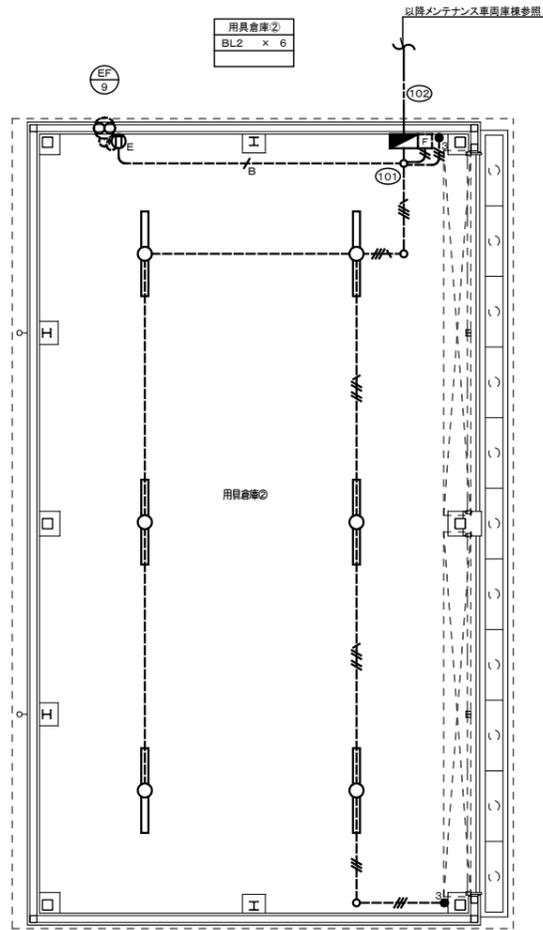
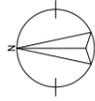
担当
長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

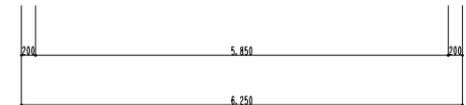
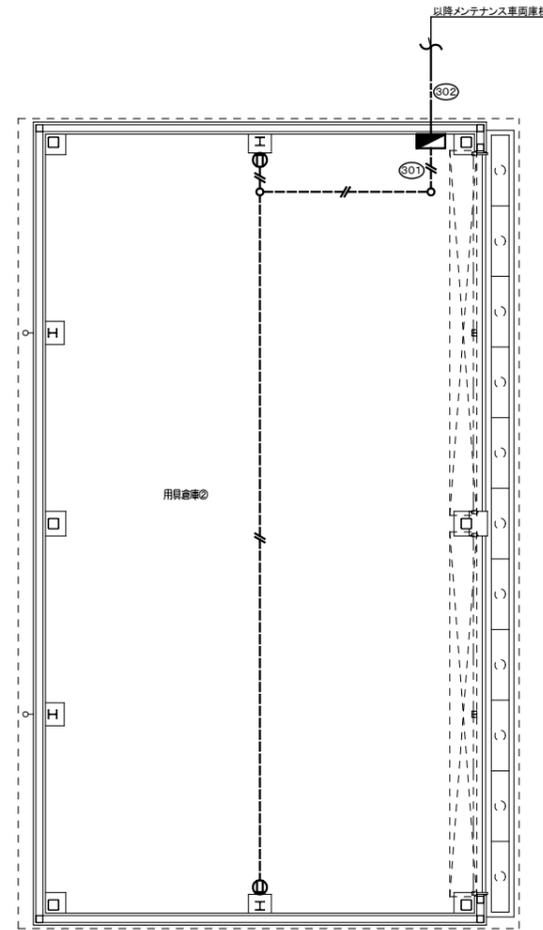
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
電灯コンセント設備 用具倉庫① 平面図
縮尺
A1: 1/50 A3: 1/100

図面番号
E-28
年月日
2022年4月
区分
電気



電灯設備 用具倉庫②平面図



コンセント設備 用具倉庫②平面図

凡例	記号	名称	備考
	■	電灯盤	
	○	天井付LED灯	照明器具委函参照
	●	埋込スイッチ 3W15A x 1	
	⊕	有任換気扇	換気設備工事
	Ⓛ	埋込コンセント 2P15A接地極付 x 1	
	Ⓜ	換気扇用スイッチ	換気設備工事
	Ⓨ	埋込コンセント 2P15A x 2	
	○	露出ボックス	

注記	保護管
1. 特記なき配管配線は下記による。	
(電灯コンセント設備)	
-----	IV2.0 x 2 (E19)
-----	IV2.0 x 2 E2.0 (E19)
-----	IV2.0 x 3 (E19)
-----	IV2.0 x 3 E2.0 (E25)
-----	IV2.0 x 4 E2.0 (E25)
-----	IV2.0 x 2 E2.0 (電源用) (E25)
-----	IV2.0 x 2 (ファンスイッチ用)



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

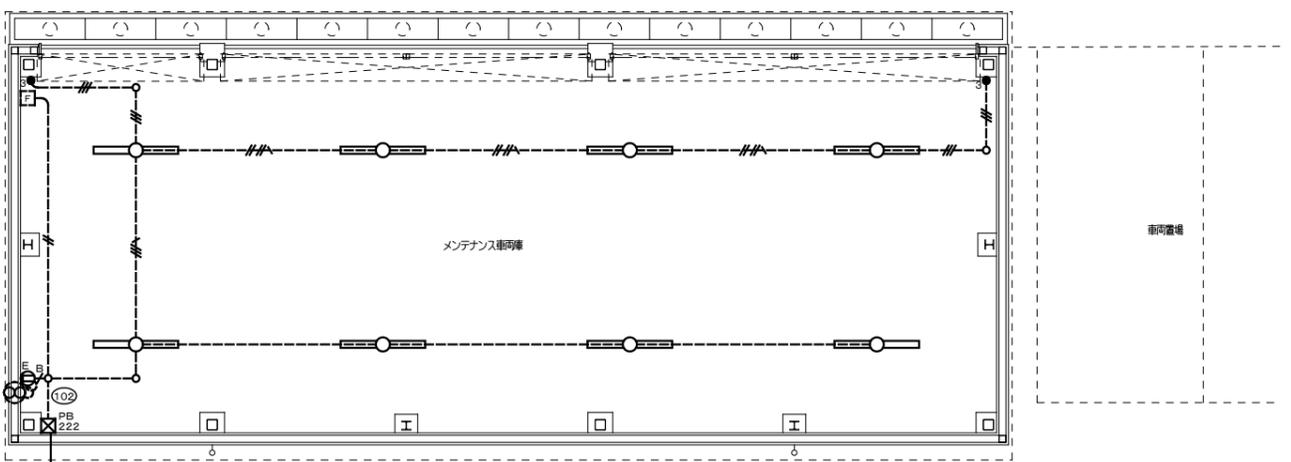
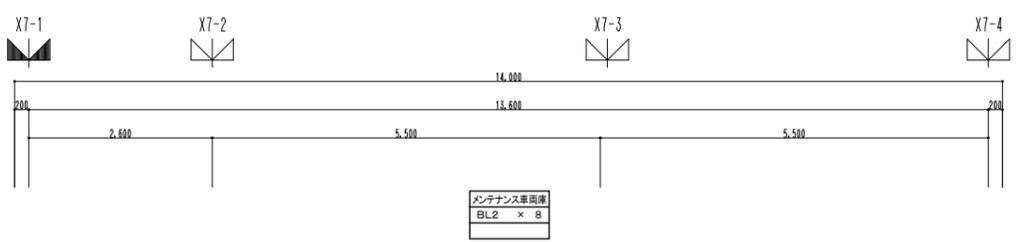
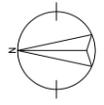
担当
長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

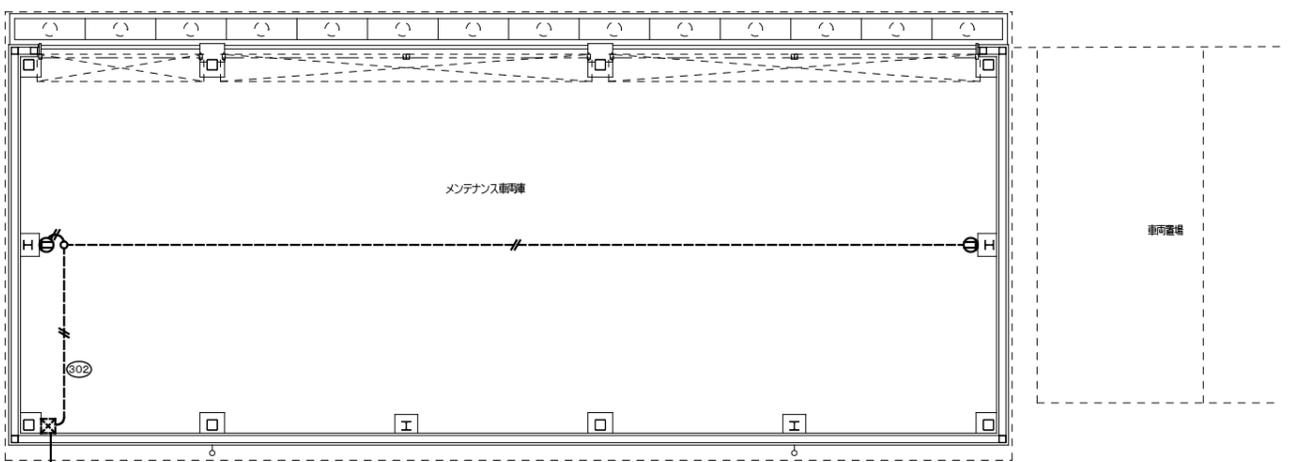
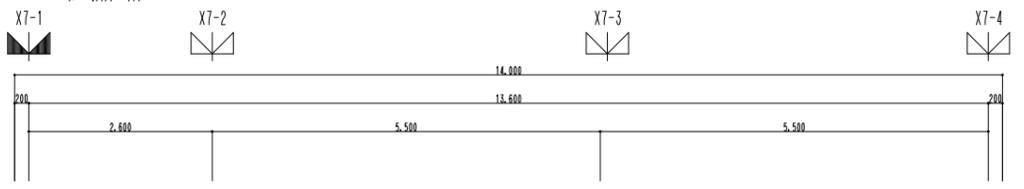
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
電灯コンセント設備 用具倉庫② 平面図
縮尺
A1: 1/50 A3: 1/100

図面番号
E - 29
区分
電気
年月日
2022年4月



電灯設備 メンテナンス車両庫平面図



コンセント設備 メンテナンス車両庫平面図

凡例		
記号	名称	備考
☐	電灯壁	
☐	天井付LED灯	照明器具設置参照
●	埋込スイッチ 3W15A×1	
⊕	有圧換気扇	換気設備工事
⊕	埋込コンセント 2P15A接地極付×1	
⊕	換気扇用スイッチ	換気設備工事
⊕	埋込コンセント 2P15A×2	
☒	プルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電灯コンセント設備)		保護管
----	IV2.0×2	(E19)
----	IV2.0×2 E2.0	(E19)
----	IV2.0×3	(E19)
----	IV2.0×3 E2.0	(E25)
----	IV2.0×4 E2.0	(E25)
----	IV2.0×2 E2.0 (電源用)	(E25)
----	IV2.0×2 (ファンスイッチ用)	(E25)



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

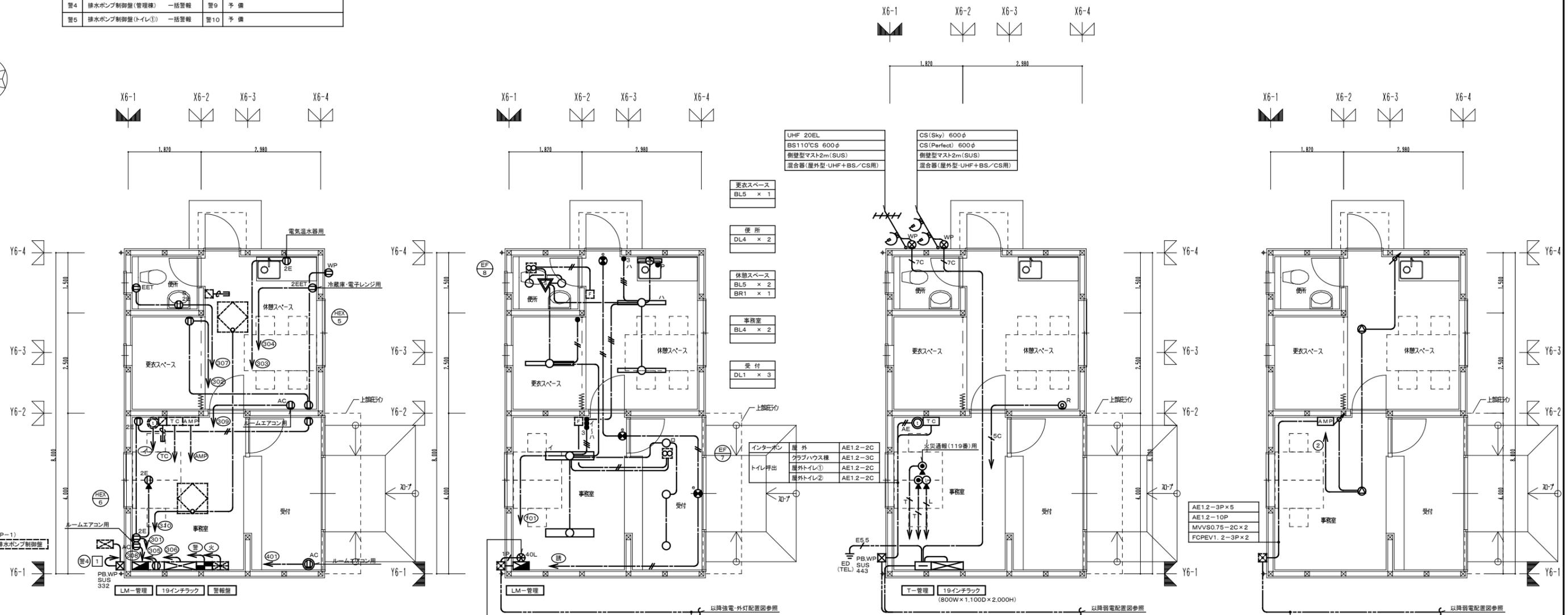
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
電灯コンセント設備 メンテナンス車両庫 平面図
縮尺
A1: 1/50 A3: 1/100

図面番号
E-30
区分
電気
年月日
2022年4月

警報リスト

記号	名称	記号	名称
警1	自立型高圧開閉器盤 一括警報	警6	排水ポンプ制御盤(トイレ②) 一括警報
警2	高圧キュービクル 一括警報	警7	自動給水装置盤 一括警報
警3	排水ポンプ制御盤(クラブハウス) 一括警報	警8	予備
警4	排水ポンプ制御盤(管理棟) 一括警報	警9	予備
警5	排水ポンプ制御盤(トイレ①) 一括警報	警10	予備



動力・コンセント設備 管理棟 平面図

電灯・誘導灯設備 管理棟 平面図

弱電設備 管理棟 平面図

放送設備 管理棟 平面図

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
☐	電灯動力盤		①	埋込コンセント 2P15A×2		☐	弱電端子盤	端子盤リスト参照
☐	天井付LED灯	照明器具図参照	②	埋込コンセント 2P15A接地極付×2		☐	LAN用19インチラック42U	
☐	壁付LED灯	照明器具図参照	③	埋込コンセント 2P15A接地極付×2	自動水栓用	☐	床埋込コンセント 6極4芯	パナソニック DU71164同等品
☐	天井付LED灯	照明器具図参照	④	埋込コンセント 2P15A接地極付×1接地端子付		☐	床埋込LANコンセント Cat6	パナソニック DU71175同等品
●	埋込スイッチ 1P15A×1		⑤	埋込コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付		☐	UHFアンテナ 20EL	
●	埋込スイッチ 3W15A×1		⑥	防水コンセント 2P15A接地極付×2接地端子付	キー付	☐	BS/CSアンテナ	
●	プルスイッチ		⑦	床埋込コンセント 2P15A接地極付×2	パナソニック DU7743 同等品	☐	テレビ直列ユニット 1端子型 端用	4K・8K対応品
●	フル2線式リモコンスイッチ	nは回路数を示す	⑧	埋込コンセント 2P15A/20A兼用接地極付×1接地端子付	ルームエアコン用	☐	テレビ直列ユニット 1端子型 端用	4K・8K対応品
☐	熱線センサー付自動スイッチ 親器(換気扇遅延OFF)	パナソニック WTK2604 相当品	⑨	埋込コンセント 2P20A接地極付×1接地端子付	(250V)ルームエアコン用	☐	インターホン親機(4窓用)	弱電設備系統図参照
☐	天井換気扇	換気設備工事	⑩	露出コンセント 2P15A接地極付×2	端子盤内露出コンセント	☐	トイレ呼出表示器	弱電設備系統図参照
☐	換気扇用スイッチ	換気設備工事				☐	業務用放送アンプ	放送機器図参照
☐	避難口誘導灯	照明器具図参照				☐	天井埋込型スピーカー	放送機器図参照
☐	ブルボックス	WPIは防水型SUS製サイズは平面図参照				☐	アッチネーター 1~6W用	放送機器図参照
☐	ジョイントボックス							

壁面に外灯用リモコンスイッチ取付

LM-管理	R1~4
LM-クラブハウス	R16~21
L-練習場	一括(R1~R7)
LM-WC北	R1
LM-WC南	R1
L-グラウンド①	R1~6
L-グラウンド②	R1~6
L-グラウンド③	R1~6
L-グラウンド④	R1~6
予備	3点減

①②R×2	CV8-2C×2,E2.0(FEP65)
①③R×2	CV8-2C×2,E2.0(FEP65)
リモコン	FCPEV1.2-1P(FEP30)×3

注記

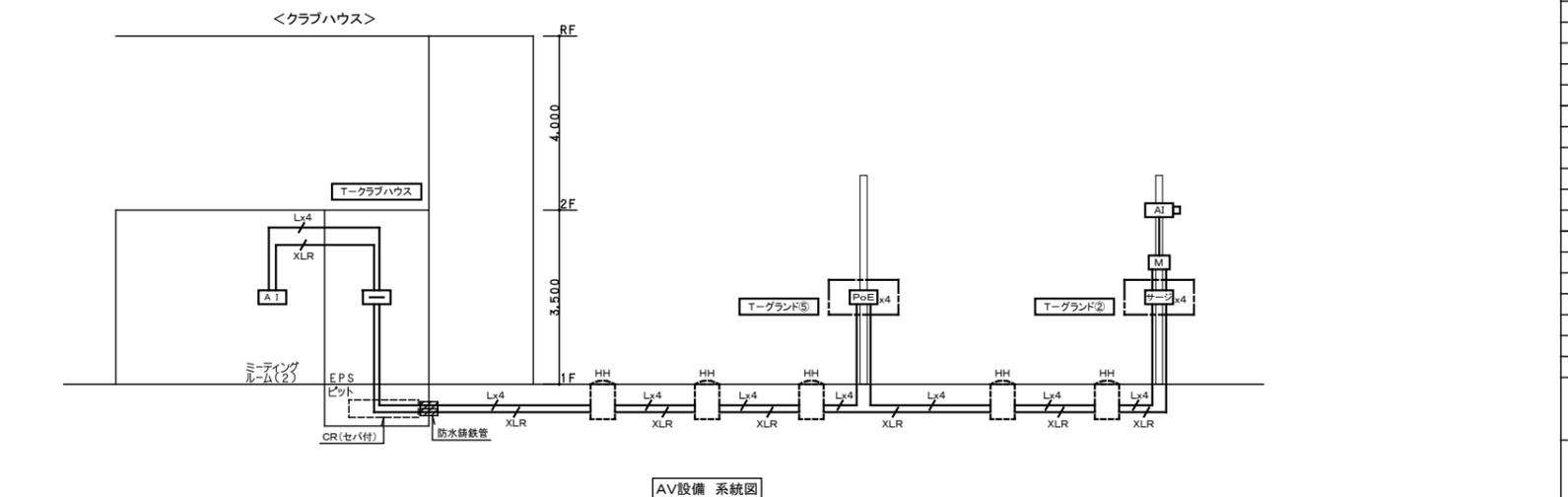
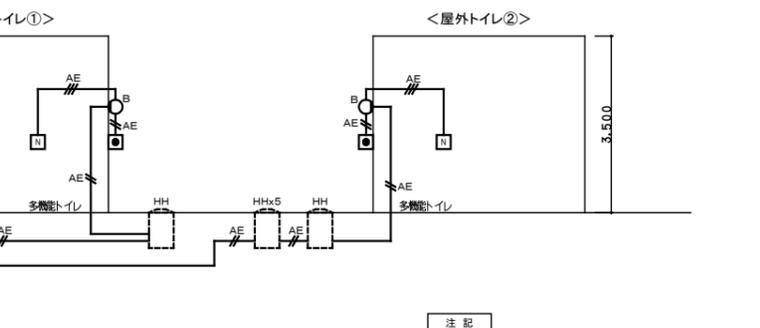
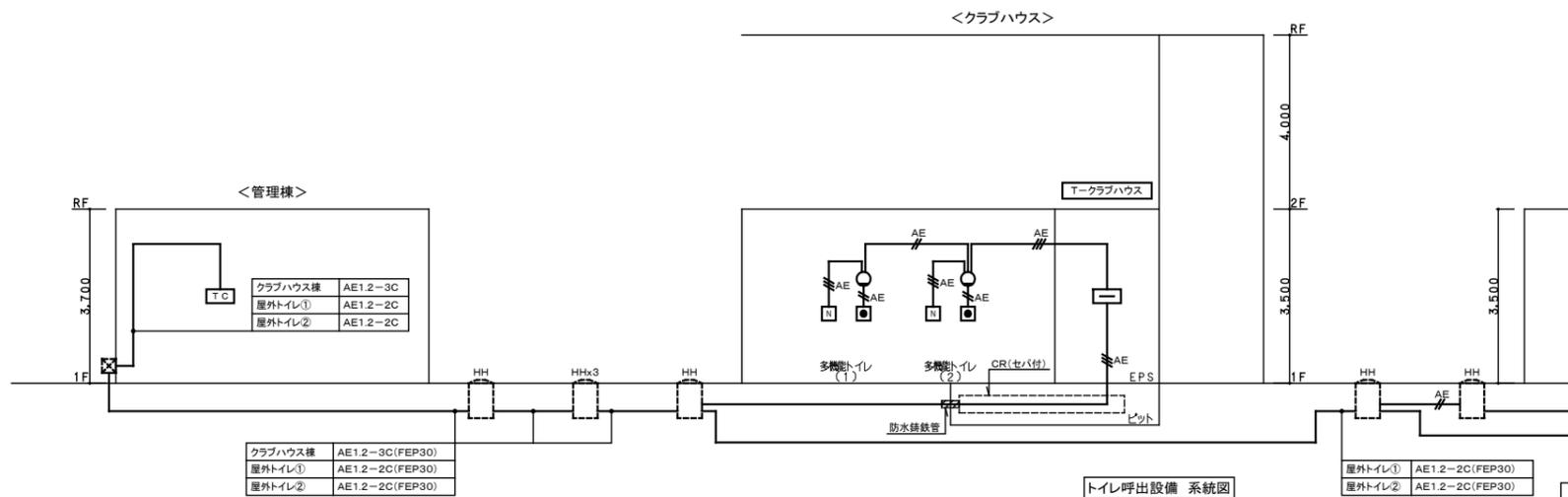
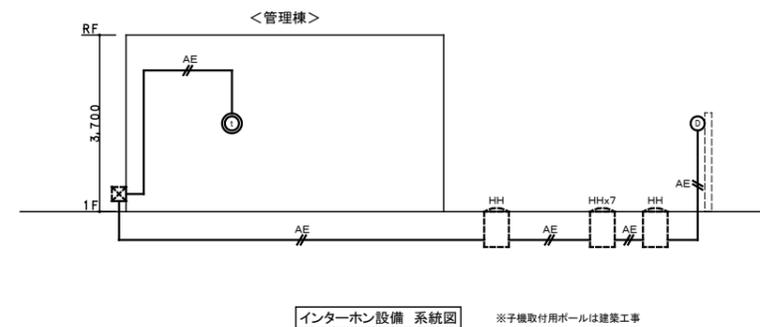
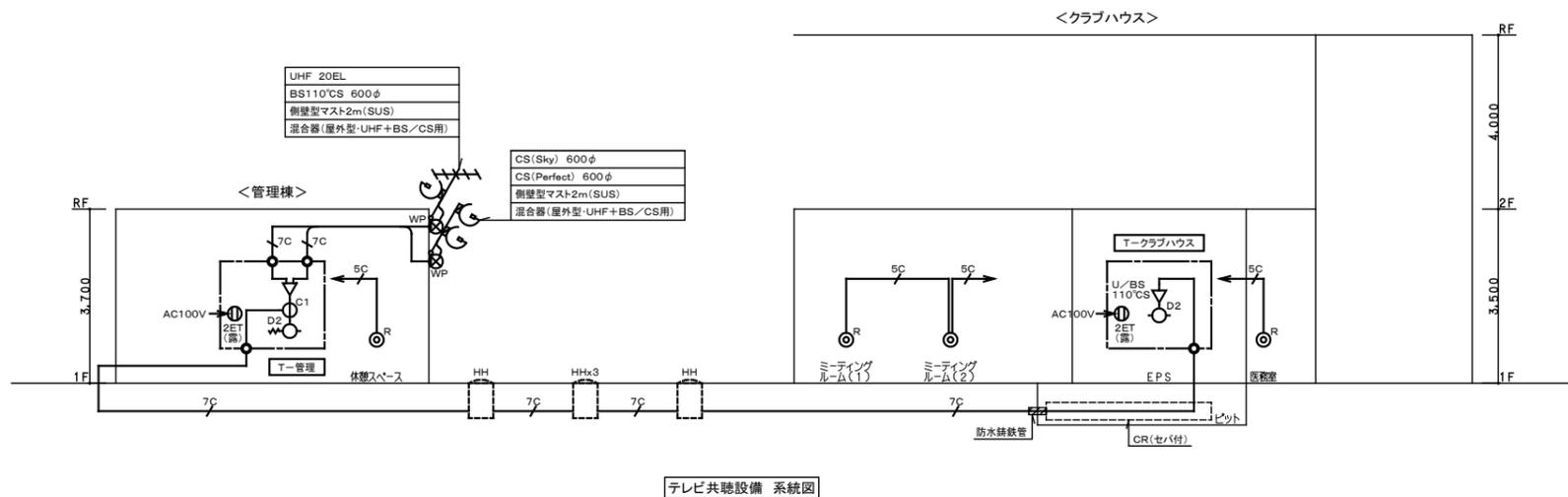
- 特記なき配管配線は下記による。

(動力・コンセント電灯コンセント誘導灯設備)	保護管	(テレビ共聴設備)
— VVF2.0-2C	(PF22)	— SC S-5C-FB
— VVF2.0-3C	(PF22)	— SC S-7C-FB
— VVF2.0-3C (1Cはアース)	(PF22)	
— VVF2.0-3C	(PF22)	(放送設備)
— FCPEV1.2-1P	(PF22)	— AE1.2-3C
- 二重天井内はケーブル工事とし、上げ/下げの壁内は適合電線管にて保護すること。
- 動力二次配線サイズは、動力盤リスト参照とする。
- 弱電幹線サイズは、弱電設備系統図参照とする。

(LAN設備)

— IV2.0×2 E2.0	(PF16)	(インターホン設備)
— 空配管 天井内突き出し	(PF22)	— AE1.2-2C
— UTP0.5-4P(Cat6)	(PF16)	

室内線留場	AE1.2-3P(FEP30)
屋外線留場1-2	AE1.2-3P(FEP30)×4
クラブハウス棟	AE1.2-10P(FEP30)
屋外線留場1 (ラグビー、サッカーグラウンド)	MVVS0.75-2C (FEP30)
	FCPEV1.2-3P
屋外線留場2 (多目的グラウンド)	MVVS0.75-2C (FEP30)
	FCPEV1.2-3P



凡例	記号	名称	備考
[]	弱端子盤	端子盤リスト参照	
[]	UHFアンテナ 20EL		
[]	BS/CSアンテナ		
[]	プースター		
[]	1分岐器		
[]	2分配器		
[]	テレビ直列ユニット 1端子型 中間用	4K-8K対応品	
[]	テレビ直列ユニット 1端子型 端末用	4K-8K対応品	
[]	防雨入線カバー		
[]	インターホン観機	アイホン WK-2ME-T 相当品	
[]	インターホン子機	アイホン WK-DA 相当品	
[TC]	トイレ呼出表示器(4器用)	アイホン CN-4A54/A 相当品	
[]	トイレ呼出押ボタン(引きひも付)	アイホン NBR-7HWA 相当品	
[]	廊下灯	アイホン NBR-4B 相当品	
[]	ブザー付表示灯	アイホン NR-BZLB27 相当品	
[]	復旧ボタン	アイホン NBR-2A-C 相当品	
[]	サージプロテクター	Ubiquiti ETH-SP-G2	
[PoE]	PoEExtender	EIB-UG01-PF2	
[]	AIカメラ収納ボックス	FVK40-5305E	
[AI]	VPU	HPZ6 G4 Workstation	
[]	オーディオミキサー	Behringer UMS202	
[]	マイク収納箱	SPN2525-12	
[M]	マイクスタンド	K&M 23550	
[]	外部マイク	Behringer C-2	
[AI]	AIカメラ	Pixelot S1	

注記	
1. 特記なき配管配線は下記による。	
(テレビ共聴設備)	保護管
—5C—	S-5C-FB (PF16)
—7C—	S-7C-FB (PF22)
(インターホントイレ呼出設備)	
—AE—	AE1.2-2C (PF16)
—3E—	AE1.2-3C (PF16)
(AV設備)	
—Lx4—	UTP0.5-4P(Cat6) x 4 (FEP30)
—XLR—	XLRキャンペーンケーブル(CANAREMR202-2AT) (FEP30)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。	
3. 引込配管サイズ・地中配線配管サイズは外機配線リスト参照とする。	



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当 長浜 愛美

特記
管理番号 1LU122YD1

工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事

図面番号 E-33
縮尺 A1: 1/N, S A3: 1/N, S

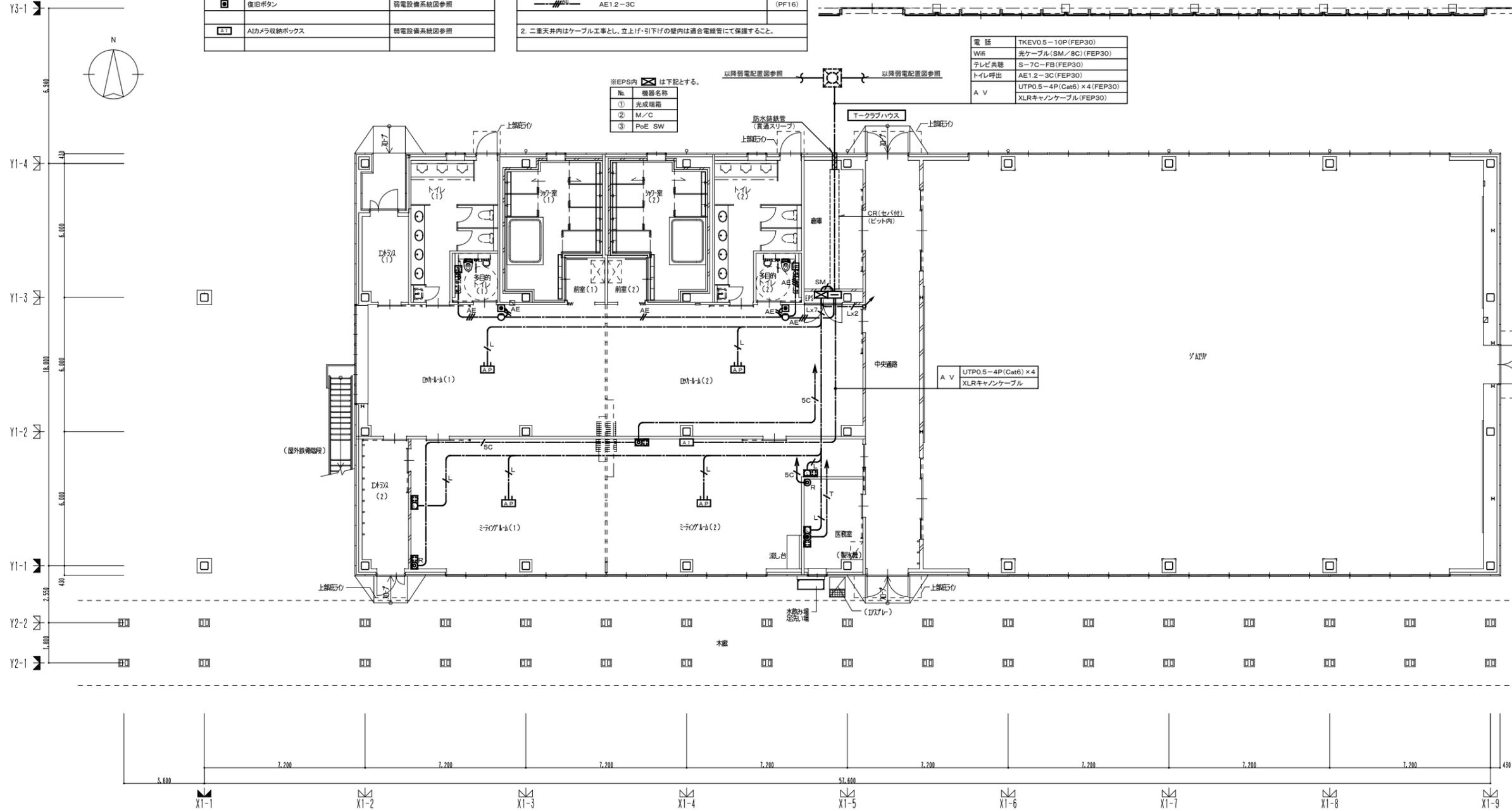
区分 電気
年月日 2022年4月

凡例	記号	名称	備考
	□	弱電端子盤	端子盤リスト参照
	●	埋込電話コンセント	6種4芯
	⊗	Wifi-LAN機器収納盤	弱電設備系統図参照
	⊗	埋込LANコンセント	Cat6
	AP	無線アクセスポイント	弱電設備系統図参照
	⊙	テレビ直列ユニット 1端子型 中間用	4K・8K対応品
	⊙	テレビ直列ユニット 1端子型 端末用	4K・8K対応品
	□	トイレ呼出ボタン(引きひも付)	弱電設備系統図参照
	○	廊下灯	弱電設備系統図参照
	■	復旧ボタン	弱電設備系統図参照
	AV	AIカメラ収納ボックス	弱電設備系統図参照

注記	記号	名称	備考
1. 特記なき配管配線は下記による。			
(電話設備)	ICT0.5-2P	保護管	(PF16)
(テレビ共聴設備)	S-5C-FB		(PF16)
(LAN-Wifi設備)	UTP0.5-4P(Cat6)		(PF16)
	光ケーブル(SM/8C)		(E31)
(トイレ呼出設備)	AE1.2-2C		(PF16)
	AE1.2-3C		(PF16)
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・引下げの壁内は適合電線管にて保護すること。			

電話	TKEV0.5-10P(FEP30)
Wifi	光ケーブル(SM/8C)(FEP30)
テレビ共聴	S-7C-FB(FEP30)
トイレ呼出	AE1.2-3C(FEP30)
A V	UTP0.5-4P(Cat6) x 4(FEP30)
	XLRキャンケンケーブル(FEP30)

凡例	記号	名称
※EPS内	⊗	は下記とする。
①	□	光成端箱
②	□	M/C
③	□	PoE SW



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

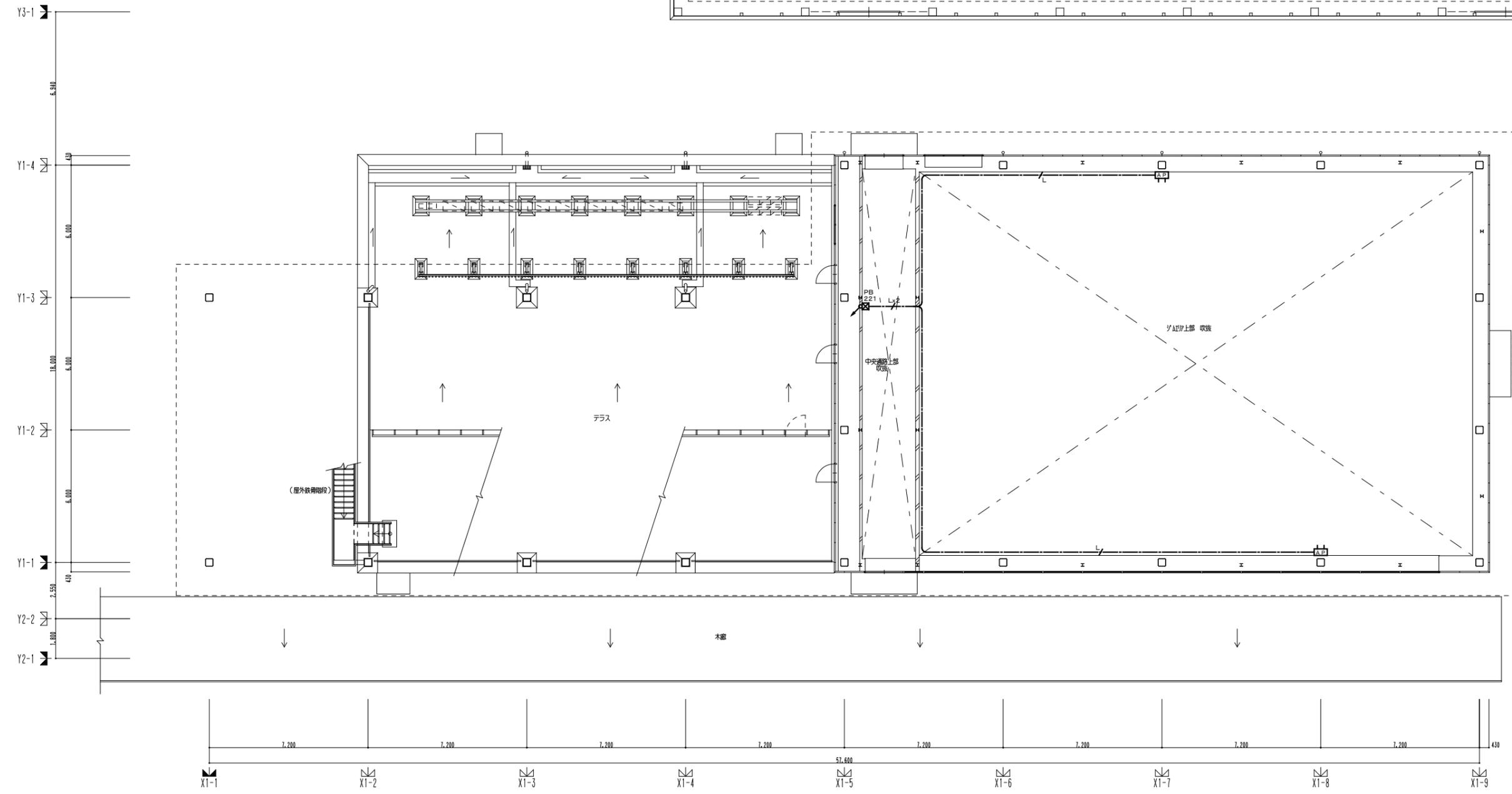
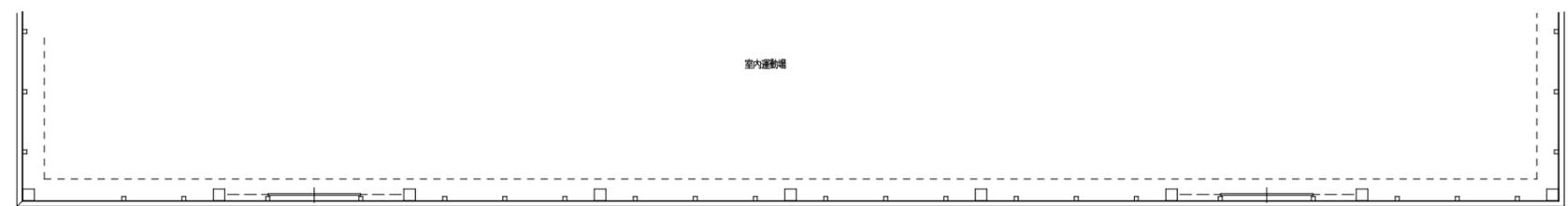
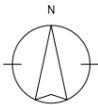
担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

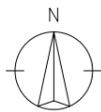
工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
弱電設備 クラブハウス 1階平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-34
区分
電気
年月日
2022年4月



	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 弱電設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-35	区分 電気
			一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月		
			一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200						



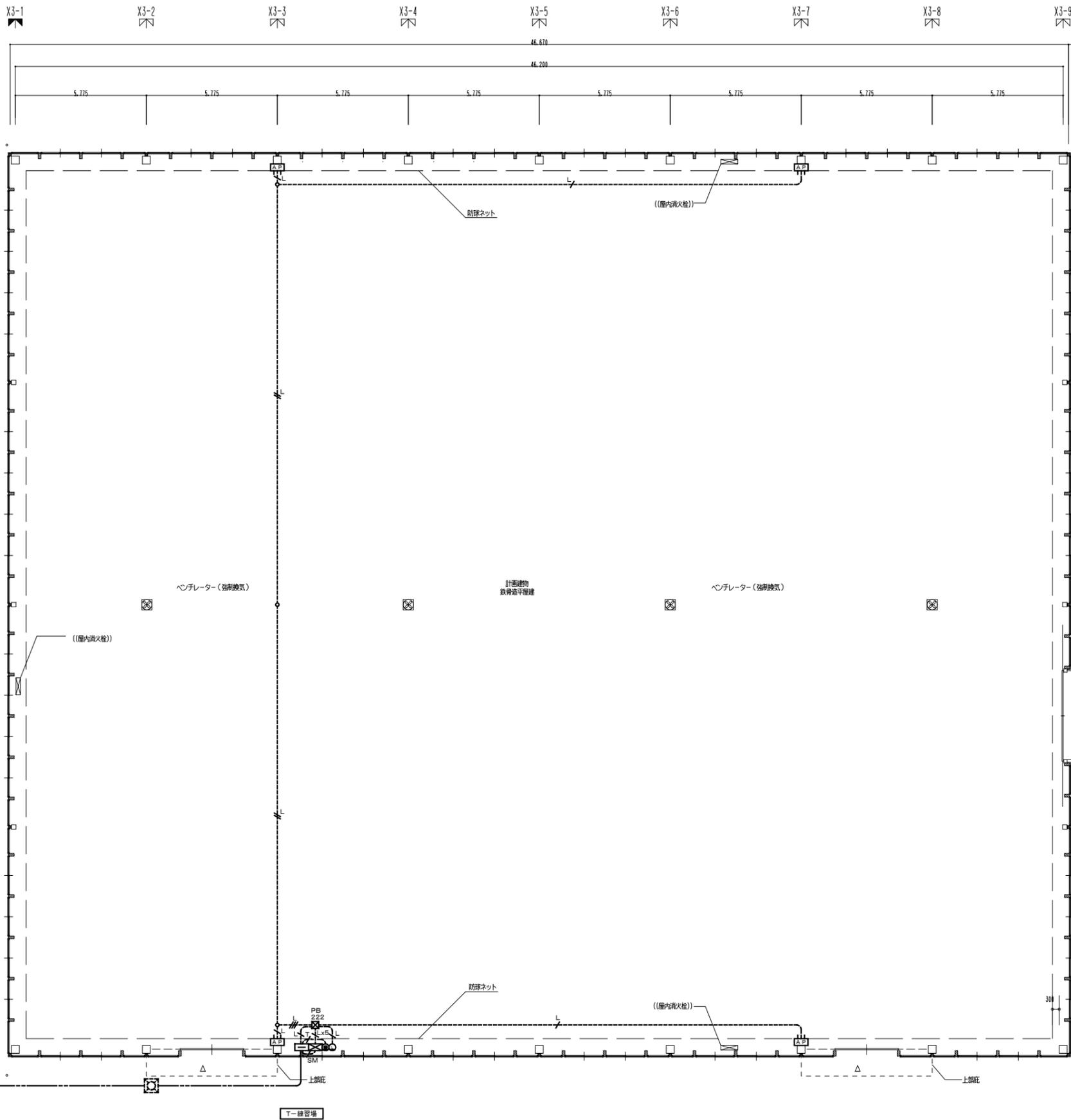
Y3-5

Y3-4

Y3-3

Y3-2

Y3-1



凡例		
記号	名称	備考
□	弱電端子盤	端子盤リスト参照
●	埋込電話コンセント	6極4芯
⊗	Wifi-LAN機器収納盤	弱電設備系統図参照
⊙	埋込LANコンセント	Cat6
△	無線アクセスポイント	弱電設備系統図参照
⊠	プルボックス	WPは防水型SUS製サイズは平面図参照
○	露出ボックス	

注記		
1. 特記なき配管配線は下記による。		
(電話設備)		
---T---	ICT0.5-2P	(E19)
(LAN設備)		
---UT---	UTP0.5-4P(Cat6)	(E19)
---UTP2---	UTP0.5-4P(Cat6) × 2	(E25)
---UTP3---	UTP0.5-4P(Cat6) × 3	(E25)
---UTP5---	UTP0.5-4P(Cat6) × 5	(E25)
---SM---	光ケーブル(SM/8C)	(E25)



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

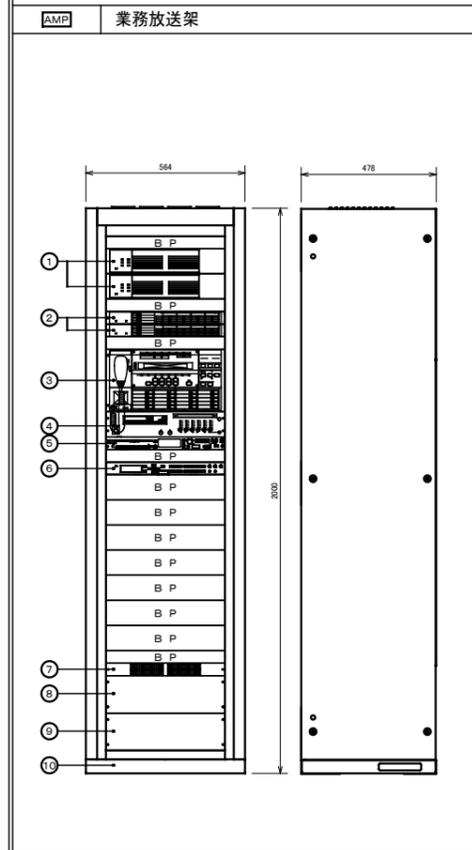
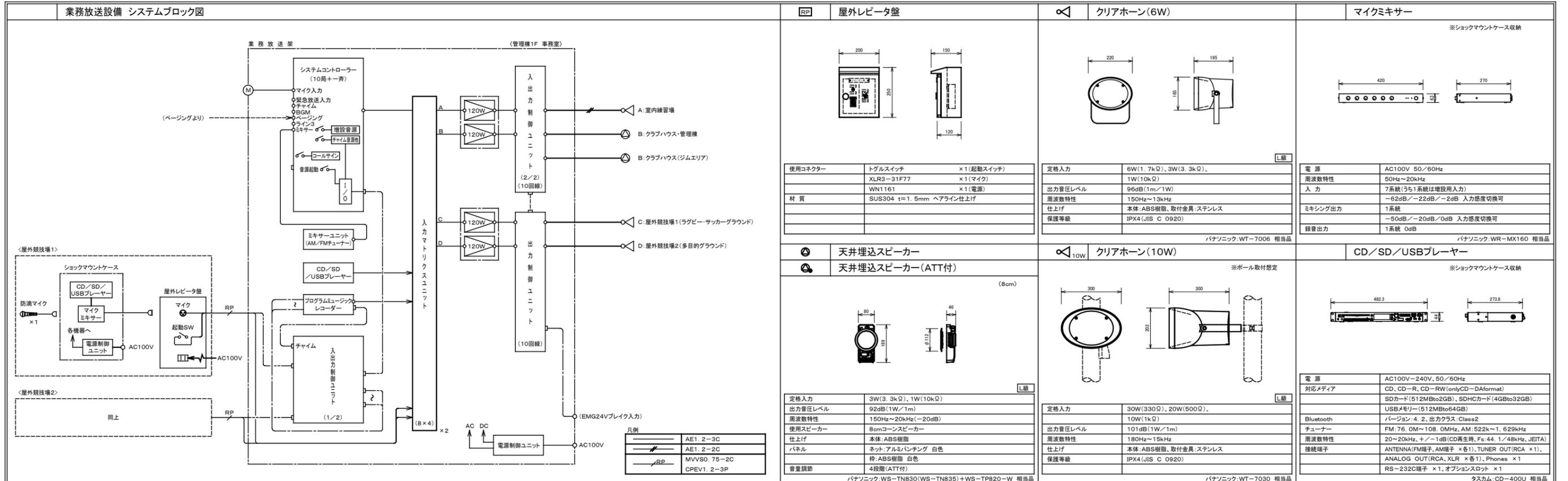
担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
弱電設備 室内練習場 平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E - 36
年月日
2022年4月
区分
電気



(構成)

番号	名称	員数	備考
①	デジタルアンプ(240W)	2	WU-PD122
②	入力マトリクスユニット	2	WU-MX544
③	システムコントローラー	1	WK-KC600
④	ミキサーユニット	1	WU-M60A WU-T60B
⑤	CD/SD/USBプレーヤー	1	CD-400U
⑥	プログラムミュージックレコーダー	1	WZ-PT340
⑦	電源制御ユニット	1	WU-L62
⑧	入出力制御ユニット	1	WU-KR600
⑨	出力制御ユニット(10回線)	1	WU-ER551
⑩	収納架	1	WU-RL85

BP. プランクパネル

(定格)

総合定格	電源
AC100V 50/60Hz	
480W	
10局	
20回線	

① デジタルアンプ(240W) WU-PD122

定格出力	周波数特性	異常制御出力
240W(120W+120W並列接続時)		
50Hz~15kHz		
2端子(内部並列)		

② 入力マトリクスユニット WU-MX544

入力回路	出力回路	その他
4回路 0dB/20dB 5kΩ電子バランス		
4回路 0dB 600Ω(平衡)		
最大16台(入力32×出力8、入力8×出力32構成)まで増設可能		

③ システムコントローラー(タイマー機能付) WK-KC600

選局制御	緊急・業務内蔵音源	増設可能音源
10局+優先及び一般一斉放送		
チャイム(ウェストミンスター) 省エネ放送、緊急地震速報他		
15個迄 合計で15分以内		

④ ミキサーユニット WU-M60A WU-T60B

緊急起動(前面パネル)	ライン	ベーキング
緊急放送スイッチ×3(内蔵音源起動又はマイク放送用)		
-2dBV 10kΩ 平衡		
-22dBV 10kΩ 平衡		

⑤ CD/SD/USBプレーヤー CD-400U

音源出力	音量調整(前面パネル)
0dBV 600Ω以上 平衡	
4系統(本体マイク、BGM、ライン1、ライン2)	

⑥ プログラムミュージックレコーダー WZ-PT340

コールサイン	液晶表示	PC接続/フ
上り4音/下り4音(オリジナルコールサインへ変更可)		
放送状態、異常表示(通信、回線短絡、蓄電池)他		
RS-232C		

⑦ 電源制御ユニット WU-L62

タイマー機能	プログラム起動	内蔵時計精度
年間タイマー・16個(週間プログラム/特定日、今日プログラム×1)		
20系統(内蔵音源及び放送先制御用)		
遅差±0.7秒以内(平均温度25℃)		

⑧ 入出力制御ユニット WU-KR600

PA入力	スピーカー端子	緊急制御信号
リモコンマイク×6、マルチリモコン×8、外部制御×10		
BGM、ベーキング、チャイム、停電起動、非常放送優先入力		
2入力まで(480W/入力)		

⑨ 出力制御ユニット(10回線) WU-ER551

PA入力	非常制御信号
10回線(200W/回線)	
2系統(EMG24Vブレイク信号)	

④ ミキサーユニット WU-M60A WU-T60B

入力回路	出力回路	その他
マイク×2 ライン×6		
ライン×2 録音×1		
AM/FMチューナー内蔵		

⑤ CD/SD/USBプレーヤー CD-400U

対応メディア	Bluetooth	チューナー
CD, CD-R, CD-RW(only CD-DAformat)		
バージョン: 4.2, 出力クラス: Class2		
FM: 76.0M~108.0MHz, AM: 522k~1.629kHz		

⑥ プログラムミュージックレコーダー WZ-PT340

プログラムタイマー	時刻精度	時刻補正入力
週間/年間スケジュール設定可能		
遅差±0.7秒以内(25℃)		
NTPサーバー、観時計、時報音声、授点		

⑦ 電源制御ユニット WU-L62

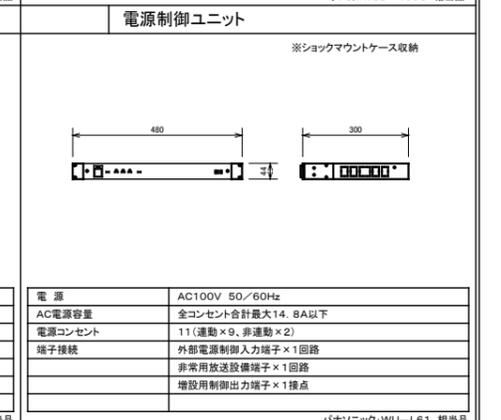
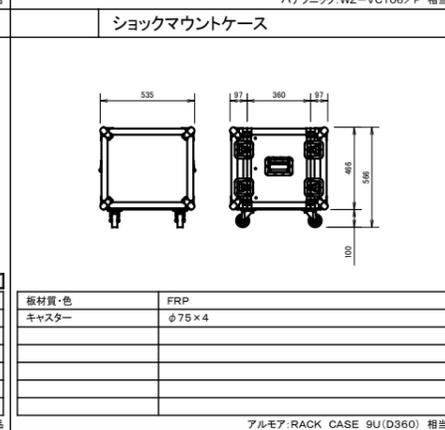
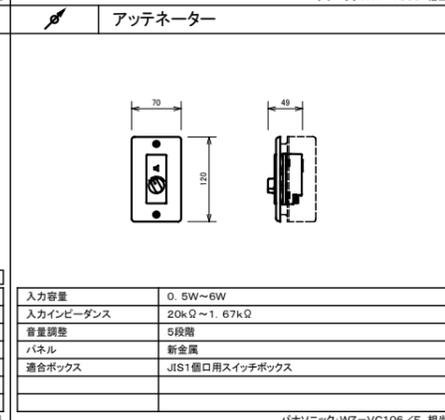
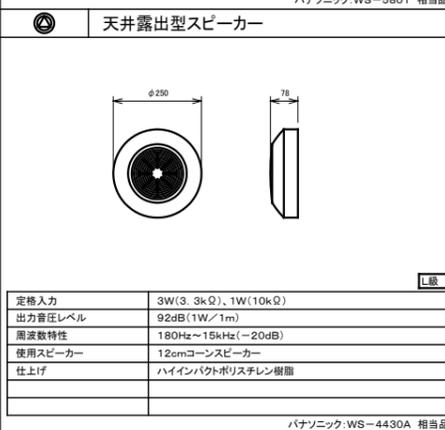
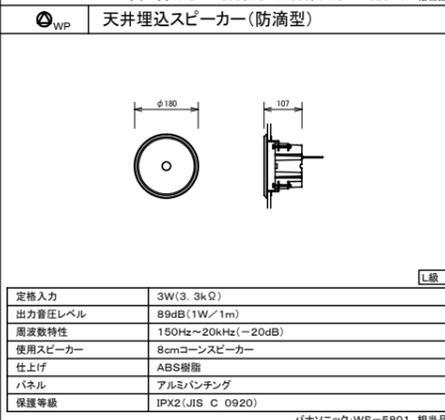
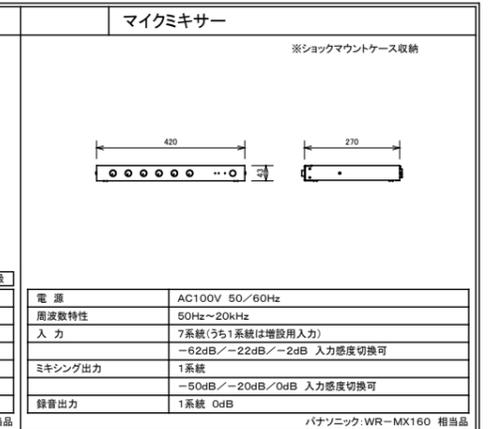
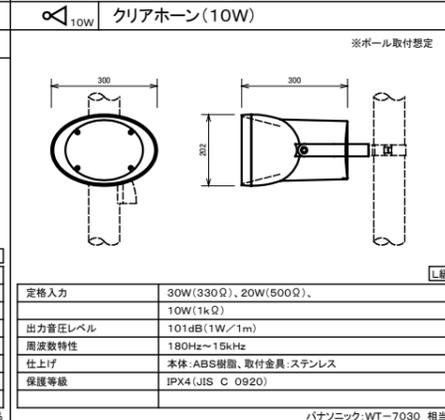
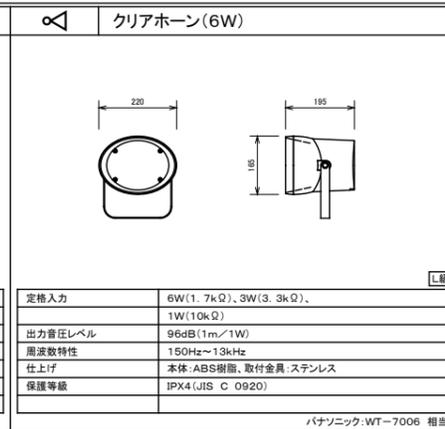
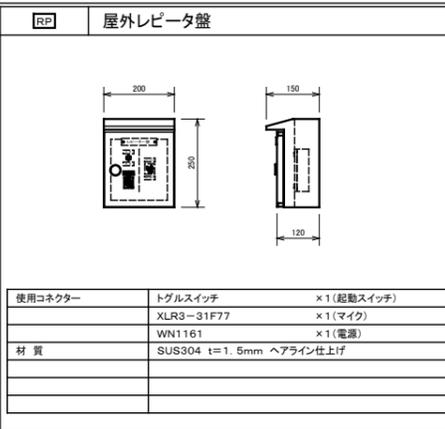
電源	コンセント	DC電源出力
AC100V 38A(A及びB系統合計)		
非常用×2 ACコンセント×8		
DC24V 最大3.6A		

⑧ 入出力制御ユニット WU-KR600

入出力制御	PA入力	スピーカー端子
リモコンマイク×6、マルチリモコン×8、外部制御×10		
BGM、ベーキング、チャイム、停電起動、非常放送優先入力		
10回線(200W/回線)		

⑨ 出力制御ユニット(10回線) WU-ER551

入出力制御	スピーカー端子	自火明起動入力
10回線(200W/回線)		
10		
2		



《機器凡例》

記号	名称	備考
Ⓜ	弱電端子盤	
AMP	業務用放送アンプ	放送機器要参照
RF	屋外用放送アンテナ	放送機器要参照
SP	天井埋込スピーカー	放送機器要参照
ATT	天井埋込スピーカー(ATT付)	放送機器要参照
WP	天井露出型スピーカー	放送機器要参照
WP	天井埋込スピーカー(防滴型)	放送機器要参照
6W	クリアホン(6W)	放送機器要参照
10W	クリアホン(10W)	放送機器要参照
No	アンテナ	放送機器要参照
No	業務放送系統No	

《配管・配線》

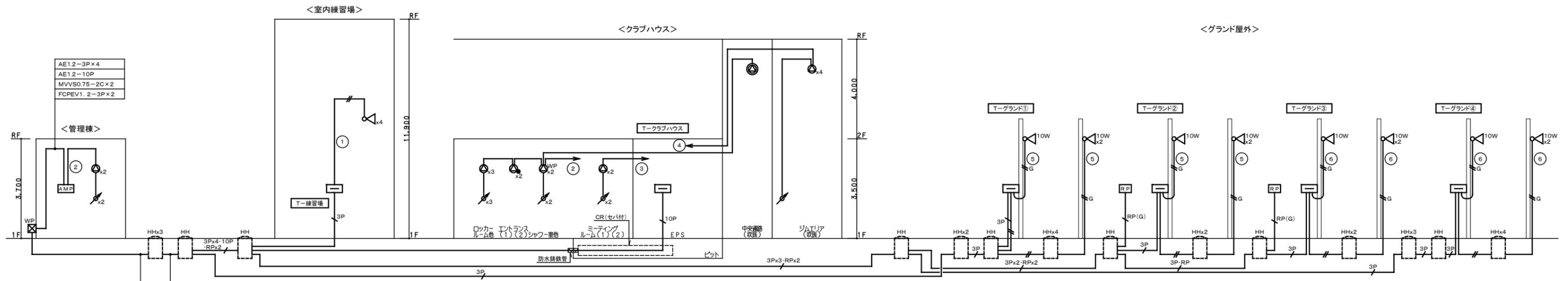
1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。

AE1.2-2C	(PF16)
AE1.2-3C	(PF16)
AE1.2-3P	(PF22)
AE1.2-10P	(PF28)
MV/S0.75-2C	(PF28)(G28)
FCPEV1.2-3P	
AE1.2-2C	(G16)

2. 二重天井内は、こしがし配線とする。
3. 立上げ・立下げは適合するPF管にて保護の事。

《放送系統表》

業務系統 回路番号	系統名称 名称(放送エリア)	マトリクス				1W	1W	3W	6W	10W	合計
		A	B	C	D						
①	1F 室内練習場	○									24W
②	管理棟・クラブハウス共用		○			5	4	2			15W
③	ミーティングルーム			○					2		2W
④	ジムエリア		○			4					4W
⑤	ラグビー・サッカーグラウンド				○					6	60W
⑥	多目的グラウンド				○					6	60W
⑦	予備										
⑧	予備										
⑨	予備										
⑩	予備										
合計(台)		4	17	6	6	11	4	2	4	12	33台
合計(W)		24	21	60	60	11	4	6	24	120	
実装アンプ(W)		120	120	120	120						



室内練習場	AE1.2-3P(FEP30)
屋外競技場1・2	AE1.2-3P(FEP30) x 4
クラブハウス棟	AE1.2-10P(FEP30)
屋外競技場1 (ラグビー・サッカー グラウンド)	MV/S0.75-2C (FEP30)
屋外競技場2 (多目的グラウンド)	MV/S0.75-2C (FEP30)

放送設備 系統図

注)引込配管サイズ・地中配線配管サイズは外構配線リスト参照とする。



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
放送設備 系統図
縮尺
A1: 1/N.S A3: 1/N.S

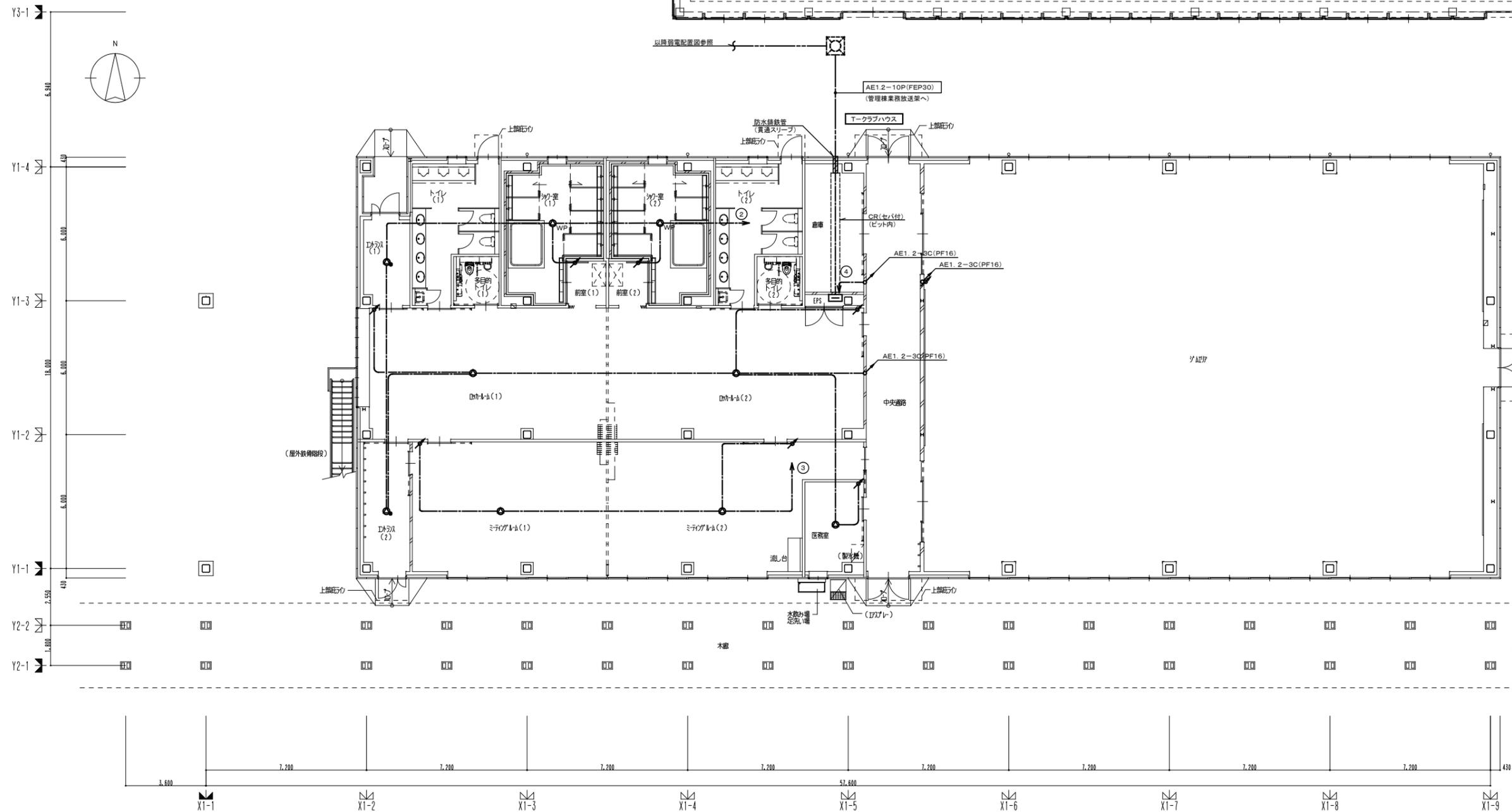
図面番号
E-38
区分
電気
年月日
2022年4月

〔機器凡例〕

記号	名称	備考
□	弱電端子盤	
○	天井埋込スピーカー	放送機器要図参照
●	天井埋込スピーカー(ATT付)	放送機器要図参照
○	天井埋込スピーカー(防滴型)	放送機器要図参照
WP	アツテネーター	放送機器要図参照
No	業務放送系統No	

〔配管・配線〕

1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。		
—	AE1.2-2C	(PF16)
—	AE1.2-3C	(PF16)
2. 二重天井内は、こがし配線とする。		
3. 立上げ・立下げは適合するPF管にて保護の事。		



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

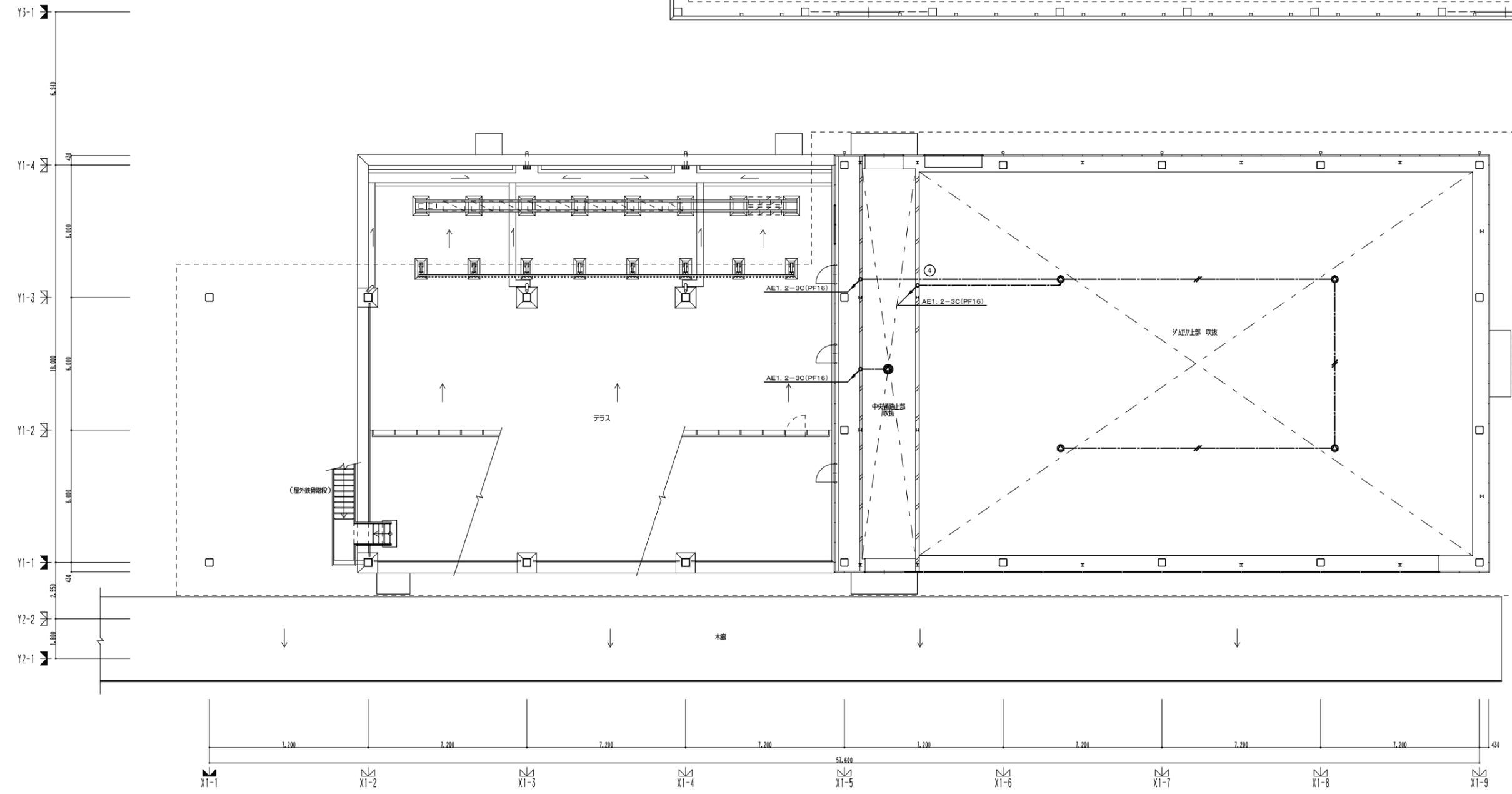
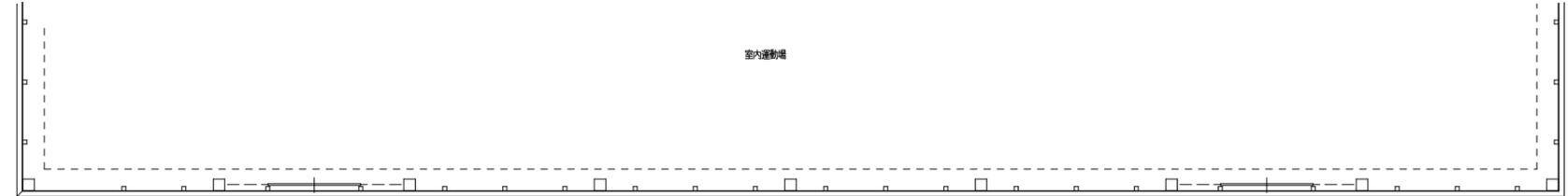
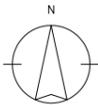
特記
管理番号
1LU122YD1

工事名

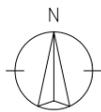
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
放送設備 クラブハウス 1階平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-39
年月日
2022年4月
区分
電気



	株式会社NTTファシリティーズ	株式会社NTTファシリティーズ	一級建築士登録 第 272676 号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942 号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 放送設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-40	区分 電気
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 217159 号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653 号 伊藤 翔治				一級建築士登録 第 266089 号 秋吉 賢一	年月日 2022年4月	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200



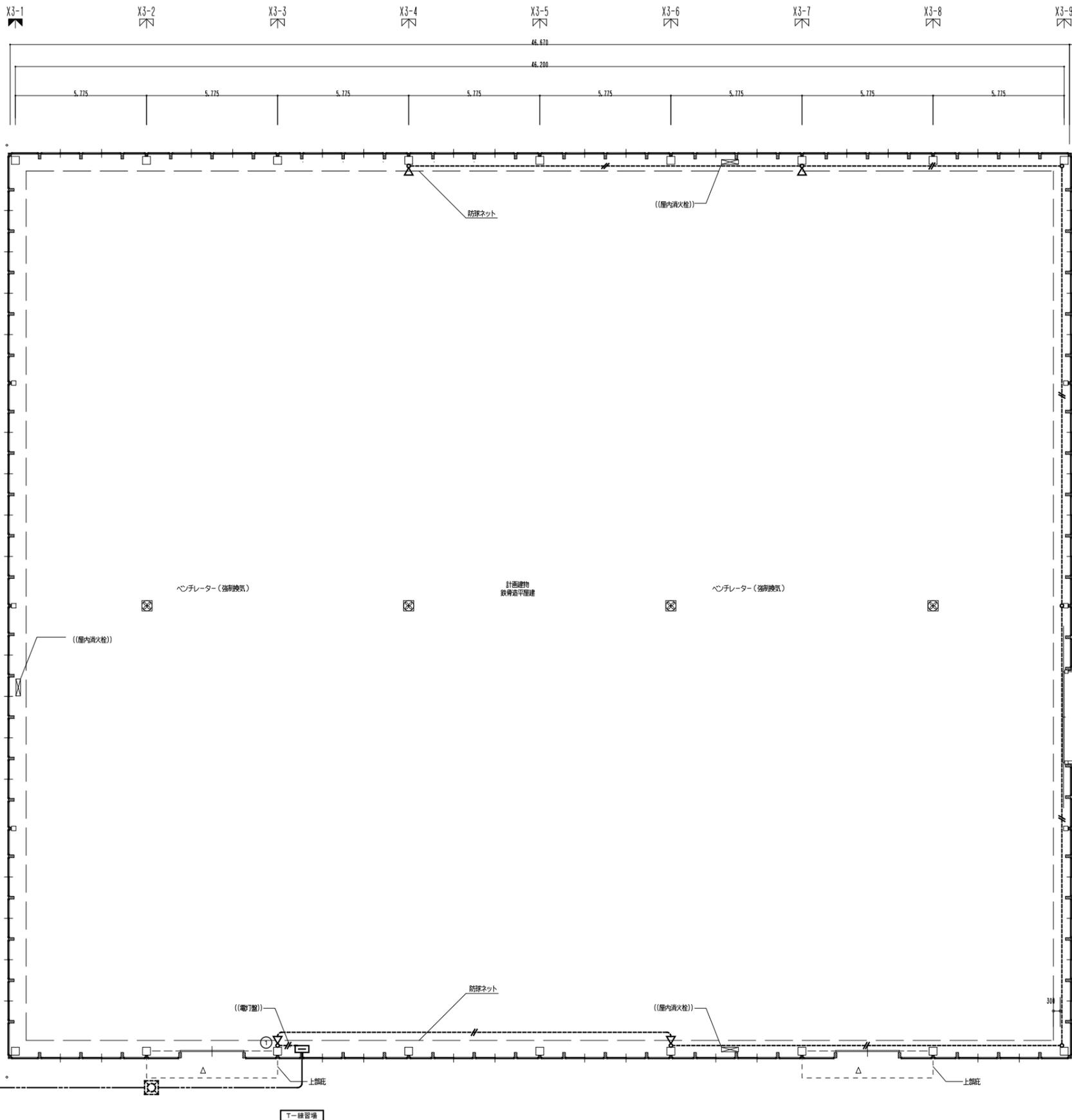
Y3-5

Y3-4

Y3-3

Y3-2

Y3-1



(機器凡例)

記号	名称	備考
	弱電端子盤	
	クリアホーン (BW)	
	業務放送系統No	
	露出ボックス	

(配管・配線)

1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。

	AE1.2-2C	(E19)
--	----------	-------



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

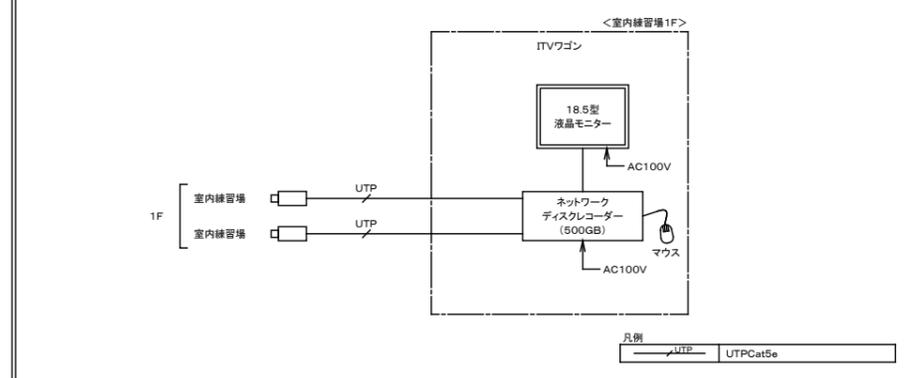
特記
管理番号
1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
放送設備 室内練習場 平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-41 区分
電気
年月日
2022年4月

ITV設備 システムブロック図 屋内フルHDネットワークカメラ(PTZ)

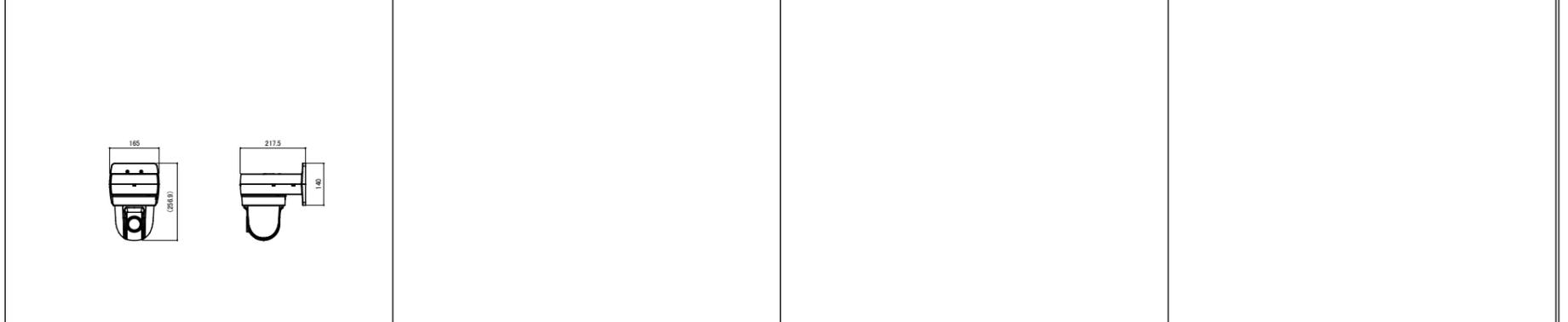


ITV ITVワゴン架

番号	名称	員数	備考
①	18.5型液晶モニター	1	FDWX1905W
②	ネットワークディスクレコーダー	1	WJ-NX100/05
③	収納ワゴン	1	VB-700

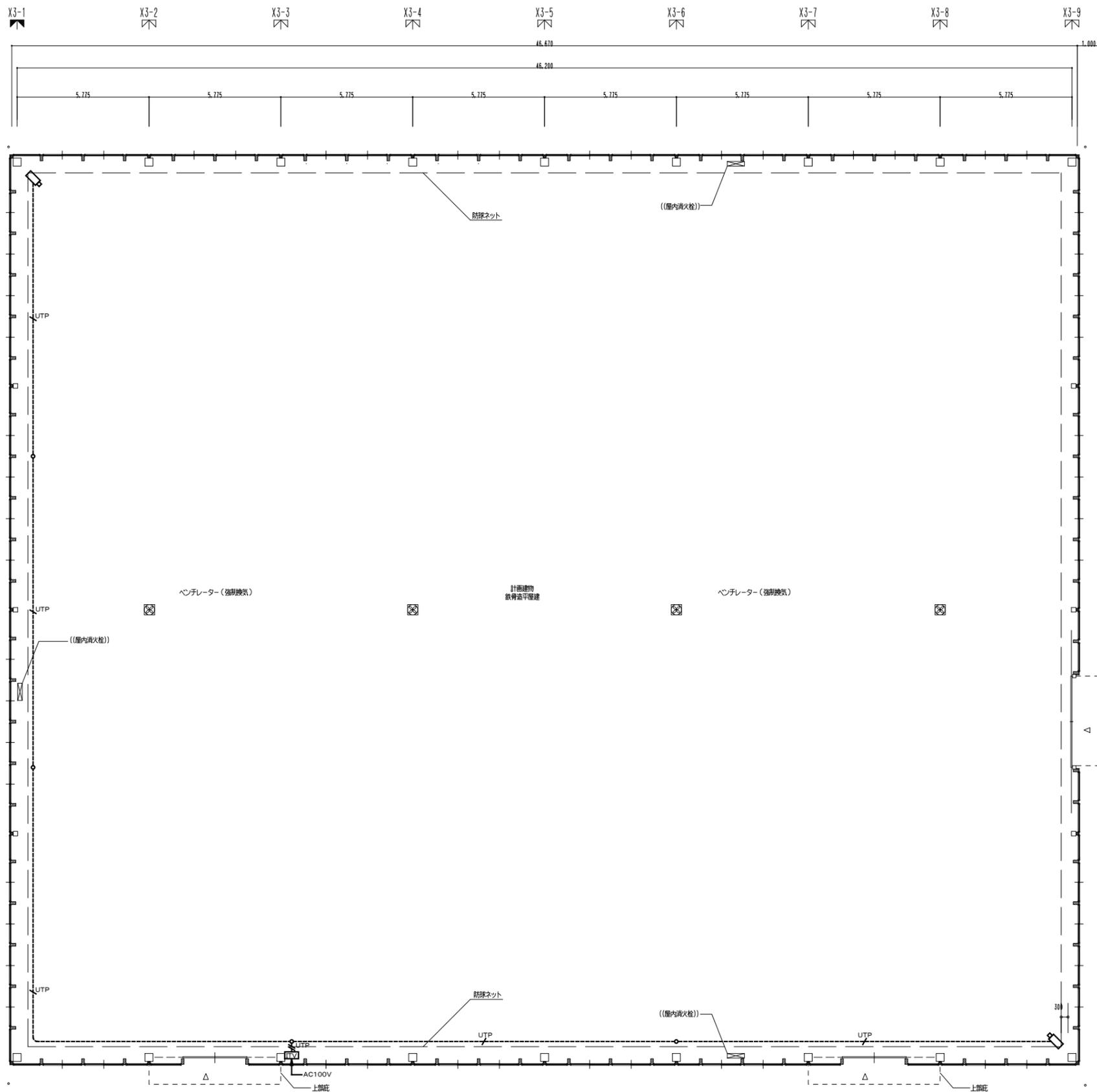
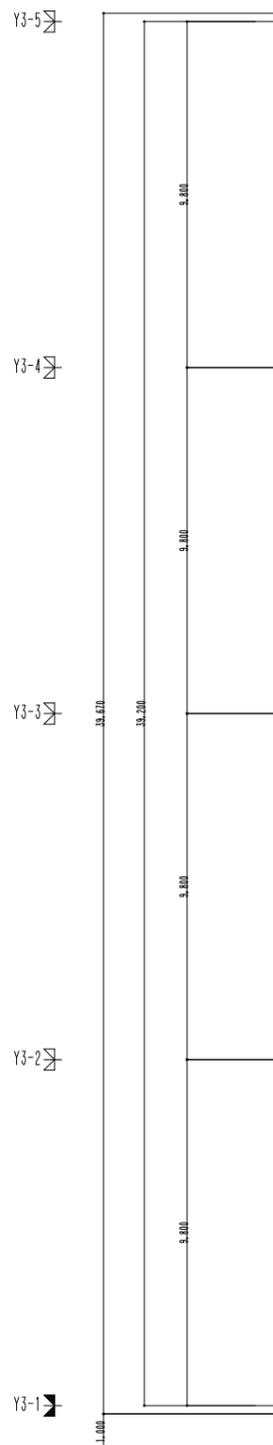
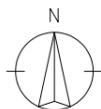
18.5型液晶モニター	
パネルサイズ・種類・バックライト	18.5型・TN(アンチグレア)・LED
推奨解像度	1366×768(約16:9)、FHD縮小表示対応(全入力端子)
輝度・コントラスト比	300cd/m ² (標準値)・1000:1(標準値)
映像入力端子	DVI-D24ピン×1(HDCP対応)、D-Sub15ピン(ミニ)×1、DisplayPort×1(HDCP対応)、HDMI×1(HDCP対応)
音声出力端子・スピーカー	ヘッドホン端子×1・1W+1W(ステレオ)
機能	Up View(黒浮き補正)、操作ロック、24時間連続使用
ネットワークディスクレコーダー	
電源	DC48V 1.7A(ACアダプター付属)
カメラ接続台数	4台
録画圧縮方式	H.265、H.264、JPEG
HDD	500GB(500GB×1)
入出力	映像出力端子:1、モニター端子:1(HDMI)、マウス接続ポート:1※マウス1個 付属、USBポート:1(USB3.0)、アラーム/コントロール端子:1(端子台ブラグ)、カメラポート:4(RJ-45)、PCポート:1(RJ-45)
モニター端子 解像度(最大)	3840×2160(4K) p/30Hz
特長(機能)	PoE給電機能、簡単操作・簡単設定、特付HDD/USBメモリーにコピー可能、セキュア通信(拡張キット(別売)登録時)、MP4ダウンロード、顔照合・統計処理(拡張キット(別売)登録時)、画像回転、VMD時短再生(VMD搭載カメラのみ)、高精細映像監視
収納ワゴン	
本体	化粧合板
扉	強化ガラス カギ付
通気孔	熱対策用大型プラスチック通気孔付(背面板)

屋内フルHDネットワークカメラ(PTZ)



RBSS認定

電源	DC12V、PoE(IEEE802.3af準拠)
撮像素子・有効画素数・走査方式	約1/2.8型 MOSセンサー・約210万画素・プログレッシブ
最低照度	カラー:0.015lx、白黒:0.006lx (F1.6)
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-TX、RJ45コネクタ
画像解像度	2M[16:9](H)1920/1280/640/320(30/60fps) 3M[4:3](H)2048/1280/800/640/400/320(30fps)
画像圧縮方式	H.265-H.264、JPEG ※独立に4ストリーム分の配信設定可能
スマートコーディング	顔スマートコーディング、GOP制御
レンズ部	f=4.25mm~170mm(40倍、電動ズーム/電動フォーカス) 60倍 HD EX光学ズーム(解像度 1280×720画素) デジタルズーム:16倍(最大640倍)
画角	[16:9]水平:1.9°~66°/垂直:1.1°~39° [4:3]水平:1.4°~51°/垂直:1.1°~39°
回転台部	水平:360° エンドレス旋回/垂直:-25°~205°(水平~真下~水平) プリセットポジション数:256か所、オートモード
セキュリティ	ユーザー認証/ホスト認証/HTTPS/動画ファイルの改ざん検出
機能	インテリジェントオート、スーパーダイナミック、逆光/強光補正、カラー/白黒切替、画像補正、VMD、SDメモリーカードスロット
その他	壁取付金具 パナソニック:WV-S6131+WV-Q119 相当品



(機器凡例)

記号	名称	備考
	ITVワゴン架	
	屋内フルHDネットワークカメラ(PTZ)	
	露出ボックス	

(配管・配線)

1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。

	UTP0.5-4P(Cat5e)	(E19)
	UTP0.5-4P(Cat5e) x 2	(E25)



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
ITV設備 室内練習場 平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-43 区分 電気
年月日
2022年4月

管理棟 凡例			
記号	名称	備考	
☒	受信機	P型1級	自動試験機能付 機器仕様参照

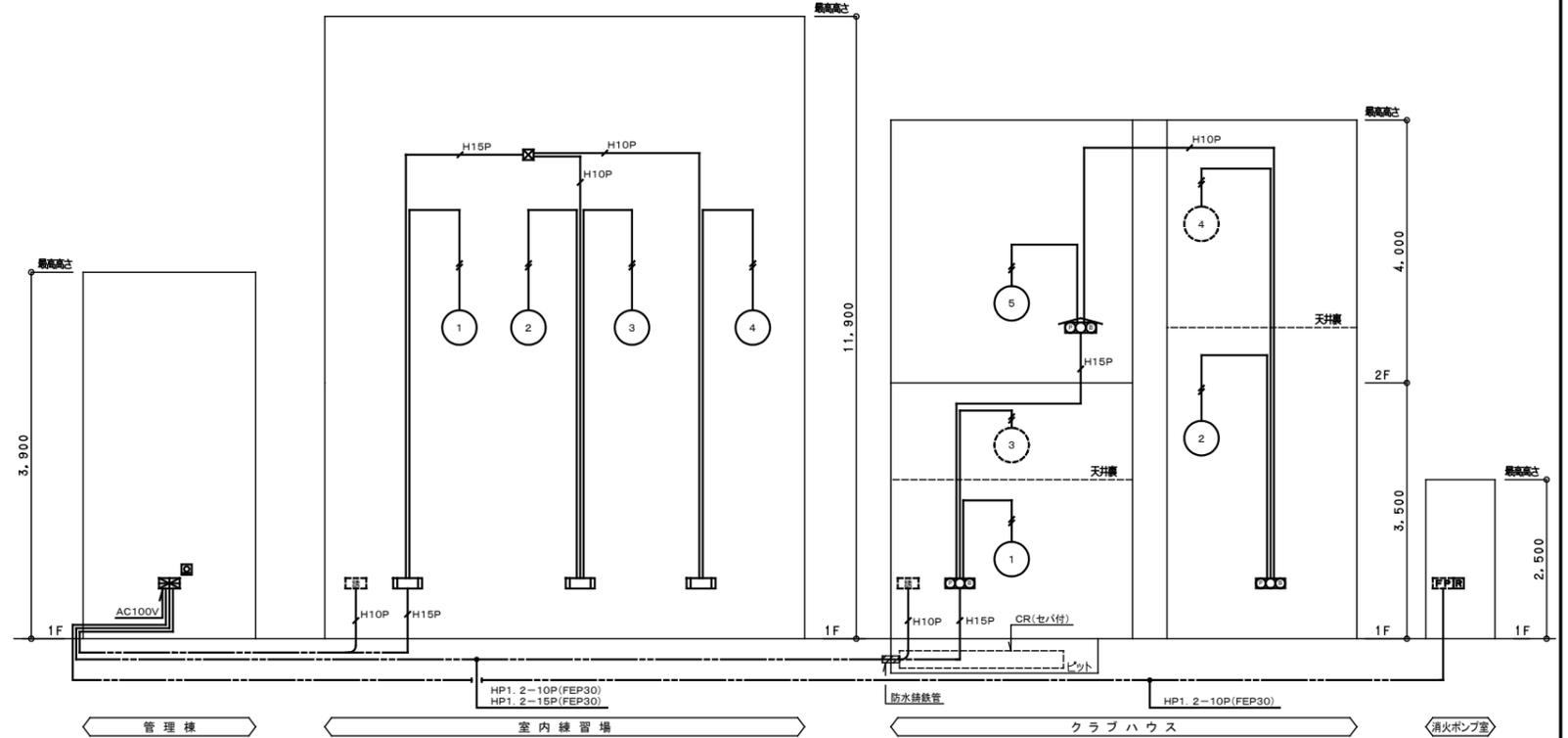
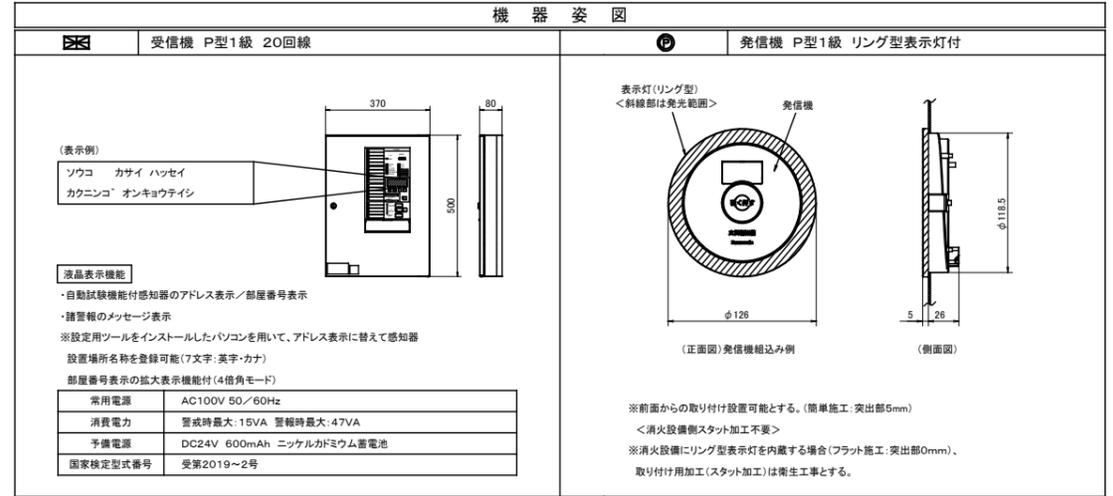
クラブハウス 凡例			
記号	名称	備考	
☒	消火栓ポンプ制御盤	屋内消火栓用	衛生設備工事
☒	誘導灯信号装置		別途工事
Ⓜ	発信機	P型1級(7ドレスタ) リング型表示灯(AC24V, LED)付	機器仕様参照
Ⓜ	発信機	P型1級(7ドレスタ) リング型表示灯(AC24V, LED)付	屋外型
Ⓜ	ベール	DC24V 10mA	導通試験機能付
Ⓜ	総合盤	収容	屋内埋込型
Ⓜ	総合盤	収容	屋外埋込型
Ⓜ	光電式スポット型感知器	2種	自動試験機能付
Ⓜ	光電式スポット型感知器	2種 天井裏	自動試験機能付
Ⓜ	差動式スポット型感知器	2種 防水型	自動試験機能付
Ⓜ	終端抵抗器	10KΩ	
Ⓜ	専用終端器	ベル用	
Ⓜ	消火栓始動リレー		
---	自火報警区域線		
---	ケーブルころがし配線	二重天井内又はケーブルラック内	
---	配管配線	露出	
---	配管配線	地中埋設	
---	配管配線	素通し・立上げ・引下げ	
Ⓜ	自火報警区域番号	平面区画	
Ⓜ	自火報警区域番号	天井裏	

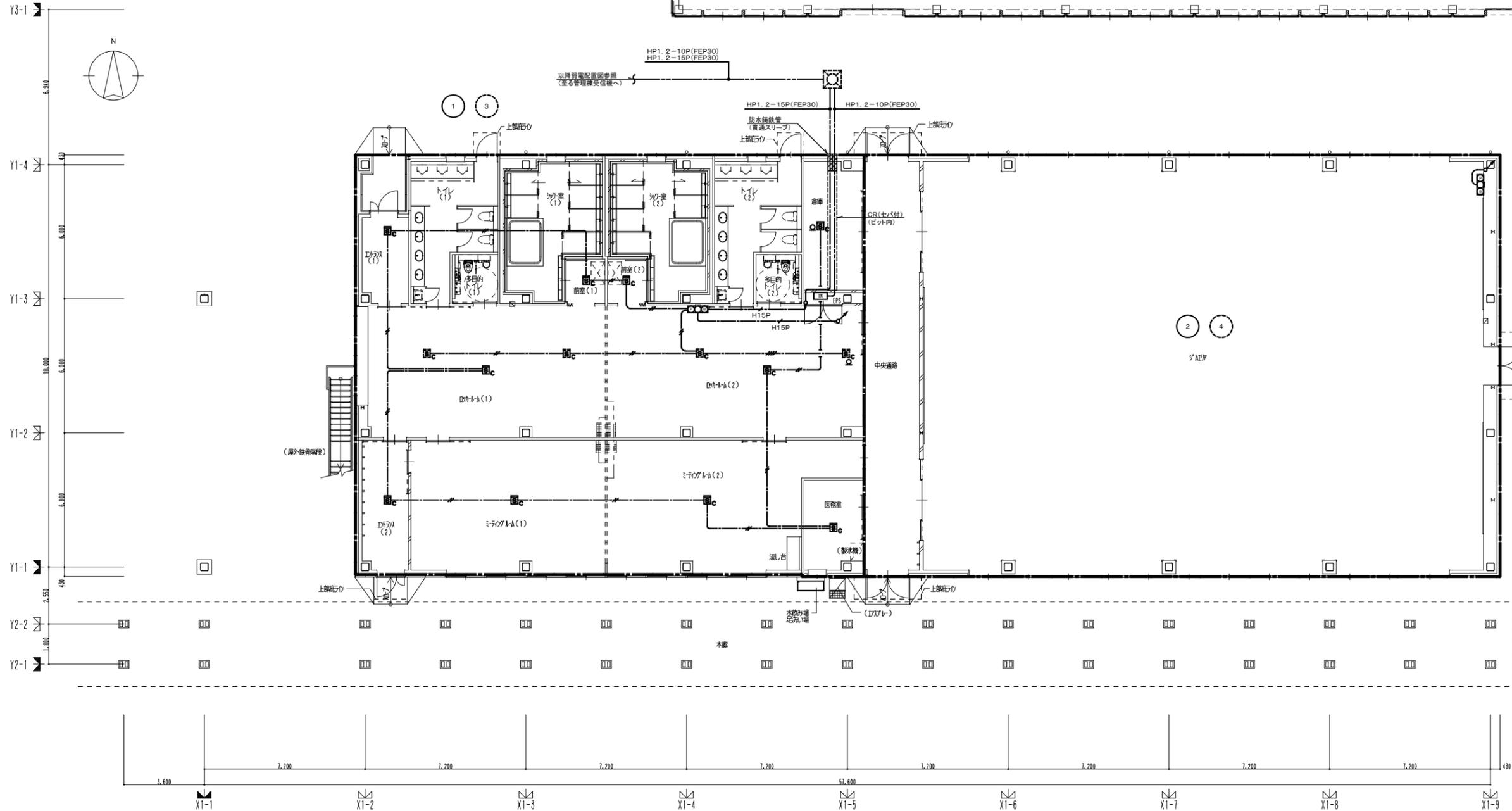
屋内練習場 凡例			
記号	名称	備考	
☒	誘導灯信号装置		別途工事
Ⓜ	発信機	P型1級(7ドレスタ) リング型表示灯(AC24V, LED)付	機器仕様参照
Ⓜ	リミットスイッチ	易操作性1号消火栓内蔵	別途衛生設備工事
Ⓜ	ベール	DC24V 10mA	導通試験機能付
☒	機器収容箱	収容(易操作性1号消火栓)	面体は別途設備工事
Ⓜ	光電式スポット型感知器	2種	自動試験機能付
Ⓜ	終端抵抗器	10KΩ	
Ⓜ	専用終端器	ベル用	
---	自火報警区域線		
---	配管配線	露出	
---	配管配線	床頭べい又はスラブ打込み	
---	配管配線	地中埋設	
Ⓜ	ブルボックス		屋外型 ☒
Ⓜ	自火報警区域番号	平面区画	

機器仕様				
・受信機の仕様は下記の通りとする。				
(1) P型1級 壁掛型 蓄積式 自動試験機能付 20回線 (アドバンスP-1受信機)				
・自火報警用回線 20回線				
※兼用回線は自火報、警報、スプリンクラーの種別から回線毎に設定可能なこと。				
※警報(兼用回線)は自己保持の有無を選択できること。				
・警報専用回線 [小室] 4回線				
・主音響: 発報音声鳴動対応				
※区分: フロア、階段、エレベータ (増設スピーカ接続可)				
・警報代表出力 4点 (警報種別マルチ設定機能対応)				
・フリースイッチ 4点 (起動/移報停止)				
(2) 液晶表示機能付 ※機器仕様参照				
自動試験機能付感知器のアドレス表示/部屋番号表示				
警報のメッセージ表示可				
※設定用ツールをインストールしたパソコンを用いて、アドレス表示に替えて感知器設置場所名称を登録可能(7文字:英字・カナ)				
部屋番号表示の拡大表示機能付(4倍角モード)				
(3) 操作ガイダンス機能付(液晶表示ガイド・音声ガイド)				
(4) 履歴管理機能(履歴情報の確認・取り出し等が可能)				
イベント履歴: 10,000件 自動試験結果履歴: 13,000件				
(5) 非常放送の音声警報連動端子とする。				
(6) 表示内容は下記の通りとする				
項目		回線数		
自火報	火災表示(クラブハウス)	5	9	
	火災表示(屋内練習場)	4		
	消火栓ポンプ 起動	1		
	消火栓ポンプ 故障	1		
警報	消火栓ポンプ 呼水 減水	1	5	
	消火栓ポンプ 満水・減水	2		
	実 装 合 計	14		
	予 備	6		
(7) 移報リストは下記の通りとする				
機器名	用途	信号内容	信号種別	点数
誘導灯信号装置(屋内練習場)	火災移報用	火災回線別	無電圧a接点	4
誘導灯信号装置(クラブハウス)	火災移報用	火災回線別	無電圧a接点	5

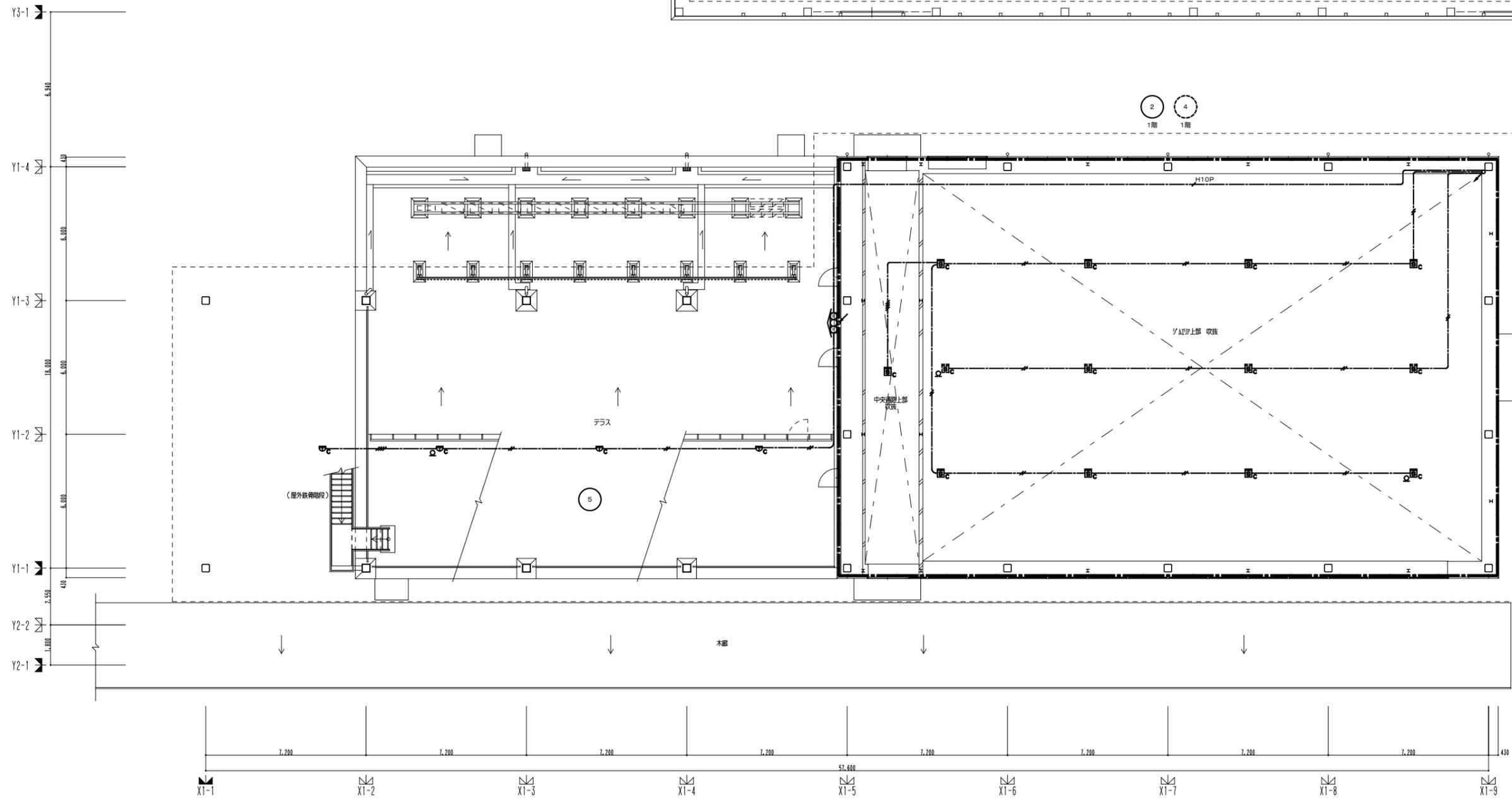
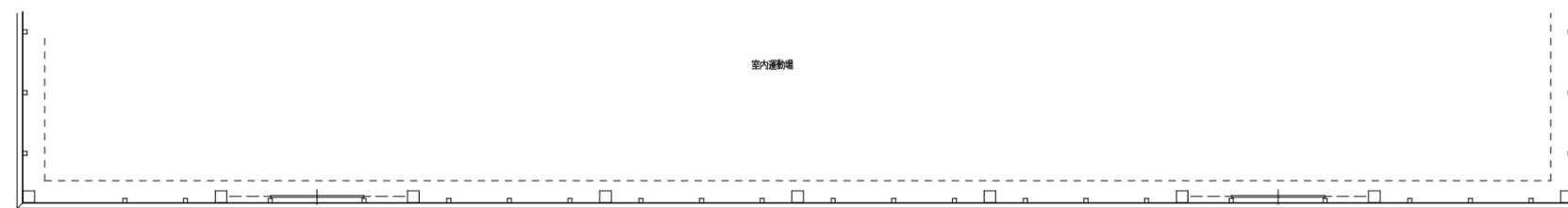
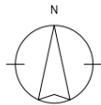
特記事項			
1. ベルの鳴動方式は、一斉鳴動(逐次鳴動対応)とする。			
2. 本工事に使用する機器収容箱内に各々必要対数の接続端子を設けること。			
3. 自動試験機能付感知器は1回線当り最大63個接続可能とする。(アドレスブースタ使用時)			
4. 煙感知器は光学系の汚れや電子部品の経年劣化に対して自動的にレベル補正を行い、感度を一定に保つ感度補償機能を搭載したものである。また、煙が流入する開口部には、口0.3mm防虫網を採用し、防虫網の細密化で火災警報の信頼性を向上させるものとする。			
5. 消火栓位置表示灯の電源は、消火栓始動リレーよりAC24Vで供給される。			
6. 特記無き配管配線は下記の通りとする。			
記号	配線	配管	備考
—	AE 0.9-2C	PF16	
—	AE 0.9-4C	PF16	
—	HP 1.2-2C	PF16	
—	HSP 1.2-5P	PF22	
—	H10P 1.2-10P	PF28	
—	H15P 1.2-15P	PF28	

・二重天井内はケーブルクロガシ配線とし、ケーブルの立上り及び直天井は適合する電線管で保護する。
・本設備中の立上げ、引下げは系統図参照とする。



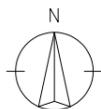


	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 自動火災報知設備 クラブハウス 1階平面図	図面番号 E-45	区分 電気
			一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	



2
1階
4
1階

	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 35509号	株式会社NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 九州支店 福岡県知事登録 第1-11482号	一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造	一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也	担当 長浜 愛美	特記 管理番号 1LU122YD1	工事名 屋外型トレーニングセンター建設工事	図面名 自動火災報知設備 クラブハウス 2階平面図	図面番号 E-46	区分 電気
			一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也	一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治				年月日 2022年4月	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	



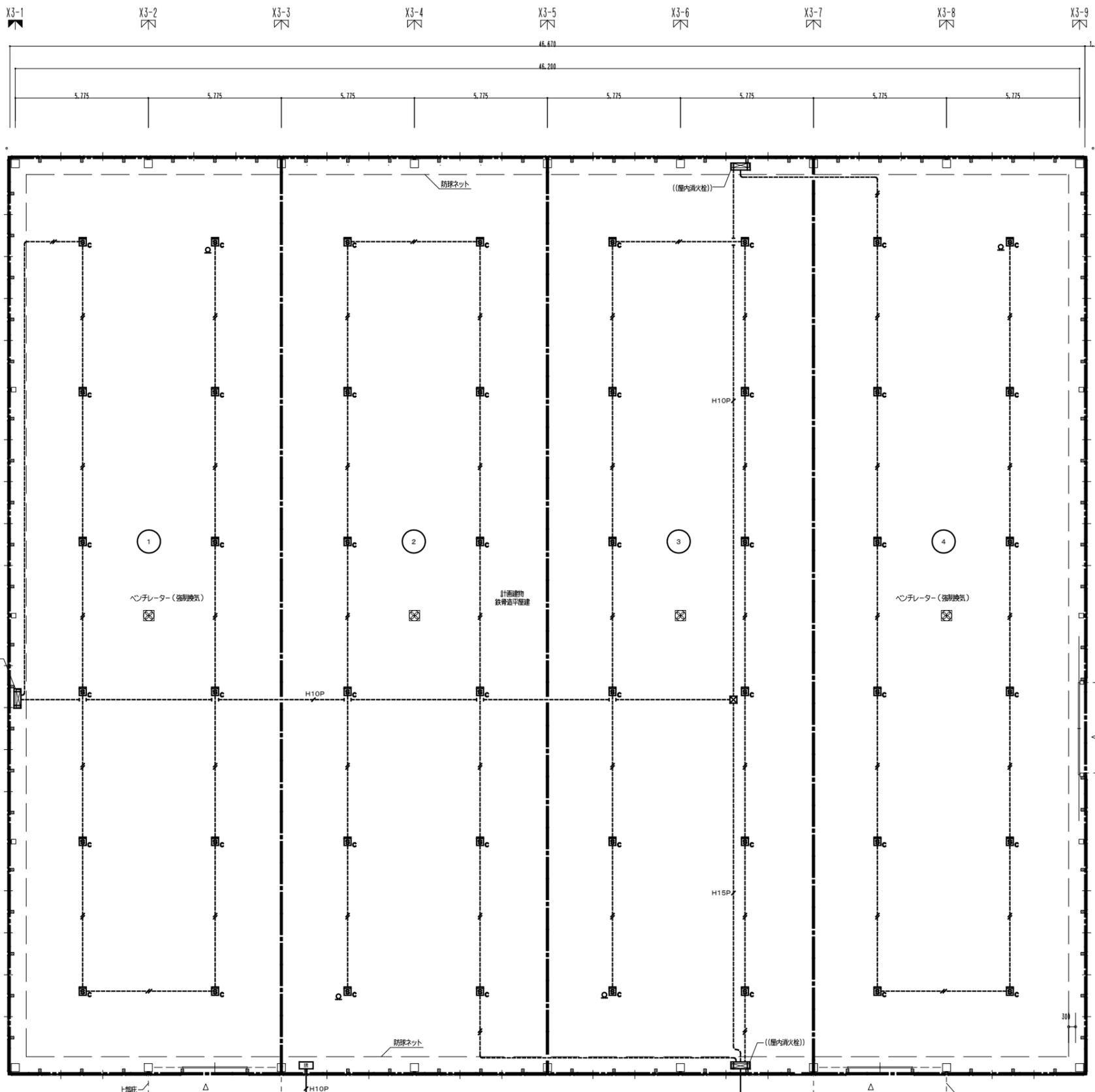
Y3-5

Y3-4

Y3-3

Y3-2

Y3-1



HP1_2-10P(FEP30)
HP1_2-15P(FEP30)

※配管配線の距離が30mを超える場合は、状況に応じて適宜プルボックスを設けること。



株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所
東京都知事登録 第 35509号

株式会社NTTファシリティーズ
一級建築士事務所 九州支店
福岡県知事登録 第1-11482号

一級建築士登録 第 272676号 鈴木 耕造
一級建築士登録 第 217159号 山元 徹也
一級建築士登録 第 266089号 秋吉 賢一

一級建築士登録 第 353942号 伊藤 裕也
一級建築士登録 第 383653号 伊藤 翔治

担当
長浜 愛美

特記
管理番号
1LU122YD1

工事名
屋外型トレーニングセンター建設工事

図面名
自動火災報知設備 室内練習場 平面図
縮尺
A1: 1/100 A3: 1/200

図面番号
E-47
区分
電気
年月日
2022年4月